

Ⅲ 調査の結果

1 環境への意識について

(1)住居周辺の環境の満足度

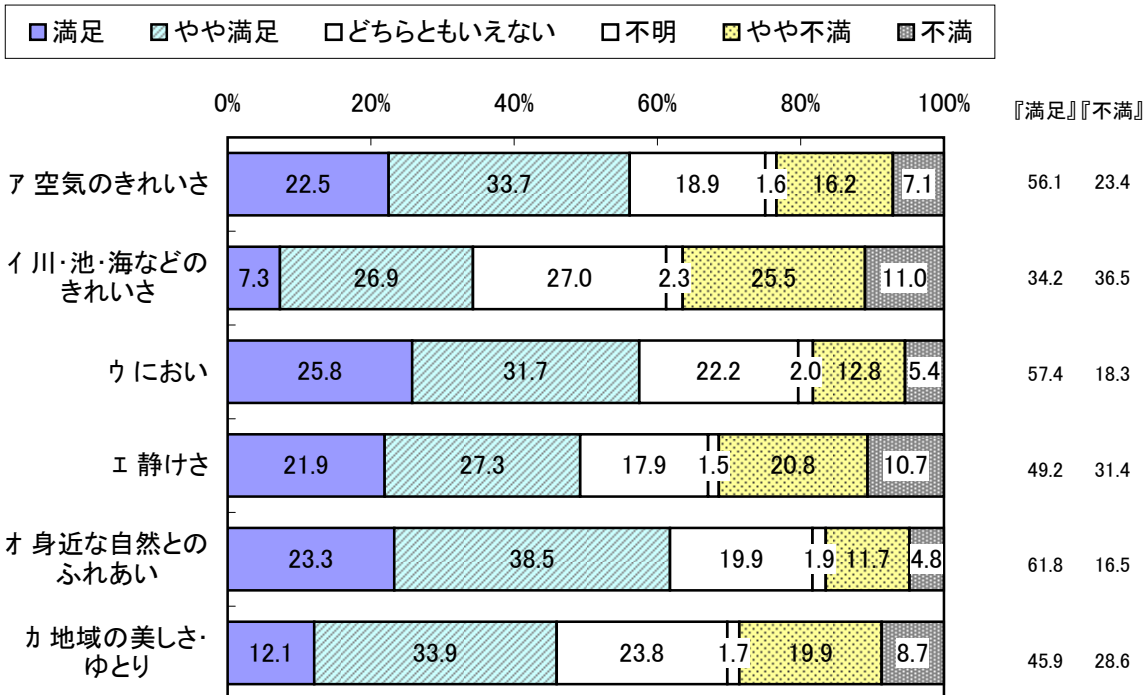
問1 あなたは、お住まいの周辺の環境に、どの程度満足していますか。次のア～カの各項目について、あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- ア 空気のきれいさ(煙、粉じん、排気ガス、砂埃など)
- イ 川・池・海などのきれいさ(汚れ、濁り、水量、水面・水辺のごみなど)
- ウ におい(工場、飲食店、水路、下水などからのにおい)
- エ 静けさ(自動車・鉄道・航空機・近隣からの騒音など)
- オ 身近な自然とのふれあい(田畑や公園などの緑、水辺、動植物の存在など)
- カ 地域の美しさ・ゆとり(公園、街路樹、ごみの放置、違法駐車などの状況)

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満

- 住居周辺の環境に対する『満足』(「満足」と「やや満足」の合計)が多いのは、「身近な自然とのふれあい」(61.8%)、「におい」(57.4%)、「空気のきれいさ」(56.1%)で5割を超えており、「静けさ」(49.2%)、「地域の美しさ・ゆとり」(45.9%)が続いている。
- 一方、「川・池・海などのきれいさ」では、『満足』が34.2%と少なく、『不満』(「不満」と「やや不満」の合計)の方が36.5%と多い。

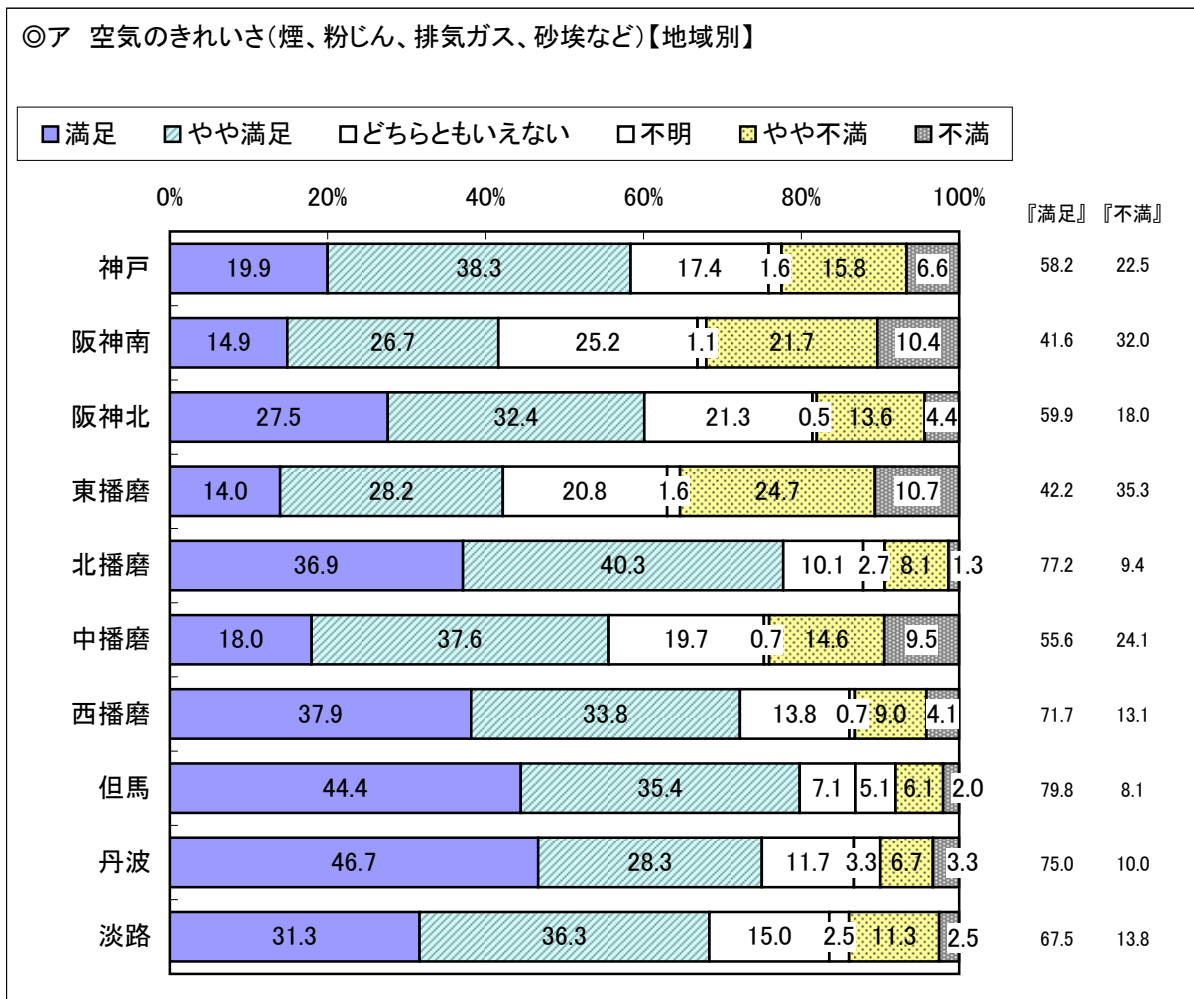
○住居周辺の環境の満足度



◎ア 空気のきれいさ(煙、粉じん、排気ガス、砂埃など)

◆地域別

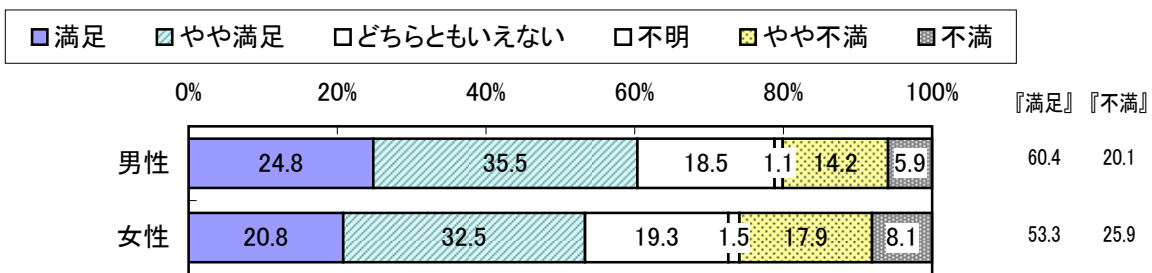
- 「空気のきれいさ」については、但馬(79.8%)、北播磨(77.2%)、丹波(75.0%)など県北部・中部で『満足』が比較的多く、4分の3を超えている。
- 一方、阪神南(41.6%)、東播磨(42.2%)では、『満足』は4割台にとどまり、他の地域より『不満』が多く、3割を超える。



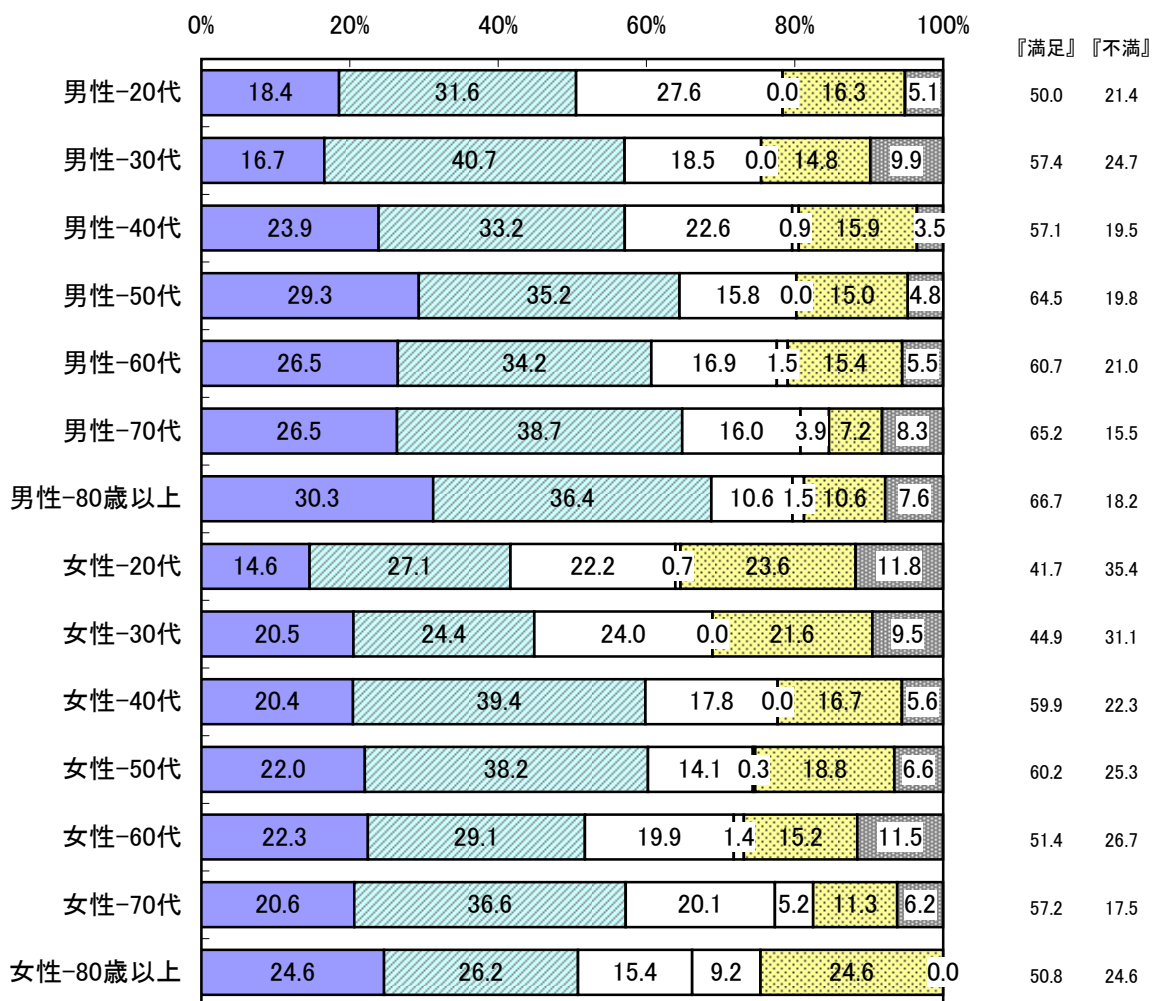
◆性別／性・年代別

- 性別では、男性の方が女性より『満足』(男 60.4%、女 53.3%)が多く、『不満』(男 20.1%、女 25.9%)も少ない。
- 性・年代別で見ると、男性では、『満足』は20代で半数(50.0%)だが、80歳以上で3分の2(66.7%)と最も多くなっており、年代が上がるほど『満足』が増える傾向にある。
一方、女性では、40代、50代で『満足』が約6割あるが、60代及び80歳以上で約5割、20代、30代では4割台前半と少なくなっている。

◎ア 空気のきれいさ(煙、粉じん、排気ガス、砂埃など)【性別】



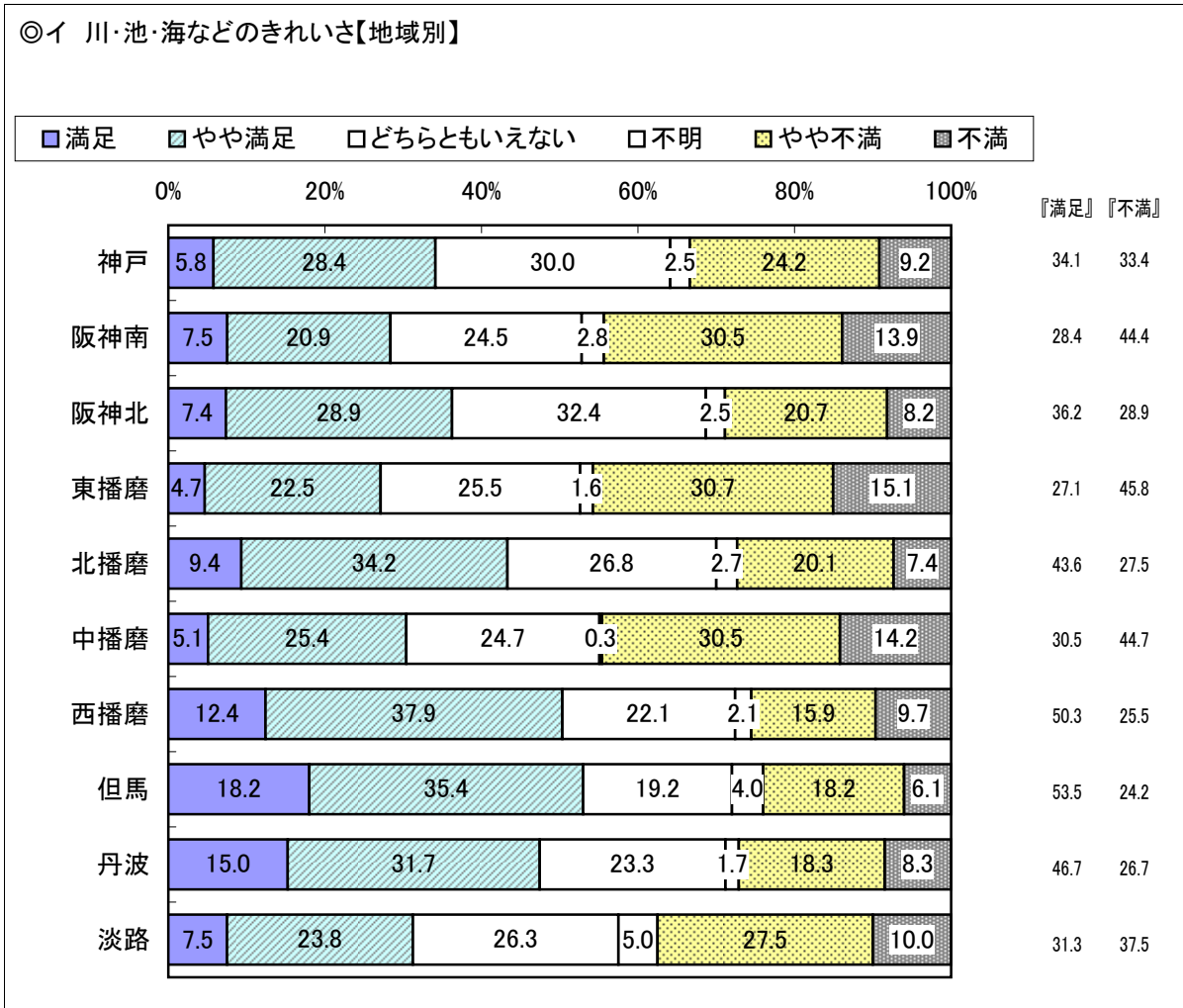
◎ア 空気のきれいさ(煙、粉じん、排気ガス、砂埃など)【性・年代別】



◎イ 川・池・海などのきれいさ

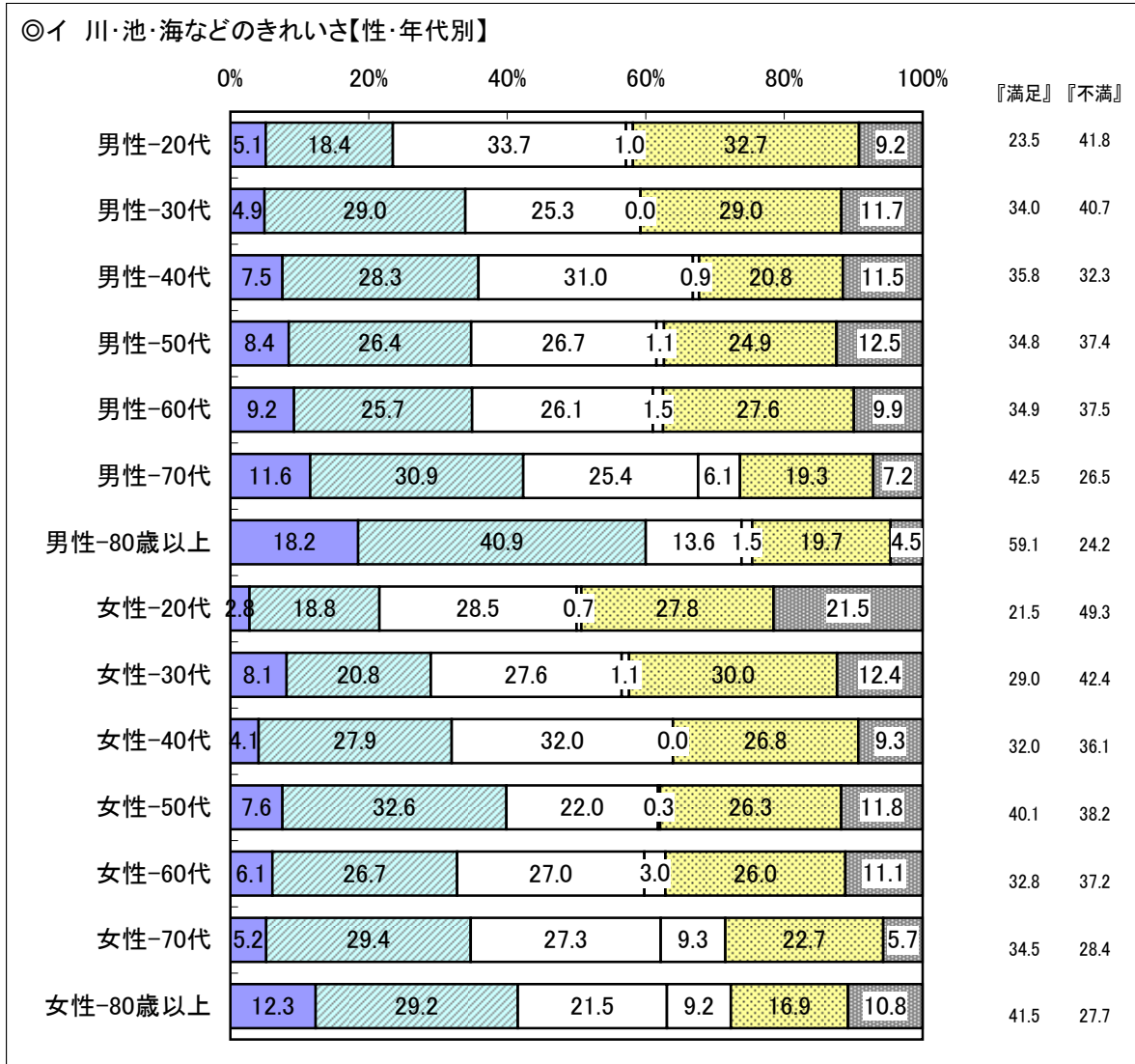
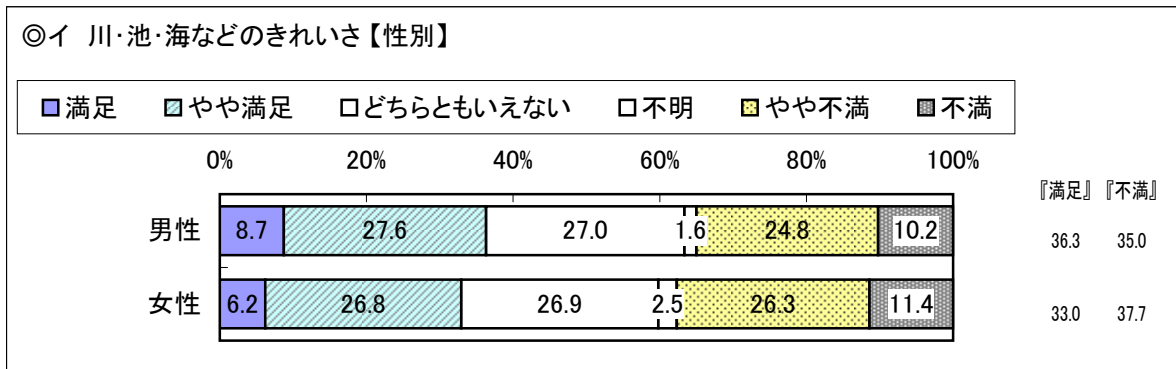
◆地域別

○「川・池・海などのきれいさ」については、但馬(53.5%)、西播磨(50.3%)で『満足』が半数を超えている。一方、『不満』は、東播磨(45.8%)、中播磨(44.7%)、阪神南(44.4%)、淡路(37.5%)など南部の瀬戸内海沿岸地域で多い傾向にある。



◆性別／性・年代別

- 性別では、男性の方が女性よりやや『満足』(男 36.3%、女 33.0%)が多い程度で、大きな差はみられない。
- 性・年代別で見ると、男性は年代層が上がるほど『満足』が多くなる傾向にあるが、40代を除き60代以下では『不満』が『満足』を上回っている。女性でも、50代を除き60代以下では『不満』が『満足』を上回り、20代(49.3%)では半数近い。

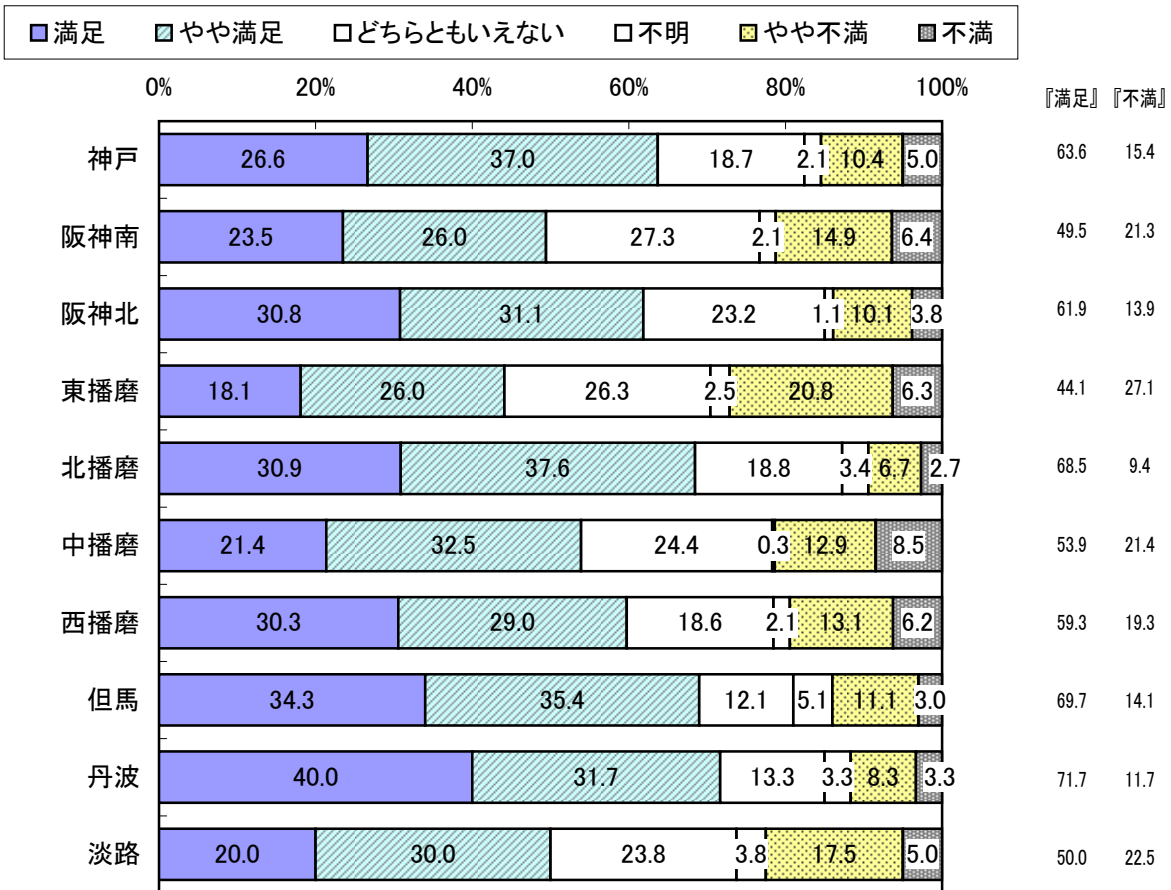


◎ウ におい

◆地域別

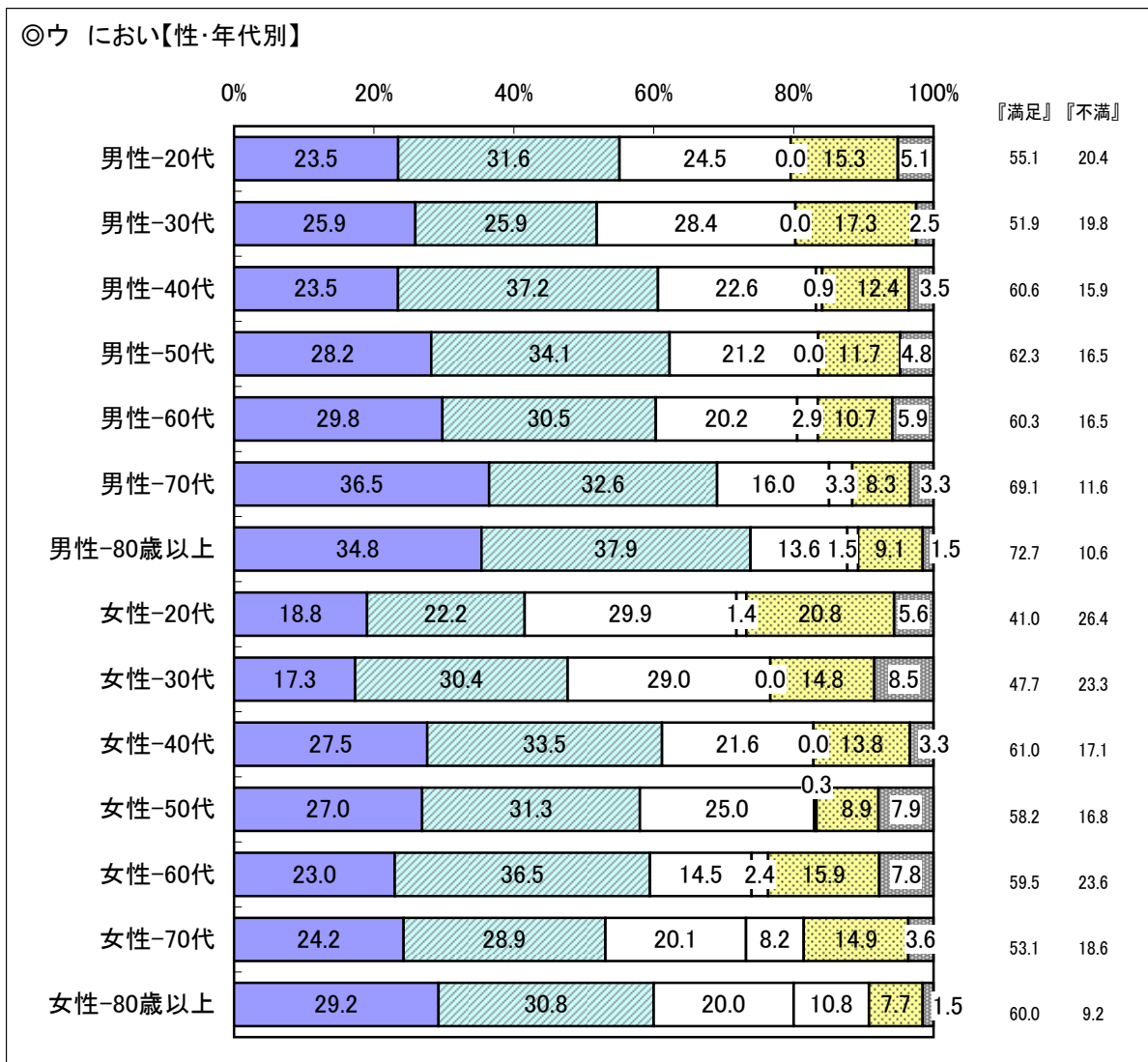
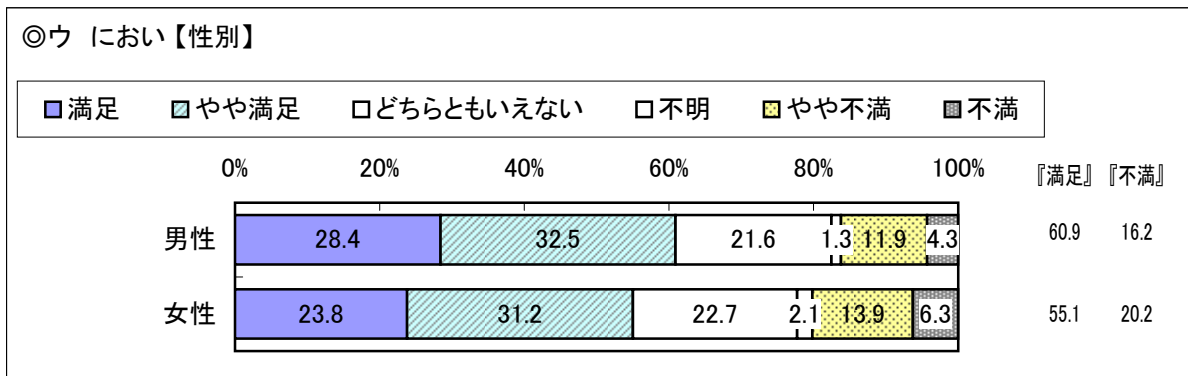
○「におい」については、丹波(71.7%)で『満足』が7割を超えている。一方、東播磨(44.1%)、阪神南(49.5%)、淡路(50.0%)で『満足』が5割もしくはこれを下回り、『不満』も2割(東播磨27.1%、阪神南21.3%、淡路22.5%)を超えている。

◎ウ におい【地域別】



◆性別／性・年代別

- 性別では、男性の方が女性より『満足』(男 60.9%、女 55.1%)が多い。
- 性・年代別で見ると、男性は年代の高い層ほど『満足』が多くなる傾向にあり、70代及び80歳以上では約7割あるが、20代、30代では5割台にとどまっている。一方、女性では、40代～60代及び80歳以上で『満足』が約6割あるが、20代、30代では4割台と少ない。

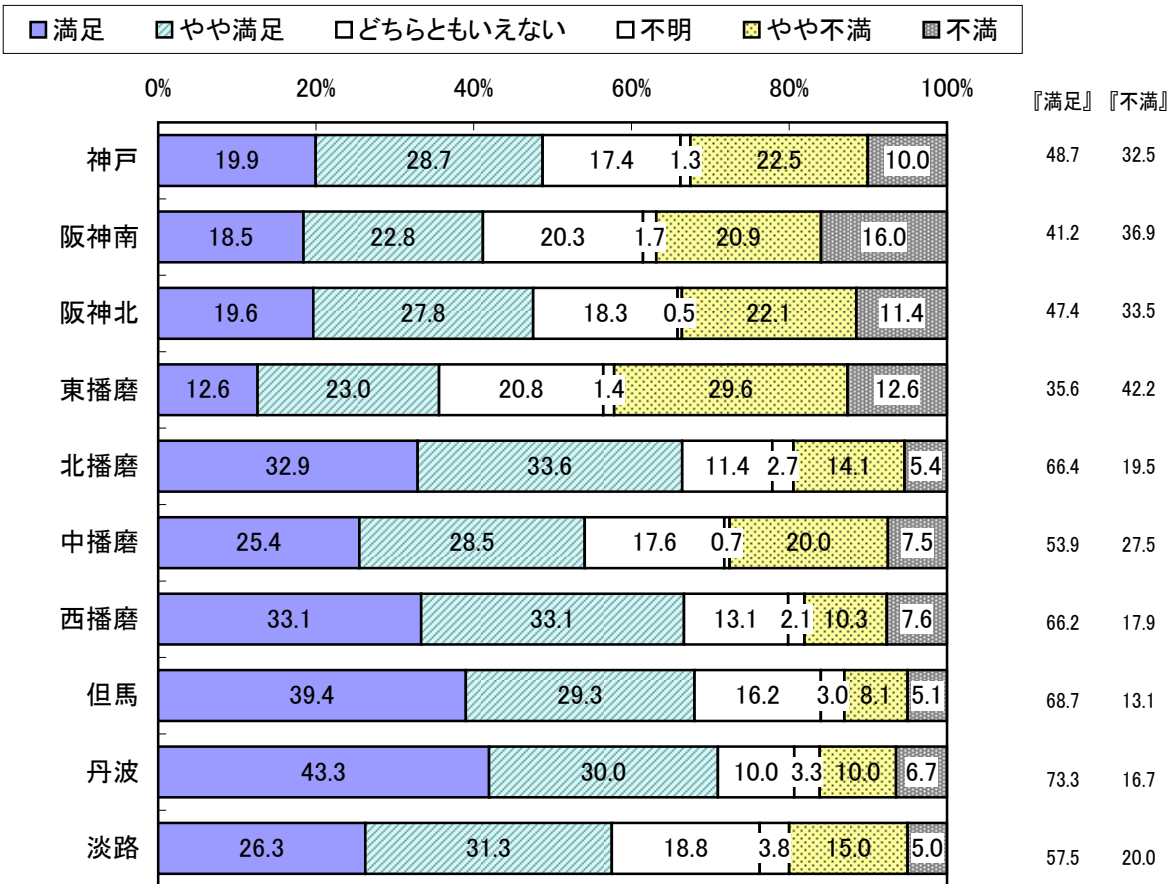


◎エ 静けさ

◆地域別

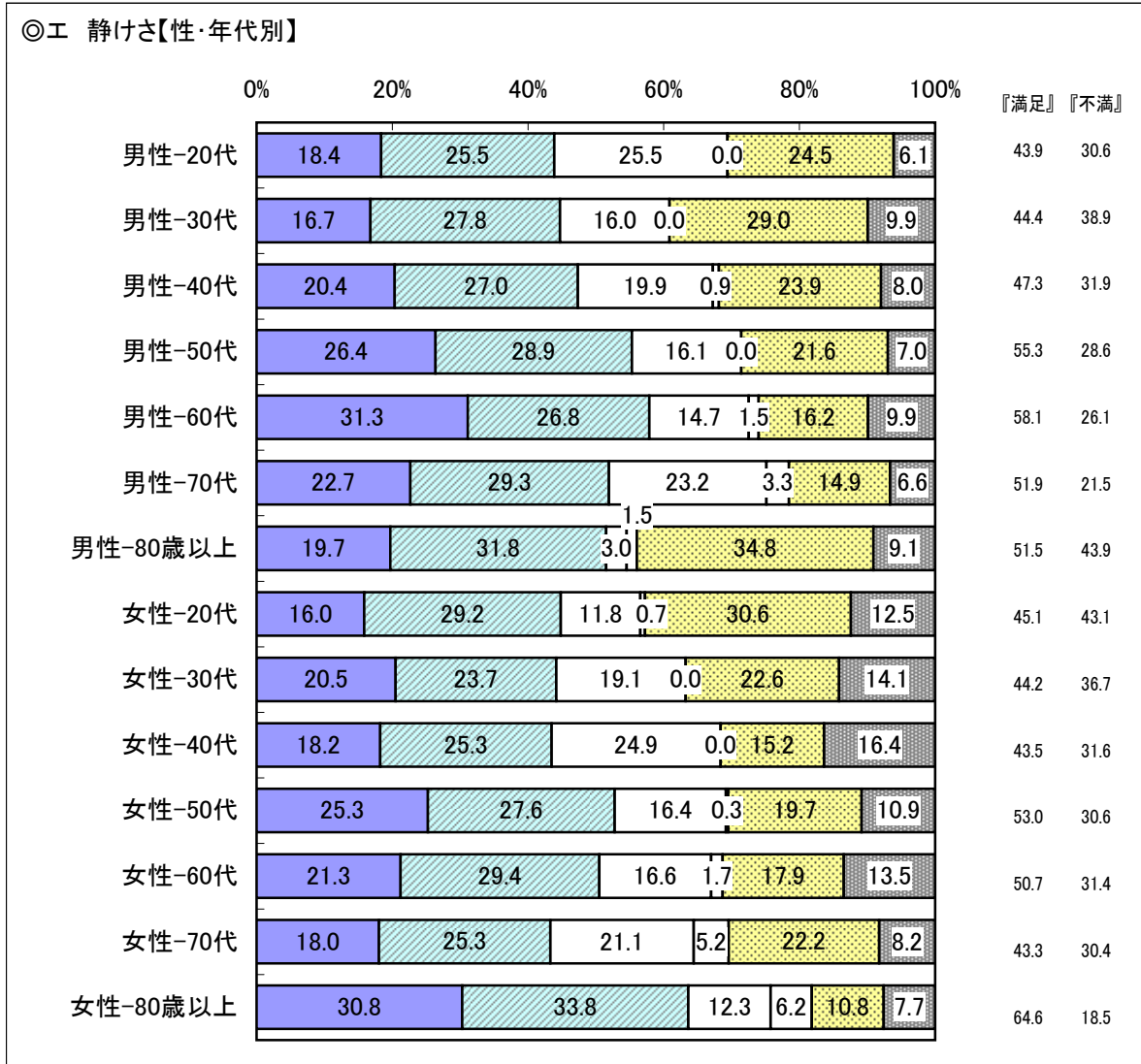
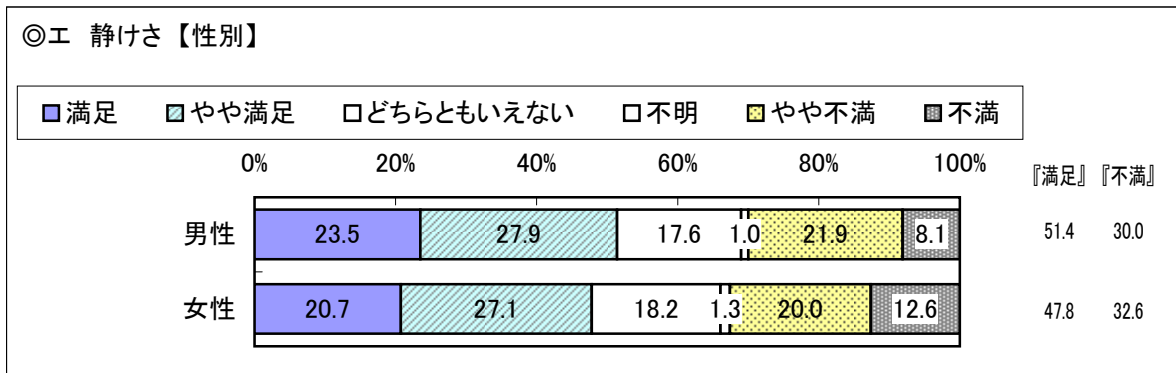
○「静けさ」については、『満足』は、丹波(73.3%)で7割、但馬(68.7%)、北播磨(66.4%)、西播磨(66.2%)で6割を超える一方、東播磨(35.6%)、阪神南(41.2%)で4割前後と少ない。また、『不満』は東播磨(42.2%)で最も多く、同地域のみ『不満』が『満足』を上回っている。

◎エ 静けさ【地域別】



◆性別／性・年代別

- 性別では、男性の方が女性よりやや『満足』(男 51.4%、女 47.8%)が多いが、大きな差はみられない。
- 性・年代別で見ると、いずれの性・年代でも『満足』が『不満』を上回っている。
男性では、『満足』は60代(58.1%)で最も多く、『不満』は80歳以上(43.9%)で最も多い。一方、女性では、『満足』は80歳以上(64.6%)で最も多く、『不満』は20代(43.1%)で最も多い。

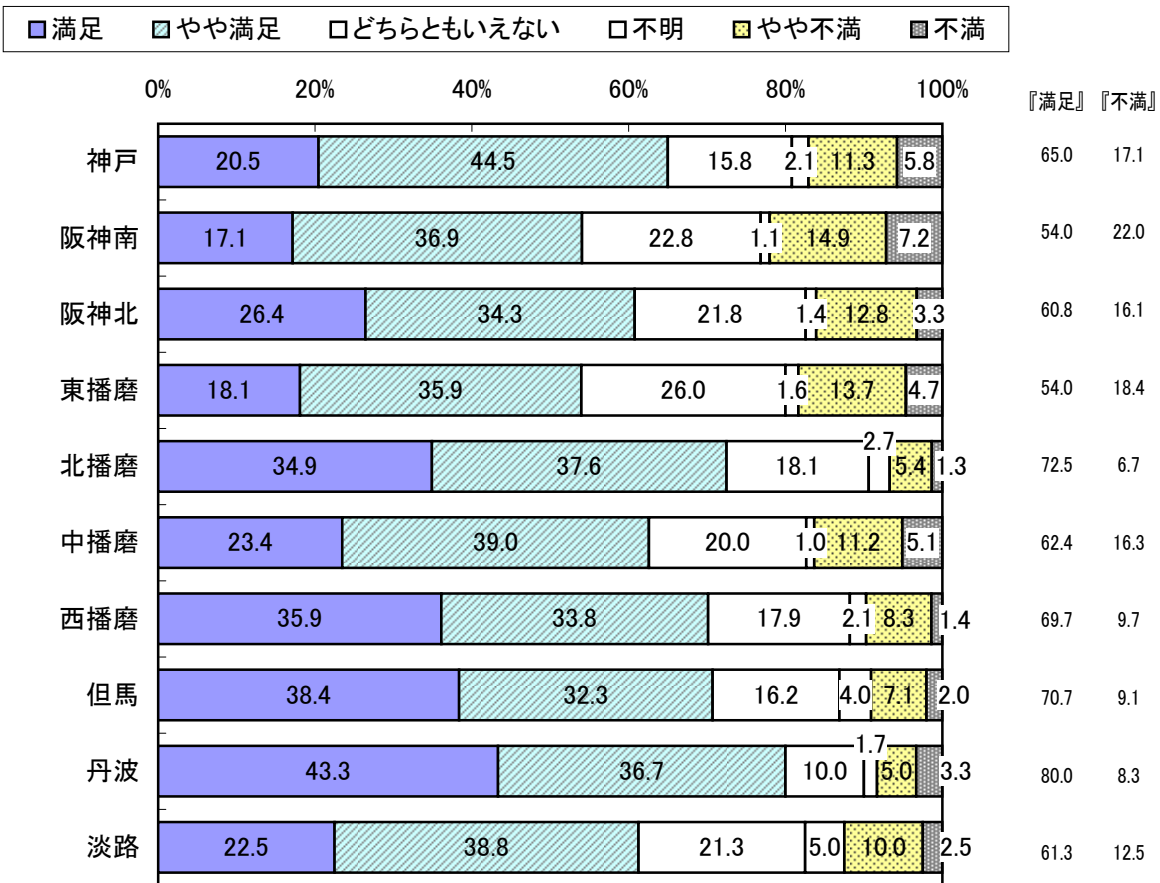


◎オ 身近な自然とのふれあい

◆地域別

○「身近な自然とのふれあい」については、『満足』が最も少ない阪神南と東播磨(ともに54.0%)でも半数を超えており、最も多い丹波(80.0%)では8割に及ぶ。

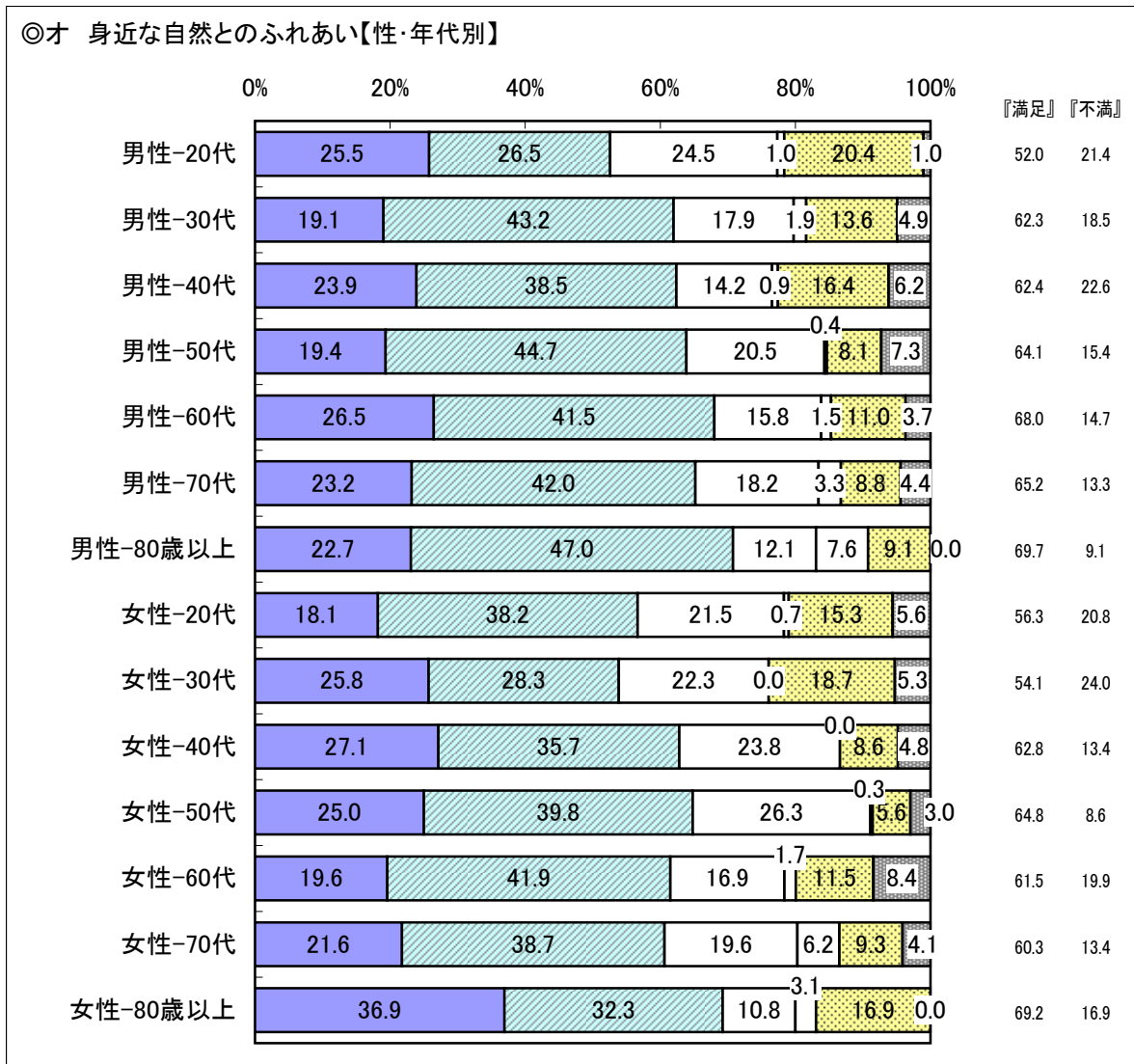
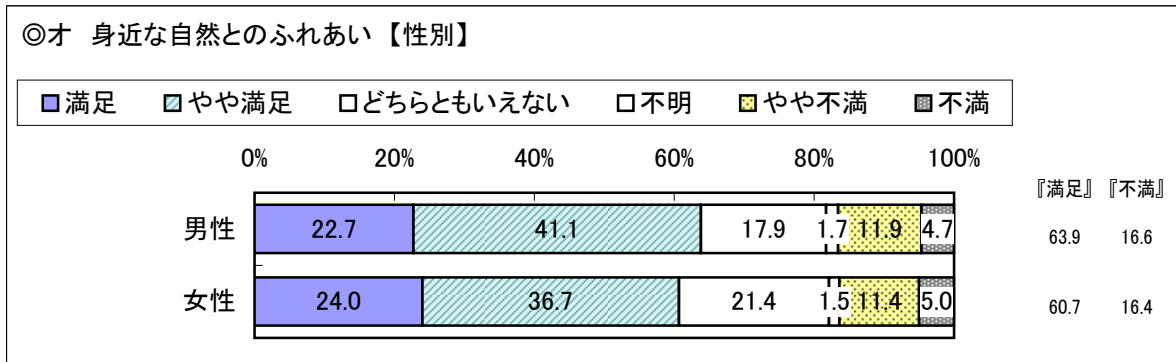
◎オ 身近な自然とのふれあい 【地域別】



◆性別／性・年代別

○ 性別では、特に差はみられない。

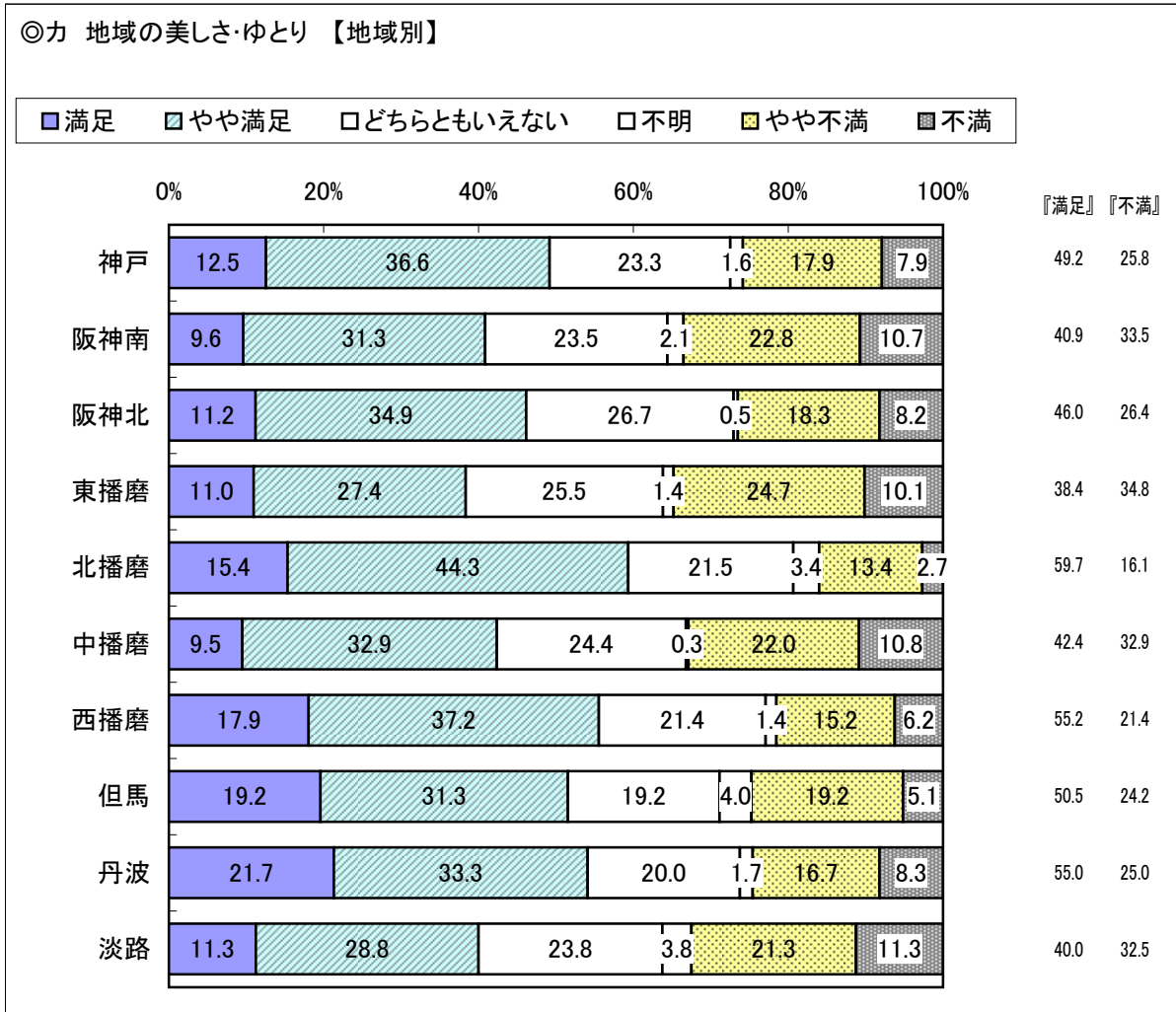
○ 性・年代別で見ると、若い年代層で『不満』が多い傾向にあり、男性では20代(21.4%)と40代(22.6%)、女性では20代(20.8%)と30代(24.0%)で2割を超える。



◎カ 地域的美しさ・ゆとり

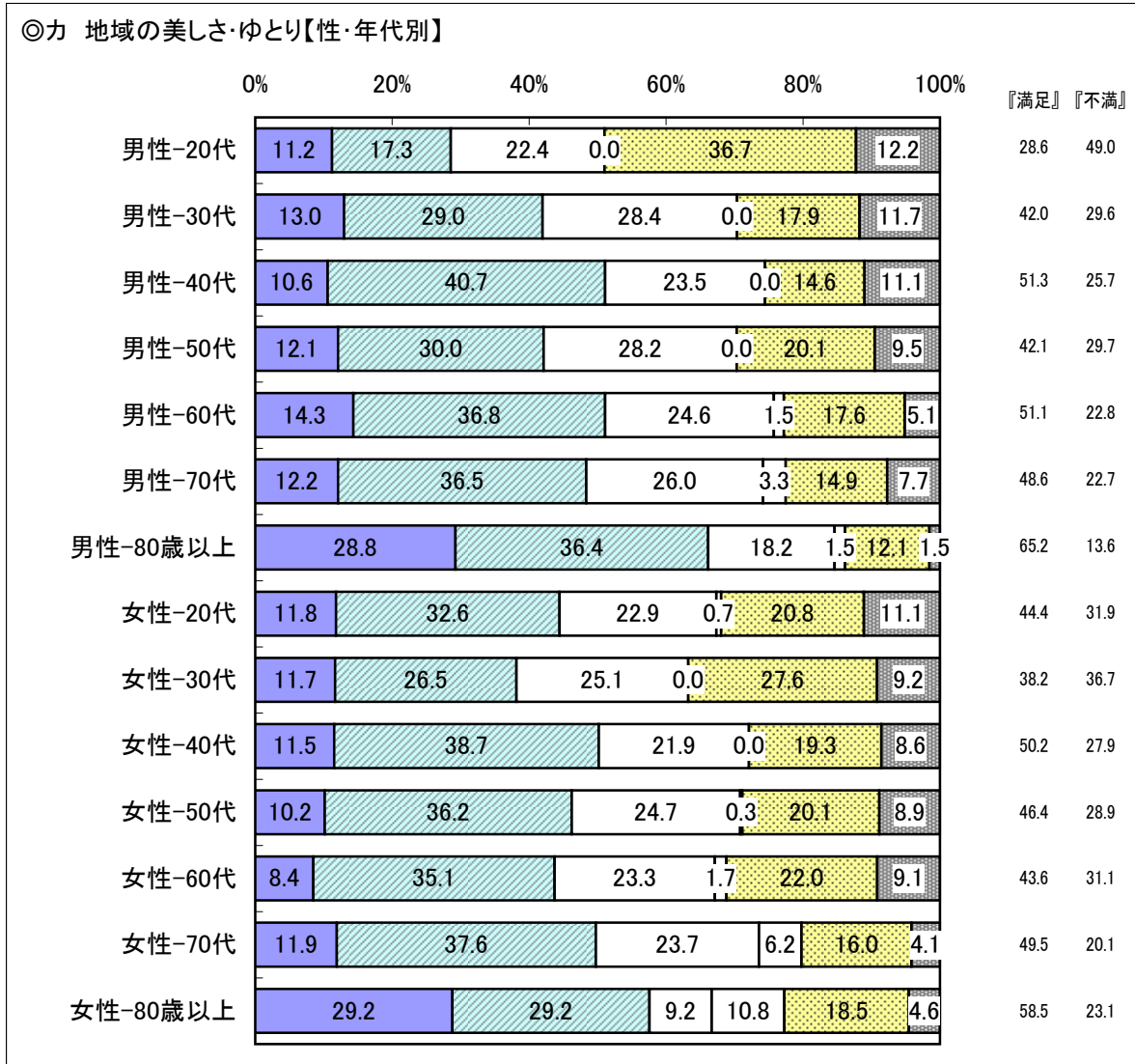
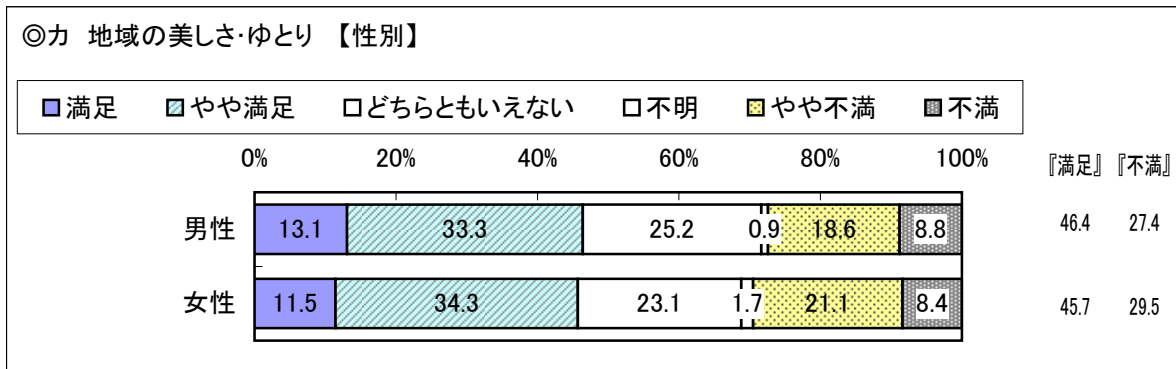
◆地域別

○「地域的美しさ・ゆとり」については、『満足』が最も多かったのは北播磨(59.7%)で約6割あり、『不満』(16.1%)も1割台と少ない。一方、東播磨、淡路、阪神南、中播磨では『満足』は4割前後にとどまり、『不満』が約3分の1ある。



◆性別／性・年代別

- 性別では、特に差はみられない。
- 性・年代別で見ると、『満足』は男女とも80歳以上(男 65.2%、女 58.5%)で6割前後と最も多く、「やや満足」を除いた「満足」のみで見てもそれぞれ3割弱と他の年代層(概ね1割台)を上回っている。また、『不満』が最も多いのは男性の20代(49.0%)で約5割あり、唯一『不満』が『満足』(28.6%)を上回っている。



【参考：満足度の状況（『満足』－『不満』）】

- ア～カの各項目において、地域別及び性・年代別で『満足』から『不満』を引いた数値により、項目間での満足の差を一覧できるようにした。数値が高いほど当該項目の満足度が高く、低いほど不満度が高い。

※ 表中のピンクの網掛けは全県平均を5ポイント以上上回るもの、青の網掛け(アンダーライン付)は全県平均を5ポイント以上下回るものをそれぞれ表示。

◆地域別 ※「満足」+「やや満足」から「やや不満」+「不満」を引いた数値 (%)

	満足-不満					
	ア 空気の きれいさ	イ川・池・ 海などの きれいさ	ウにおい	エ 静けさ	オ 身近な 自然との ふれあい	カ 地域の 美しさ・ ゆとり
全県	32.8	-2.2	39.2	17.8	45.3	17.4
神戸	35.8	0.8	48.2	16.2	47.9	23.3
阪神南	9.6	-16.0	28.2	4.3	32.0	7.3
阪神北	42.0	7.4	48.0	13.9	44.7	19.6
東播磨	6.8	-18.6	17.0	-6.6	35.6	3.6
北播磨	67.8	16.1	59.1	47.0	65.8	43.6
中播磨	31.5	-14.2	32.5	26.4	46.1	9.5
西播磨	58.6	24.8	40.0	48.3	60.0	33.8
但馬	71.7	29.3	55.6	55.6	61.6	26.3
丹波	65.0	20.0	60.0	56.7	71.7	30.0
淡路	53.8	-6.3	27.5	37.5	48.8	7.5

◆性別／性・年代別 (%)

	満足-不満					
	ア 空気の きれいさ	イ川・池・ 海などの きれいさ	ウにおい	エ 静けさ	オ 身近な 自然との ふれあい	カ 地域の 美しさ・ ゆとり
全県	32.8	-2.2	39.2	17.8	45.3	17.4
男性	40.3	1.3	44.7	21.4	47.3	19.0
女性	27.4	-4.7	34.9	15.2	44.3	16.2
男性-20代	28.6	-18.4	34.7	13.3	30.6	-20.4
男性-30代	32.7	-6.8	32.1	5.6	43.8	12.3
男性-40代	37.6	3.5	44.7	15.5	39.8	25.7
男性-50代	44.7	-2.6	45.8	26.7	48.7	12.5
男性-60代	39.7	-2.6	43.8	32.0	53.3	28.3
男性-70代	49.7	16.0	57.5	30.4	51.9	26.0
男性-80歳以上	48.5	34.8	62.1	7.6	60.6	51.5
女性-20代	6.3	-27.8	14.6	2.1	35.4	12.5
女性-30代	13.8	-13.4	24.4	7.4	30.0	1.4
女性-40代	37.5	-4.1	43.9	11.9	49.4	22.3
女性-50代	34.9	2.0	41.4	22.4	56.3	17.4
女性-60代	24.7	-4.4	35.8	19.3	41.6	12.5
女性-70代	39.7	6.2	34.5	12.9	46.9	29.4
女性-80歳以上	26.2	13.8	50.8	46.2	52.3	35.4

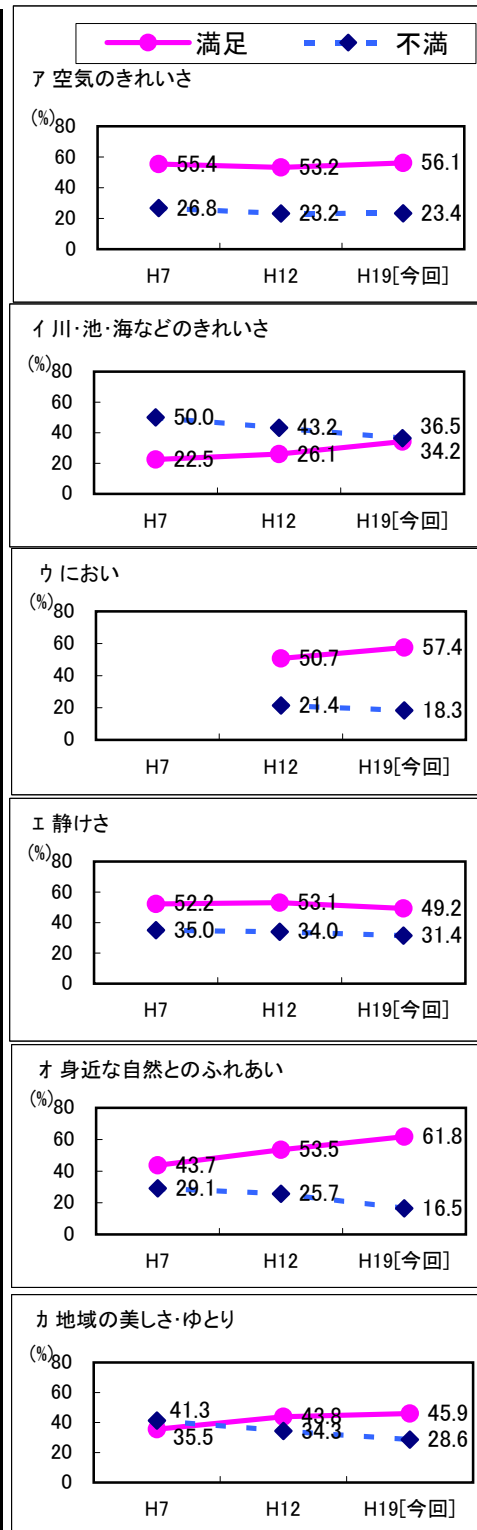
【参考：平成7年及び12年実施の類似調査との比較】

○ 今回調査と選択肢の内容や数が異なる部分があるが、参考までに選択肢の内容が同一又は類似するものについて、平成7年及び12年に本県が別途、実施した環境に関する意識調査での結果と比較した。

◆ 経年比較

◎ 住居周辺の環境の満足度【経年比較】 (%)

		H7	H12	H19[今回]
ア 空気のきれいさ	満足	55.4	53.2	56.1
	どちらともいえない	15.3	23.7	18.9
	不満	26.8	23.2	23.4
イ 川・池・海などのきれいさ	満足	22.5	26.1	34.2
	どちらともいえない	24.1	30.7	27.0
	不満	50.0	43.2	36.5
ウ におい	満足		50.7	57.4
	どちらともいえない		15.1	22.2
	不満		21.4	18.3
エ 静けさ	満足	52.2	53.1	49.2
	どちらともいえない	10.2	12.9	17.9
	不満	35.0	34.0	31.4
オ 身近な自然とのふれあい	満足	43.7	53.5	61.8
	どちらともいえない	22.9	20.8	19.9
	不満	29.1	25.7	16.5
カ 地域の美しさ・ゆとり	満足	35.5	43.8	45.9
	どちらともいえない	20.8	21.9	23.8
	不満	41.3	34.3	28.6



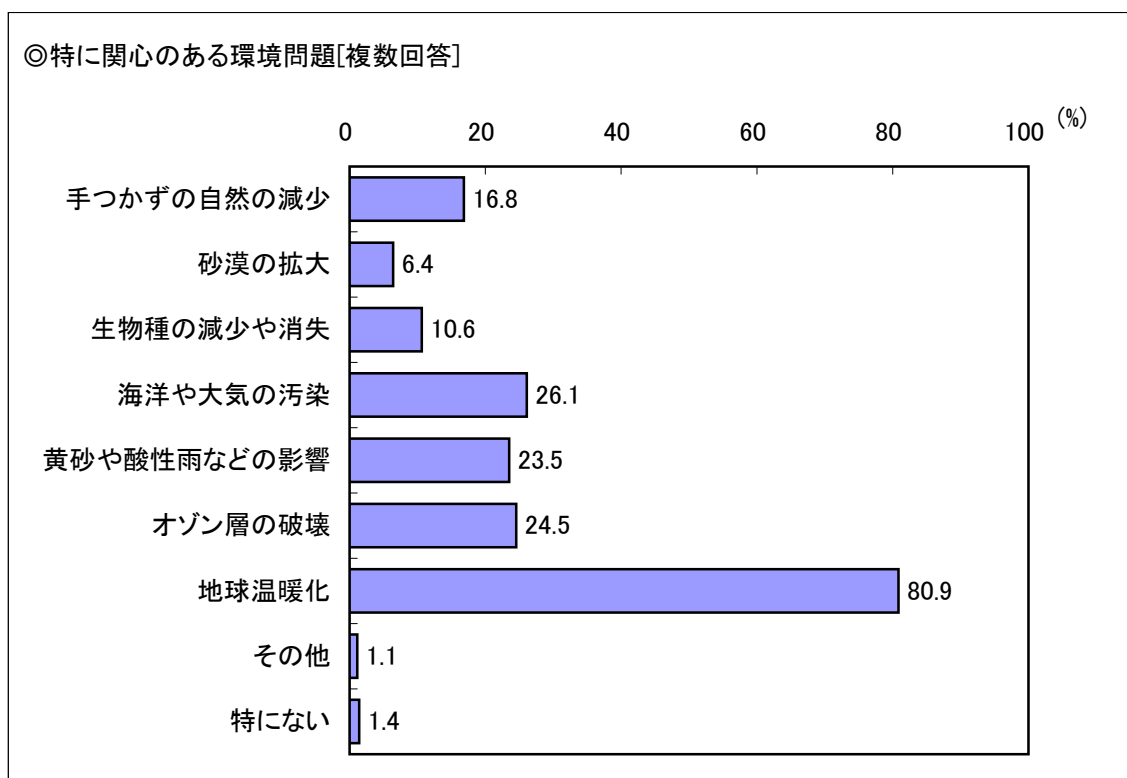
※注「ウ におい」は平成7年には調査していない

(2) 特に関心のある環境問題

問2 現在、地球規模に及ぶさまざまな環境問題が生じています。次の中で、あなたが特に関心をもっていることを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 手つかずの自然の減少
- 2 砂漠の拡大
- 3 生物種の減少や消失
- 4 海洋や大気汚染
- 5 黄砂や酸性雨などの影響
- 6 オゾン層の破壊
- 7 地球温暖化
- 8 その他
- 9 特に関心がない

○ 特に関心のある環境問題では、「地球温暖化」(80.9%)が8割と、他の項目に比して非常に多くなっている。「海洋や大気汚染」(26.1%)、「オゾン層の破壊」(24.5%)、「黄砂や酸性雨などの影響」(23.5%)が2割台で続いている。



◆地域別

- 「地球温暖化」は、いずれの地域でも8割前後を占めている。
- 「黄砂や酸性雨などの影響」は、3割近い丹波(28.3%)をはじめ、ほとんどの地域で2割台であるが、淡路(13.8%)と東播磨(18.9%)ではやや少なく、地域間で14.5ポイントの差が生じている。
- また、「海洋や大気汚染」も東播磨(31.0%)で3割を超え、2割台の地域が多いなか、北播磨(17.4%)と丹波(16.7%)ではやや少なく、地域間で14.3ポイントの差が生じている。

◎特に関心のある環境問題【地域別】

(%)

	全体【規正】	手つかずの自然の減少	砂漠の拡大	生物種の減少や消失	海洋や大気汚染	黄砂や酸性雨などの影響	オゾン層の破壊	地球温暖化	その他	特にない	不明
全県	2888	16.8	6.4	10.6	26.1	23.5	24.5	80.9	1.1	1.4	0.7
神戸	797	14.9	8.3	9.5	25.3	22.5	24.6	83.7	1.3	1.3	0.4
阪神南	531	18.1	6.4	10.0	28.1	24.5	28.1	78.9	0.4	1.1	0.0
阪神北	367	19.3	4.1	12.0	25.9	25.3	23.2	80.1	1.1	1.4	0.5
東播磨	365	15.6	6.6	11.5	31.0	18.9	28.2	80.0	0.8	1.4	1.1
北播磨	149	20.1	4.7	13.4	17.4	24.8	20.1	75.8	3.4	1.3	3.4
中播磨	295	15.3	5.8	9.2	28.5	26.8	21.0	81.4	1.4	1.4	0.3
西播磨	145	14.5	4.8	12.4	22.1	26.2	22.8	82.8	1.4	1.4	1.4
但馬	99	22.2	6.1	11.1	20.2	26.3	19.2	78.8	2.0	3.0	1.0
丹波	60	20.0	5.0	11.7	16.7	28.3	21.7	81.7	1.7	1.7	1.7
淡路	80	16.3	6.3	11.3	27.5	13.8	26.3	78.8	1.3	3.8	1.3

◆性別／性・年代別

- 性別では、「砂漠の拡大」で男性(9.7%)が女性(3.8%)を5.9ポイント上回る程度で、特に差はみられない。
- 性・年代別でみると、「地球温暖化」は、男性の80歳以上(66.7%)を除き、いずれの性・年代でも7割を超えており、女性の40代(88.1%)では9割近い。
- 年代間で最も大きな差が生じているのは「オゾン層の破壊」で、男女とも40代(男 30.1%、女 31.2%)が最も多く、80歳以上(男 4.5%、女 4.6%)が最も少なく、男女とも25ポイント以上の差が生じている。

◎特に関心のある環境問題【性別／性・年代別】

(%)

	全体【規正】	手つかずの自然の減少	砂漠の拡大	生物種の減少や消失	海洋や大気汚染	黄砂や酸性雨などの影響	オゾン層の破壊	地球温暖化	その他	特にない	不明
全県	2888	16.8	6.4	10.6	26.1	23.5	24.5	80.9	1.1	1.4	0.7
男性	1284	15.8	9.7	11.3	26.7	22.0	24.5	79.1	1.2	1.5	0.4
女性	1562	17.3	3.8	10.3	25.5	25.1	24.8	82.5	0.9	1.3	0.8
男性-20代	98	21.4	16.3	10.2	19.4	14.3	28.6	77.6	1.0	1.0	0.0
男性-30代	162	15.4	11.1	15.4	29.6	18.5	19.1	78.4	3.1	0.6	0.0
男性-40代	226	13.3	8.0	13.7	29.2	19.9	30.1	81.0	2.2	0.0	0.4
男性-50代	273	11.7	10.3	11.7	27.8	17.6	27.8	83.2	0.4	0.7	0.0
男性-60代	272	16.5	8.1	7.0	26.8	29.0	27.6	78.7	0.4	1.1	0.4
男性-70代	181	19.9	4.4	13.8	23.2	27.1	18.8	78.5	1.1	2.8	1.1
男性-80歳以上	66	18.2	12.1	3.0	28.8	19.7	4.5	66.7	1.5	12.1	3.0
女性-20代	144	19.4	2.1	20.8	28.5	11.1	22.9	84.7	2.8	0.0	0.7
女性-30代	283	14.1	3.5	13.1	28.6	24.0	31.1	80.9	1.1	1.1	0.0
女性-40代	269	13.0	4.1	5.6	25.7	24.2	31.2	88.1	0.4	0.7	0.4
女性-50代	304	16.1	5.3	10.5	22.0	27.6	26.0	85.2	0.3	1.0	0.3
女性-60代	296	19.6	5.4	7.8	28.7	30.1	20.3	79.1	1.0	1.4	0.3
女性-70代	194	18.6	1.5	8.2	23.2	25.3	20.6	76.3	1.0	3.6	3.1
女性-80歳以上	65	32.3	0.0	10.8	12.3	26.2	4.6	83.1	0.0	3.1	4.6

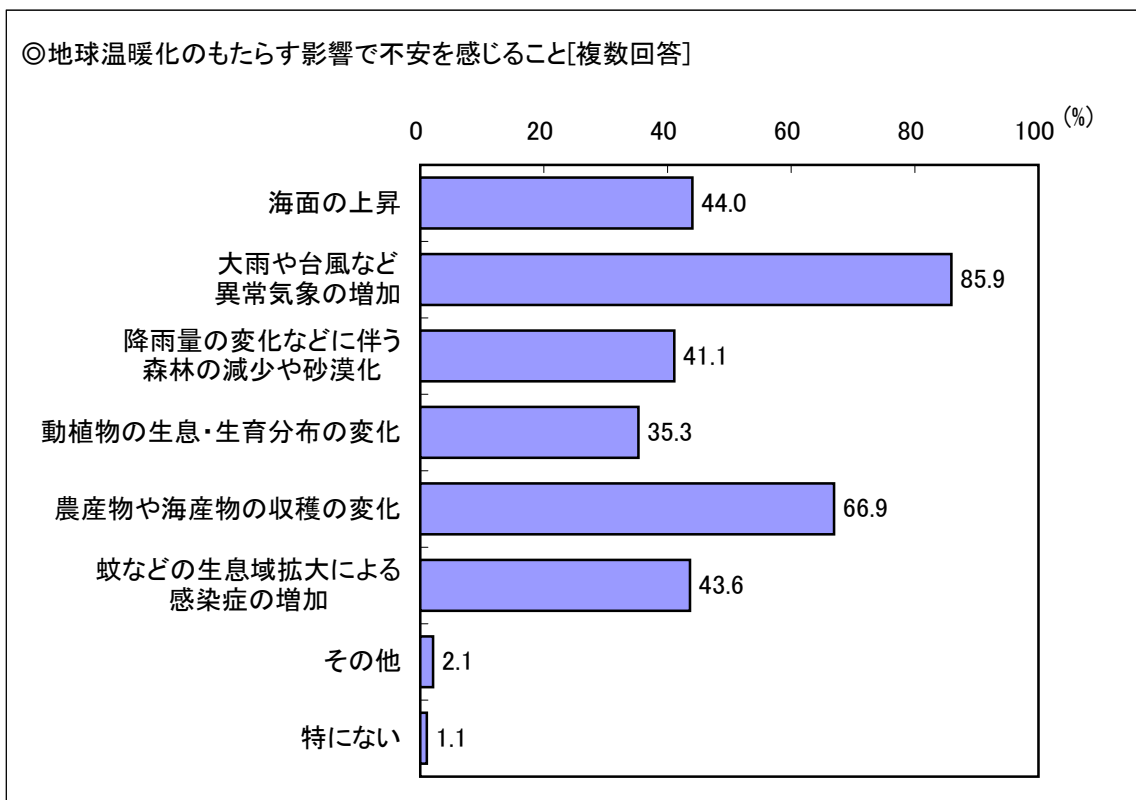
2.地球温暖化について

(1)地球温暖化のもたらす影響で不安を感じること

問3 地球の温暖化が進むと、環境にさまざまな影響があるとされています。あなたが不安を強く感じていることを次の中から、いくつでも選んで番号に○をつけてください。

- 1 海面の上昇
- 2 大雨や台風など異常気象の増加
- 3 降雨量の変化などに伴う森林の減少や砂漠化
- 4 動植物の生息・生育分布の変化
- 5 農産物や海産物の収穫の変化
- 6 蚊などの生息域拡大による感染症の増加
- 7 その他
- 8 特にない

○ 地球温暖化による影響に対する不安では、「大雨や台風など異常気象の増加」(85.9%)が8割を超えて最も多く、次いで「農産物や海産物の収穫の変化」(66.9%)が6割を超える。「海面の上昇」(44.0%)、「蚊などの生息域拡大による感染症の増加」(43.6%)、「降雨量の変化などに伴う森林の減少や砂漠化」(41.1%)、「動植物の生息・生育分布の変化」(35.3%)についても4割前後が不安を感じている。



◆地域別

- 「大雨や台風など異常気象の増加」は但馬(91.9%)で9割を超えており、また、「農産物や海産物の収穫の変化」は但馬(73.7%)、丹波(71.7%)、阪神北(70.3%)で7割を超えており、不安を感じる人が他の地域(前者8割台、後者6割台)よりやや多い。
- 逆に、「海面の上昇」は北播磨(30.9%)や丹波(31.7%)、但馬(37.4%)で、「蚊など生息域拡大による感染症の増加」も丹波(33.3%)、但馬(35.4%)、西播磨(36.6%)、北播磨(38.9%)で、他の地域(両者とも4割台)よりやや少ない。
- また、神戸、阪神南、阪神北、東播磨では、「動植物の生息・生育分布の変化」を除くすべての項目が4割を超えており、この4地域のうち阪神北では「動植物の生息・生育分布の変化」についても4割を超えている(45.0%)。

◎地球温暖化のもたらす影響で不安を感じる事【地域別】 (%)

	全体 【規正】	海面の上昇	大雨や台風など異常気象の増加	降雨量の変化などに伴う森林の減少や砂漠化	動植物の生息・生育分布の変化	農産物や海産物の収穫の変化	蚊などの生息域拡大による感染症の増加	その他	特にな	不明
全県	2888	44.0	85.9	41.1	35.3	66.9	43.6	2.1	1.1	0.6
神戸	797	44.2	84.1	44.9	35.8	67.0	44.2	2.5	1.3	0.0
阪神南	531	46.9	85.7	41.6	32.4	66.9	46.0	2.1	0.8	0.4
阪神北	367	47.7	85.8	44.4	45.0	70.3	45.0	1.4	1.6	1.1
東播磨	365	49.0	87.4	45.5	36.4	65.5	45.5	2.7	1.1	1.1
北播磨	149	30.9	83.9	33.6	34.2	61.7	38.9	1.3	2.0	2.0
中播磨	295	40.7	87.5	36.3	31.2	67.1	45.4	2.0	0.0	0.7
西播磨	145	40.7	87.6	32.4	33.1	61.4	36.6	0.7	0.0	0.7
但馬	99	37.4	91.9	28.3	30.3	73.7	35.4	2.0	2.0	0.0
丹波	60	31.7	86.7	36.7	33.3	71.7	33.3	1.7	0.0	1.7
淡路	80	45.0	87.5	30.0	26.3	63.8	42.5	2.5	1.3	1.3

◆性別／性・年代別

- 性別では、「動植物の生息・生育分布の変化」を除くすべての項目で、女性が男性を上回っている。
- 性・年代別で年代間の差が大きいものをみると、男性では、「大雨や台風など異常気象の増加」が60代(89.0%)で約9割あるが、80歳以上(68.2%)及び20代(69.4%)では7割を下回る。また、「動植物の生息・生育分布の変化」は20代(43.9%)では4割を超えているが、概ね年代が上がるにつれて減少し、80歳以上(16.7%)では1割台である。
一方、女性では、「農産物や海産物の収穫の変化」が60代(78.7%)で8割近く、他の年代も概ね7割前後であるが、80歳以上(58.5%)では6割を下回る。また、「海面の上昇」も他の年代(概ね4割台)と比べ80歳以上(13.8%)では1割台と少ない。
さらに、「蚊など生息域拡大による感染症の増加」は、男性の20代(50.0%)及び女性の30代(58.3%)・40代(51.7%)では5割台であるが、男性の60代以上及び女性の70代以上の年代層では2～3割台となっている。

◎地球温暖化のもたらす影響で不安を感じること【性別／性・年代別】 (%)

	全体 【規正】	海面の 上昇	大雨や 台風な ど異常 気象の 増加	降雨量 の変化 などに 伴う 森林の 減少や 砂漠化	動植物 の生 息・生 育分布 の変化	農産物 や海産 物の 収穫の 変化	蚊など の生息 域拡大 による 感染症 の増加	その他	特 に な い	不 明
全県	2888	44.0	85.9	41.1	35.3	66.9	43.6	2.1	1.1	0.6
男性	1284	43.5	83.3	39.1	35.7	64.5	39.8	1.7	1.0	0.5
女性	1562	44.2	88.3	43.0	35.2	69.4	46.9	2.5	1.0	0.7
男性-20代	98	45.9	69.4	34.7	43.9	69.4	50.0	4.1	1.0	0.0
男性-30代	162	47.5	79.0	34.0	37.0	64.8	46.3	1.2	0.0	0.0
男性-40代	226	43.8	83.2	36.7	39.4	59.3	43.4	2.7	0.4	0.0
男性-50代	273	46.9	87.5	39.9	38.1	65.9	45.8	0.7	0.7	0.0
男性-60代	272	41.5	89.0	45.2	35.7	63.6	34.2	0.7	0.7	0.4
男性-70代	181	38.1	86.7	36.5	29.3	68.0	26.5	2.8	0.6	1.1
男性-80歳以上	66	34.8	68.2	39.4	16.7	62.1	31.8	0.0	10.6	4.5
女性-20代	144	47.2	81.9	37.5	31.3	66.7	40.3	4.2	0.0	0.7
女性-30代	283	47.3	88.7	38.2	35.3	69.3	58.3	1.1	1.4	0.0
女性-40代	269	45.4	91.1	41.6	36.8	64.3	51.7	4.1	0.0	0.7
女性-50代	304	44.7	88.2	49.7	34.5	70.1	46.1	1.6	0.3	0.3
女性-60代	296	48.0	90.5	48.0	38.5	78.7	43.6	3.0	0.7	0.3
女性-70代	194	39.2	85.6	40.2	35.6	68.0	36.6	2.1	3.6	2.1
女性-80歳以上	65	13.8	87.7	38.5	23.1	58.5	38.5	1.5	1.5	1.5

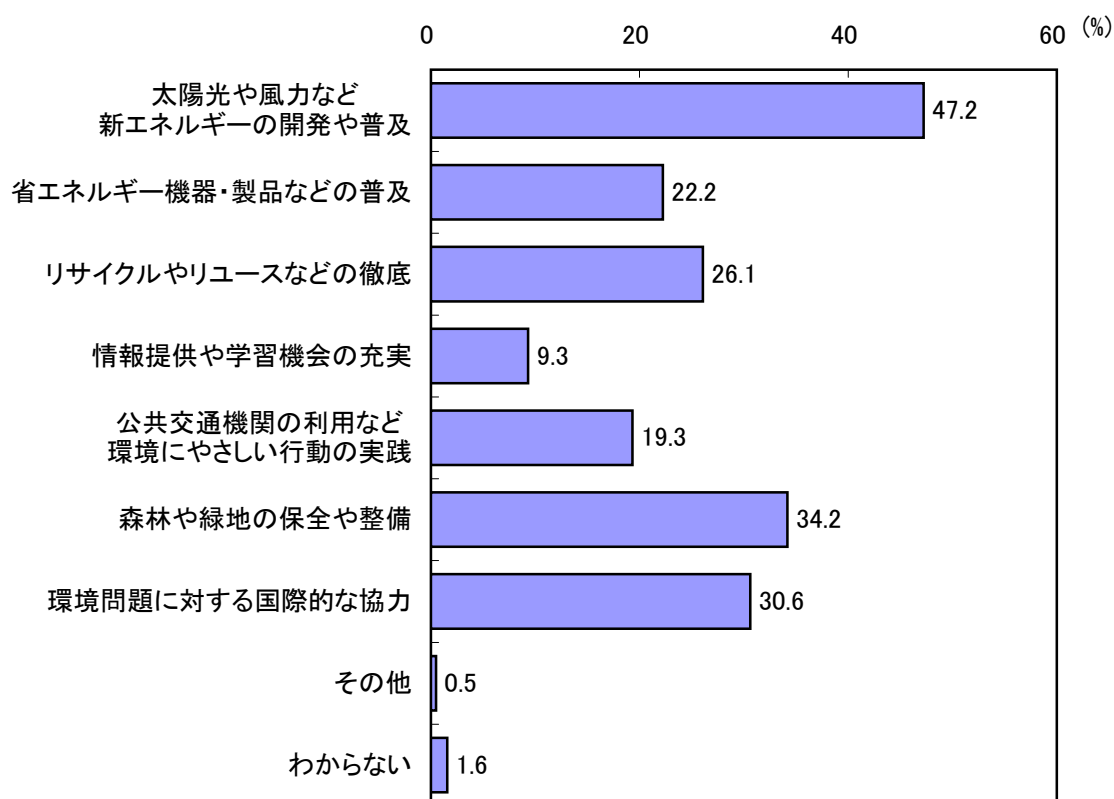
(2)地球温暖化防止に向けた重要な対策

問4 地球温暖化の防止に向け、どのような取り組みが特に重要だと思いますか。2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 太陽光や風力など新エネルギーの開発や普及
- 2 省エネルギー機器・製品などの普及
- 3 リサイクルやリユースなどの徹底
- 4 情報提供や学習機会の充実
- 5 公共交通機関の利用など環境にやさしい行動の実践
- 6 森林や緑地の保全や整備
- 7 環境問題に対する国際的な協力
- 8 その他
- 9 わからない

○ 地球温暖化防止の重要な対策では、「太陽光や風力など新エネルギーの開発や普及」(47.2%)が最も多く、「森林や緑地の保全や整備」(34.2%)、「環境問題に対する国際的な協力」(30.6%)が3割台で続いている。

◎地球温暖化防止に向けた重要な対策[複数回答]



◆地域別

- 「環境問題に対する国際的な協力」(東播磨35.6%、北播磨24.8%)、「公共交通機関の利用など環境にやさしい行動の実践」(東播磨21.9%、淡路11.3%)、「太陽光や風力など新エネルギーの開発や普及」(阪神南50.1%、丹波40.0%)の3項目で地域間の差が10ポイント程度生じている。

◎地球温暖化防止に向けた重要な対策【地域別】

(%)

	全体 【規正】	太陽光 や風力 など新 エネル ギーの 開発や 普及	省エネ ルギー 機器・ 製品な どの 普及	リサイク ルやリ ユース などの 徹底	情報提 供や学 習機会 の充実	公共交 通機関 の利用 など環 境にや さしい 行動の 実践	森林や 緑地の 保全や 整備	環境問 題に対 する国 際的な 協力	その他	わか らな い	不明
全県	2888	47.2	22.2	26.1	9.3	19.3	34.2	30.6	0.5	1.6	1.4
神戸	797	45.8	23.3	29.6	9.2	19.9	33.8	28.7	0.0	1.6	0.9
阪神南	531	50.1	23.2	22.4	8.9	20.0	34.5	32.8	0.0	0.4	1.1
阪神北	367	49.6	19.6	21.8	13.4	19.9	32.4	34.3	0.5	1.9	0.3
東播磨	365	45.2	18.6	29.9	8.8	21.9	32.9	35.6	0.3	0.8	0.8
北播磨	149	45.0	24.2	22.8	6.0	18.1	38.9	24.8	0.7	2.7	4.7
中播磨	295	49.5	23.4	25.1	8.1	16.9	34.6	28.1	1.4	2.0	2.0
西播磨	145	48.3	24.1	24.1	7.6	16.6	36.6	27.6	0.7	2.1	2.8
但馬	99	42.4	22.2	26.3	12.1	19.2	31.3	29.3	2.0	2.0	2.0
丹波	60	40.0	25.0	28.3	6.7	16.7	38.3	25.0	1.7	1.7	3.3
淡路	80	46.3	18.8	30.0	10.0	11.3	37.5	25.0	1.3	2.5	2.5

◆性別／性・年代別

- 性別では、男性が女性を上回っているのは、「太陽光や風力など新エネルギーの開発や普及」(男 52.3%、女 43.5%)、「環境問題に対する国際的な協力」(男 34.8%、女 27.3%)など4項目で、逆に、女性が男性を上回っているのは、「リサイクルやリユースなどの徹底」(男 21.4%、女 29.8%)、「公共交通機関の利用など環境にやさしい行動の実践」(男 17.1%、女 21.3%)など3項目。
- 性・年代別でみると、「太陽光や風力など新エネルギーの開発や普及」は、男性では60代(59.6%)で約6割、最も少ない30代(47.5%)でも4割台後半であるのに対して、女性では30代(49.5%)、40代(49.1%)の約5割をピークに、20代(38.9%)と70代(38.7%)では3割台に、80歳以上(24.6%)では2割台まで減少している。
「リサイクルやリユースなどの徹底」は、男女とも20代(男 33.7%、女 46.5%)で最も多く、概ね年代が上がるにつれて減少しており、80歳以上(男 4.5%、女 20.0%)では、女性は2割台にとどまるものの、男性は1割にも満たない。
このほか、「森林や緑地の保全や整備」と「環境問題に対する国際的な協力」が男性の80歳以上(どちらも48.5%)でともに約5割と多い。

◎地球温暖化防止に向けた重要な対策【性別／性・年代別】

(%)

	全体 【規正】	太陽光 や風力 など新 エネルギー の開発や 普及	省エネ ルギー 機器・ 製品な どの 普及	リサイク ルやリ ユース などの 徹底	情報提 供や学 習機会 の充実	公共交 通機関 の利用 など環 境にや さしい 行動の 実践	森林や 緑地の 保全や 整備	環境問 題に対 する国 際的な 協力	その他	わか らない	不明
全県	2888	47.2	22.2	26.1	9.3	19.3	34.2	30.6	0.5	1.6	1.4
男性	1284	52.3	23.8	21.4	7.9	17.1	34.7	34.8	0.5	0.9	0.9
女性	1562	43.5	21.1	29.8	10.4	21.3	33.8	27.3	0.5	1.9	1.7
男性-20代	98	48.0	23.5	33.7	7.1	14.3	38.8	27.6	1.0	0.0	0.0
男性-30代	162	47.5	25.9	24.7	7.4	10.5	41.4	38.3	0.6	0.0	0.0
男性-40代	226	53.1	29.2	27.0	8.0	15.9	28.8	30.1	0.9	0.4	0.4
男性-50代	273	50.5	21.2	22.7	9.9	20.5	32.2	35.9	0.4	0.4	1.1
男性-60代	272	59.6	22.4	17.6	4.8	18.4	34.9	34.6	0.0	1.1	1.8
男性-70代	181	49.2	23.8	15.5	10.5	22.1	33.1	37.0	0.0	2.8	1.1
男性-80歳以上	66	57.6	10.6	4.5	3.0	10.6	48.5	48.5	0.0	3.0	1.5
女性-20代	144	38.9	22.9	46.5	11.8	18.1	25.0	28.5	1.4	0.7	0.0
女性-30代	283	49.5	19.4	33.6	15.2	16.3	35.0	23.3	0.7	1.4	0.0
女性-40代	269	49.1	23.4	30.9	10.4	14.9	34.6	33.1	0.4	0.4	0.0
女性-50代	304	44.4	20.4	28.0	11.8	19.4	36.2	30.3	0.3	1.0	0.0
女性-60代	296	40.9	22.0	23.3	8.4	31.4	35.1	28.0	0.7	1.0	2.0
女性-70代	194	38.7	15.5	27.3	5.2	26.3	29.9	24.7	0.0	5.2	7.2
女性-80歳以上	65	24.6	32.3	20.0	1.5	23.1	40.0	6.2	0.0	13.8	9.2

3.個人の取組状況について

(1)暮らしの中での環境に配慮した工夫や努力

問5 次のア～ニのことがらについて、あなたが現在していることやこれからしたいことがあれば、あてはまるものにくつでも、番号に○をつけてください。

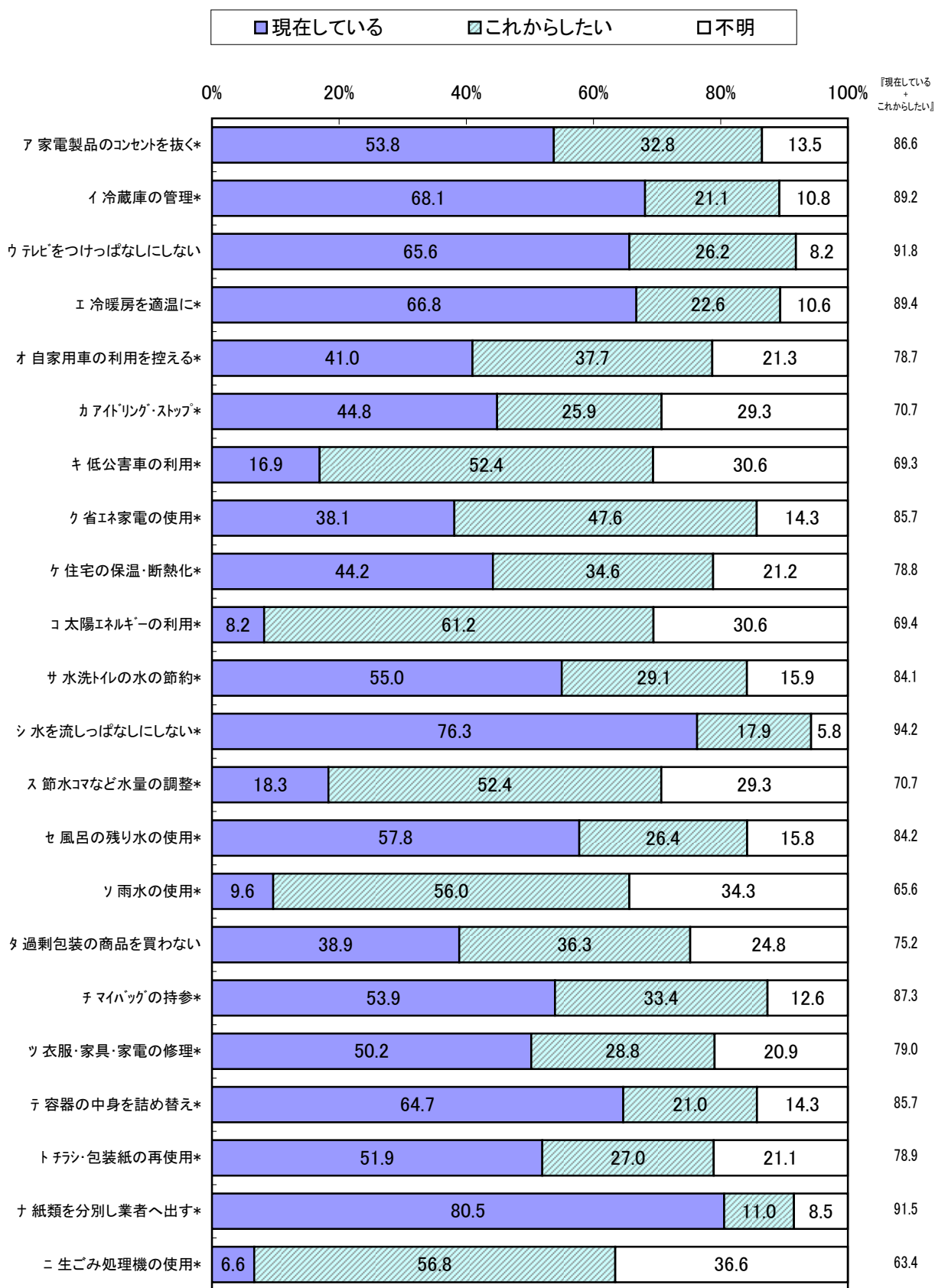
- ア 使っていない家電製品のコンセントはぬく
- イ 冷蔵庫の管理を適切に行う(壁と隙間をあける、ドアの開閉時間を短くする、物をつめすぎない)
- ウ テレビをつけっぱなしにしない(時間を決めて見る、時間を減らす)
- エ 冷暖房は適温にする(冬は20℃、夏は28℃前後)
- オ 自家用車の利用を控え、バス・電車・自転車を利用する
- カ アイドリング・ストップ(自動車の駐停車中のエンジン停止)を行う
- キ 低公害車(ハイブリッド自動車、低燃費・低排出ガス車など)を利用する
- ク 省エネタイプの家電製品を使用する
- ケ 住宅の保温、断熱化を行う(カーテン、2重窓 など)
- コ 太陽エネルギーや太陽熱を利用する(サンルーム、温水器、太陽光発電 など)
- サ 水洗トイレの大小コックの切り替えなど、水の節約に取り組む
- シ 洗顔、歯磨き、食器洗いのときに、水を流しっぱなしにしない
- ス 蛇口に節水コマを取り付けるなど、水量を適量に調整する
- セ 風呂の残り水は、洗濯や拭き掃除に使用する
- ソ 雨水を溜めて散水や防火用水などに使用する
- タ 過剰包装の商品は買わない
- チ 買物の際、マイバッグを持参してレジ袋を断る
- ツ 衣服や家具、家電製品は、修繕・修理して使用する
- テ ビンやプラスチック容器は、中身だけを詰め替えて使用する
- ト チラシや包装紙などを計算用紙、封筒などにして再使用する
- ナ 新聞紙、雑誌などを分別してリサイクル業者に出す
- ニ 生ごみ処理機を使用する

1 現在している

2 これからしたい

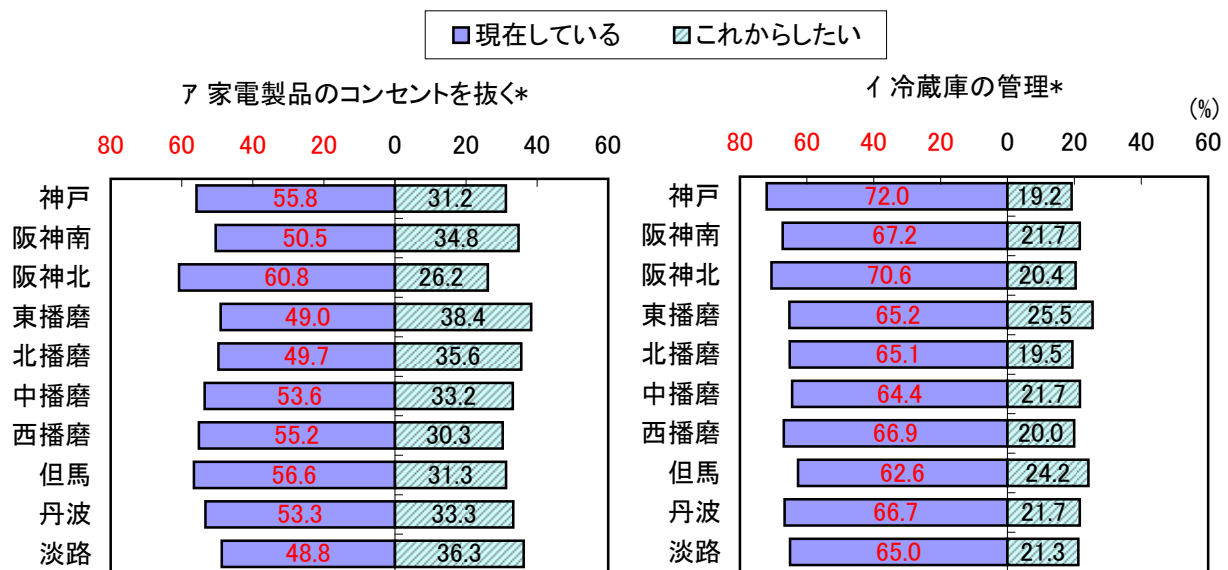
- 「現在している」は、「ナ 新聞紙、雑誌などを分別してリサイクル業者に出す」(80.5%)で8割と最も多く、次いで「シ 洗顔、歯磨き、食器洗いのときに、水を流しっぱなしにしない」(76.3%)で7割台半ばとなっている。以下、「イ 冷蔵庫の管理を適切に行う」(68.1%)、「エ 冷暖房は適温にする」(66.8%)、「ウ テレビをつけっぱなしにしない」(65.6%)、「テ ビンやプラスチック容器は、中身だけを詰め替えて使用する」(64.7%)が6割台で続いている。
一方、「ニ 生ごみ処理機を使用する」(6.6%)、「コ 太陽エネルギーや太陽熱を利用する」(8.2%)、「ソ 雨水を溜めて散水や防火用水などに使用する」(9.6%)は1割に満たない。
- 逆に、「これからしたい」ことでは、「コ 太陽エネルギーや太陽熱を利用する」(61.2%)、「ニ 生ごみ処理機を使用する」(56.8%)、「ソ 雨水を溜めて散水や防火用水などに使用する」(56.0%)が上位3項目となっている。
- 「現在している」と「これからしたい」を足し合わせると、「シ 洗顔、歯磨き、食器洗いのときに、水を流しっぱなしにしない」(94.2%)、「ウ テレビをつけっぱなしにしない」(91.8%)、「ナ 新聞紙、雑誌などを分別してリサイクル業者に出す」(91.5%)の上位3項目は9割を超えている。一方、下位では「ニ 生ごみ処理機を使用する」(63.4%)、「ソ 雨水を溜めて散水や防火用などに使用する」(65.6%)、「キ 低公害車を利用する」(69.3%)、「コ 太陽エネルギーや太陽熱を利用する」(69.4%)の4項目が6割台となっている。

◎暮らしの中での環境に配慮した工夫や努力



◆地域別

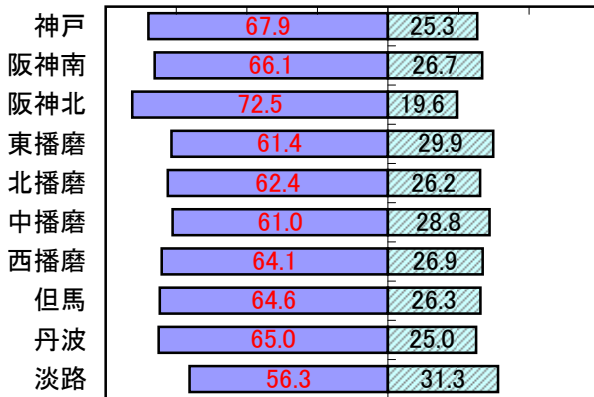
- 「現在している」ことでは、「オ 自家用車の利用を控え、バス・電車、自転車を利用する」が阪神南(51.2%)、神戸(49.2%)で5割前後であるが、丹波(16.7%)、但馬(17.2%)、北播磨(18.1%)では1割台にとどまり、地域間で30ポイント以上の差が生じている。逆に、「カ アイドリング・ストップを行なう」は丹波(58.3%)で6割近く、西播磨(55.2%)、淡路(55.0%)、北播磨(55.0%)、但馬(54.5%)で5割台半ばであるが、神戸(35.8%)は3割台半ば、その他の地域でも4割台と都市部で少ない傾向にある。
また、「チ 買物の際、マイバッグを持参してレジ袋を断る」は但馬(61.6%)、阪神北(61.3%)、神戸(59.6%)、阪神南(59.3%)で6割前後、その他の地域で4～5割台であるのに対して、中播磨(33.9%)は3割台前半と少ない。
さらに、「ニ 生ごみ処理機を使用する」は丹波(25.0%)では4人に1人が「現在している」とするが、他の地域(2.4%～17.2%)は2割を下回る。
地域間の差に注目すると、「現在している」では、22項目中16項目で10ポイント以上の差が生じている。
- 「これからしたい」ことでも、「オ 自家用車の利用を控え、バス・電車、自転車を利用する」(最大:丹波53.3%、最少:阪神南31.3%)や「チ 買物の際、マイバッグを持参してレジ袋を断る」(最大:中播磨50.5%、最少:但馬26.3%)で、地域間の差が20ポイント以上生じるなど、22項目中、8項目で10ポイントを超える差があるが、「オ 自家用車の利用を控え、バス・電車、自転車を利用する」のように「現在している」で最大の地域が「これからしたい」での最少となり、逆に「現在している」で最少の地域が「これからしたい」では最大になって入れ替わる傾向が見受けられる。
- このため「現在している」と「これからしたい」を足し合わせた形でみると、地域間の差は概ね10ポイント未満に収まっており、10ポイントを超えるのは、「カ アイドリング・ストップを行なう」(18.3ポイント)、「オ 自家用車の利用を控え、バス・電車、自転車を利用する」(14.8ポイント)、「ソ 雨水を溜めて散水や防火用などに使用する」(10.4ポイント)の3項目である。(40ページ地域差一覧表を参照)



■現在している □これからしたい

ウ テレビをつけっぱなしにしない

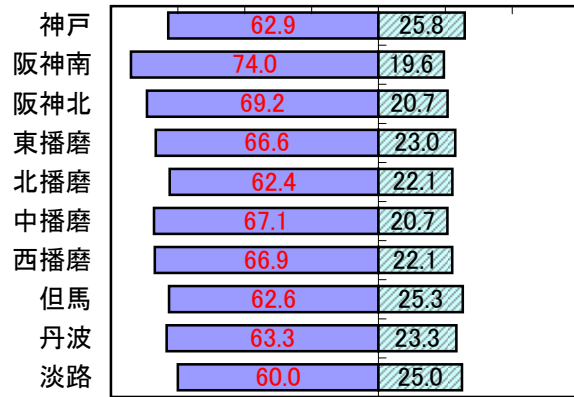
80 60 40 20 0 20 40 60



エ 冷暖房を適温に*

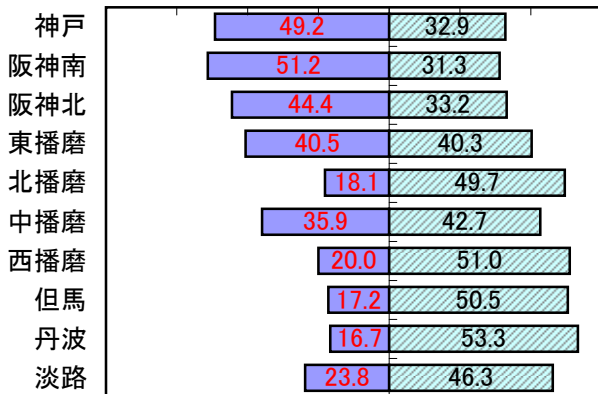
(%)

80 60 40 20 0 20 40 60



オ 自家用車の利用を控える*

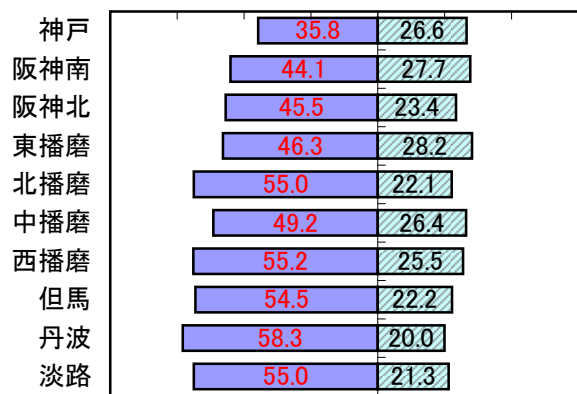
80 60 40 20 0 20 40 60



カ アイドリング・ストップ*

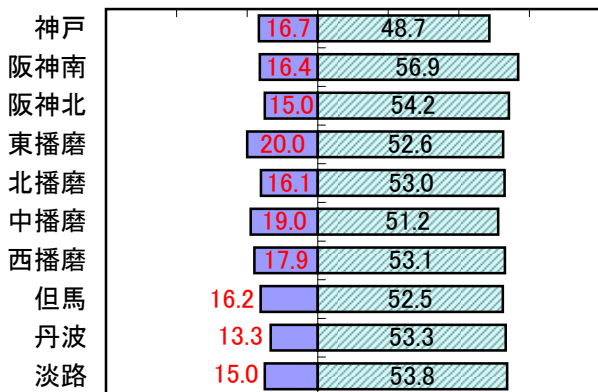
(%)

80 60 40 20 0 20 40 60



キ 低公害車の利用*

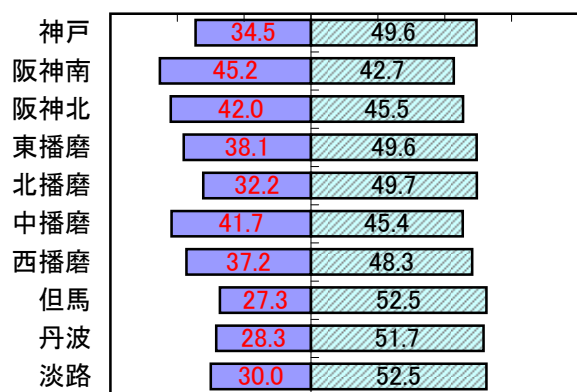
60 40 20 0 20 40 60 80



ク 省エネ家電の使用*

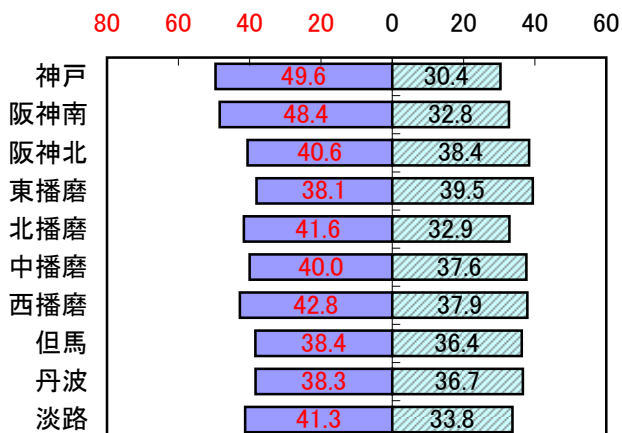
(%)

60 40 20 0 20 40 60 80

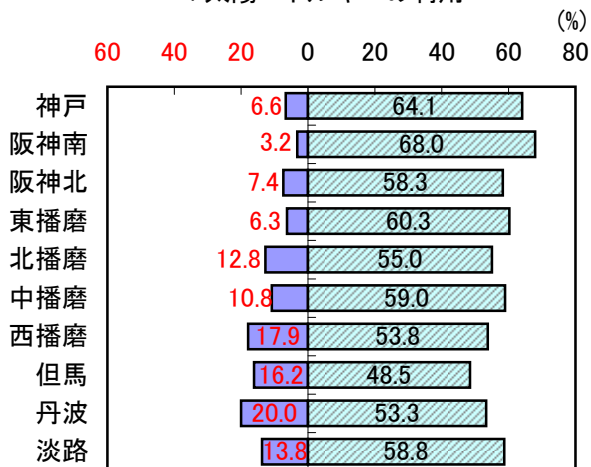


■現在している □これからしたい

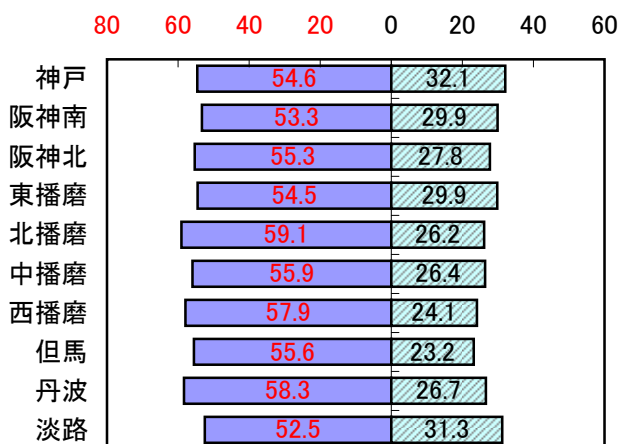
ケ 住宅の保温・断熱化*



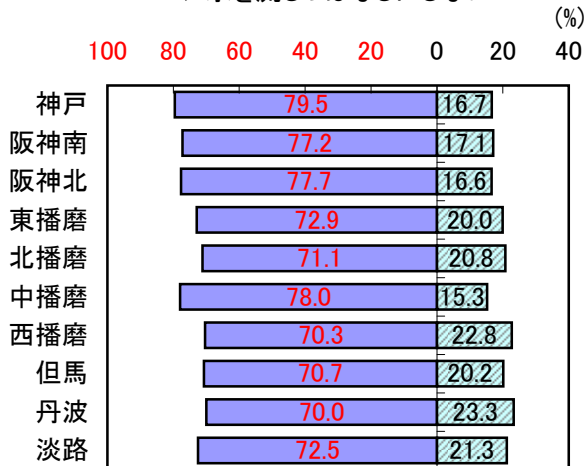
コ 太陽エネルギーの利用*



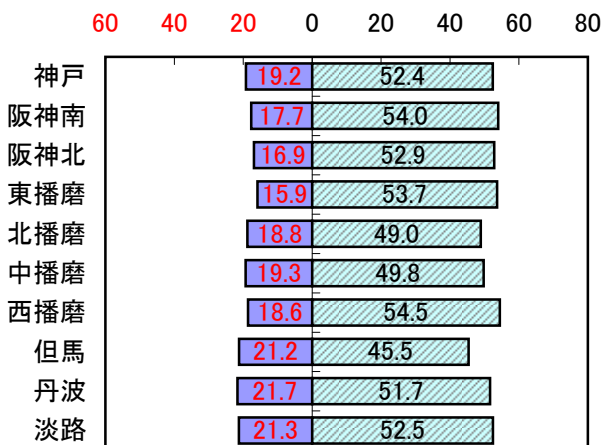
サ 水洗トイレの水の節約*



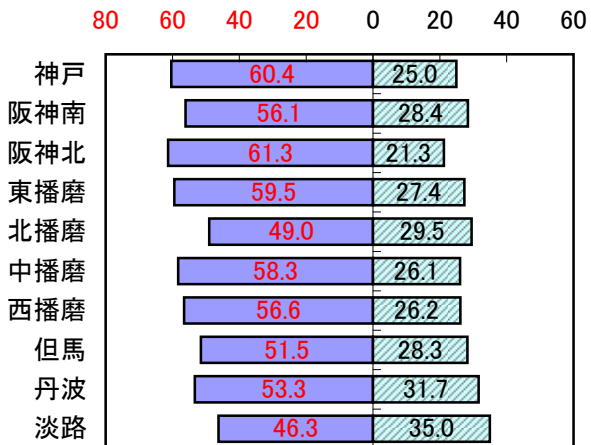
シ 水を流しっぱなしにしない*



ス 節水コマなど水量の調整*

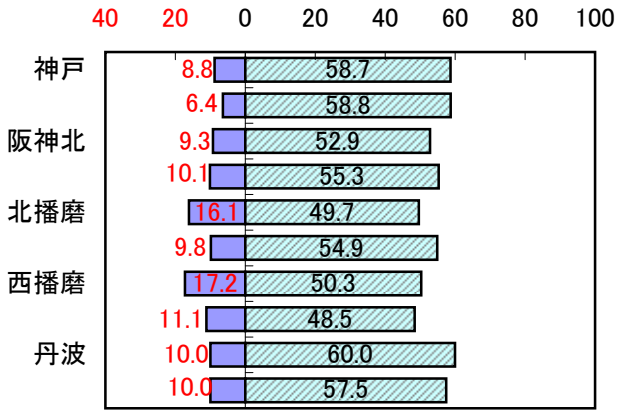


セ 風呂の残り水の使用*

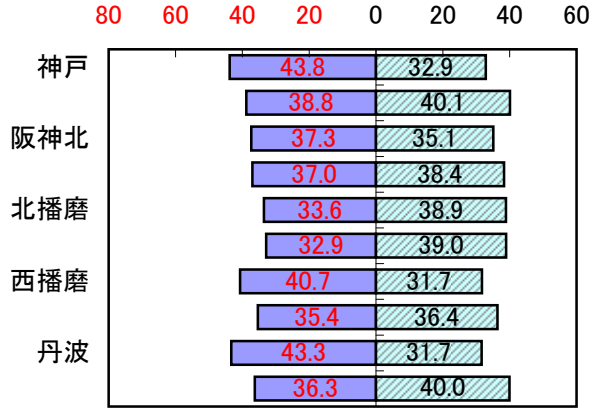


■ 現在している □ これからしたい

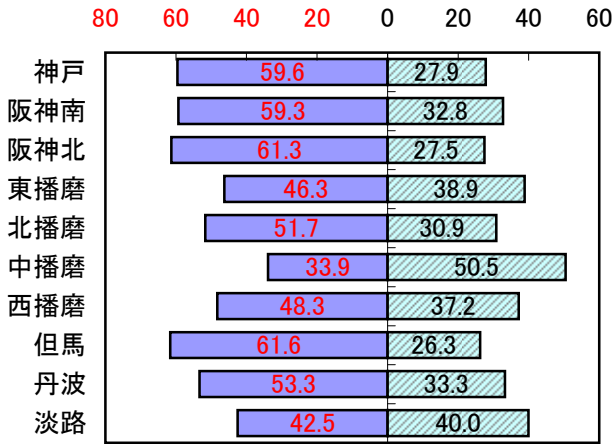
リ 雨水の使用*



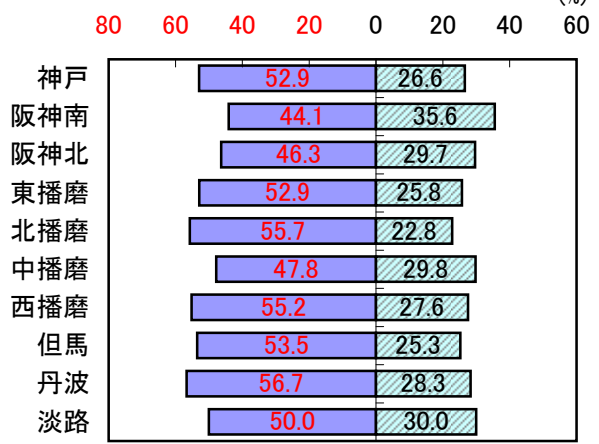
タ 過剰包装の商品を買わない (%)



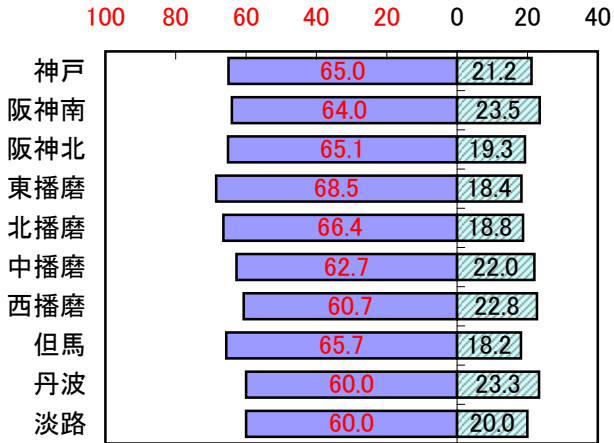
チ マイバッグの持参*



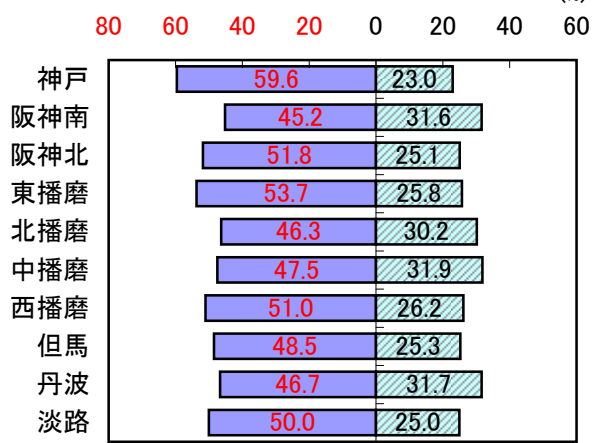
ツ 衣服・家具・家電の修理*



テ 容器の中身を詰め替え*



ト チラシ・包装紙の再使用*

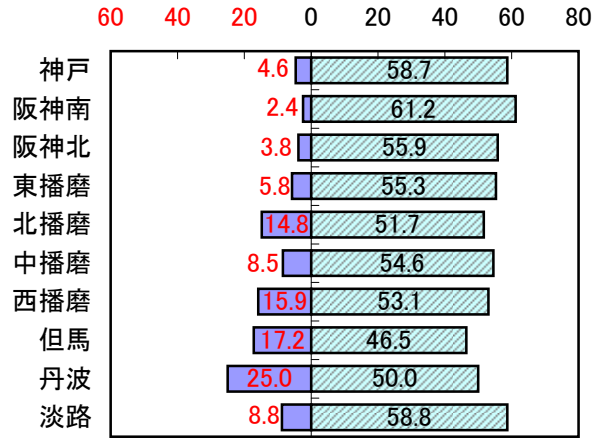
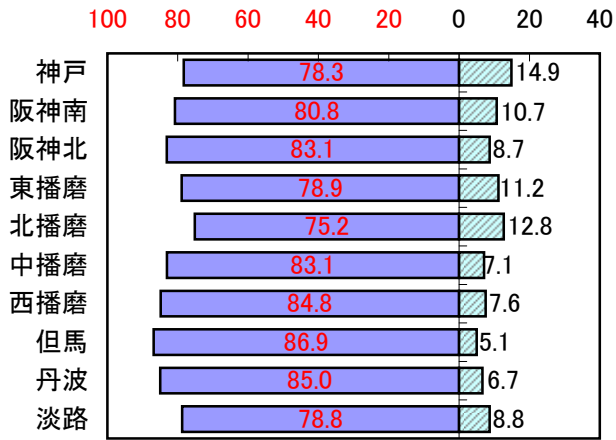


■ 現在している □ これからしたい

ナ 紙類を分別し業者へ出す*

ニ 生ごみ処理機の使用*

(%)



【参考：地域差一覧表】

(%・ポイント差)

設問項目	A 現在している(地域別)				B これからしたい(地域別)				A+B している+したい(地域別)			
	全県	最大	最少	地域差	全県	最大	最少	地域差	全県	最大	最少	地域差
ア 家電製品のコンセントを抜く*	53.8	60.8 阪神北	48.8 淡路	12.0	32.8	38.4 東播磨	26.2 阪神北	12.2	86.6	87.9 但馬	85.1 淡路	2.8
イ 冷蔵庫の管理*	68.1	72.0 神戸	62.6 但馬	9.4	21.1	25.5 東播磨	19.2 神戸	6.3	89.2	91.2 神戸	84.6 北播磨	6.6
ウ テレビをつければなしにしない	65.6	72.5 阪神北	56.3 淡路	16.2	26.2	31.3 淡路	19.6 阪神北	11.7	91.8	93.2 神戸	87.6 淡路	5.6
エ 冷暖房を適温に*	66.8	74.0 阪神南	60.0 淡路	14.0	22.6	25.8 神戸	19.6 阪神南	6.2	89.4	93.6 阪神南	84.5 北播磨	9.1
オ 自家用車の利用を控える*	41.0	51.2 阪神南	16.7 丹波	34.5	37.7	53.3 丹波	31.3 阪神南	22.0	78.7	82.5 阪神南	67.7 但馬	14.8
カ アイリング・ストップ*	44.8	58.3 丹波	35.8 神戸	22.5	25.9	28.2 東播磨	20.0 丹波	8.2	70.7	80.7 西播磨	62.4 神戸	18.3
キ 低公害車の利用*	16.9	20.0 東播磨	13.3 丹波	6.7	52.4	56.9 阪神南	48.7 神戸	8.2	69.3	73.3 阪神南	65.4 神戸	7.9
ク 省エネ家電の使用*	38.1	45.2 阪神南	27.3 但馬	17.9	47.6	52.5 但馬・淡路	42.7 阪神南	9.8	85.7	87.9 阪神南	80.0 丹波	7.9
ケ 住宅の保温・断熱化*	44.2	49.6 神戸	38.1 東播磨	11.5	34.6	39.5 東播磨	30.4 神戸	9.1	78.8	81.2 阪神南	74.5 北播磨	6.7
コ 太陽エネルギーの利用*	8.2	20.0 丹波	3.2 阪神南	16.8	61.2	68.0 阪神南	48.5 但馬	19.5	69.4	73.3 丹波	64.7 丹波	8.6
サ 水洗トイレの水の節約*	55.0	59.1 北播磨	52.5 淡路	6.6	29.1	32.1 神戸	23.2 但馬	8.9	84.1	86.7 神戸	78.8 但馬	7.9
シ 水を流しっぱなしにしない*	76.3	79.5 神戸	70.0 丹波	9.5	17.9	22.8 西播磨	15.3 中播磨	7.5	94.2	96.2 神戸	90.9 但馬	5.3
ス 節水コマなど水量の調整*	18.3	21.7 丹波	15.9 東播磨	5.8	52.4	54.5 西播磨	45.5 但馬	9.0	70.7	73.8 淡路	66.7 但馬	7.1
セ 風呂の残り水の使用*	57.8	61.3 阪神北	46.3 淡路	15.0	26.4	35.0 淡路	21.3 阪神北	13.7	84.2	86.9 東播磨	78.5 北播磨	8.4
ソ 雨水の使用*	9.6	17.2 西播磨	6.4 阪神南	10.8	56.0	60.0 丹波	48.5 但馬	11.5	65.6	70.0 丹波	59.6 但馬	10.4
タ 過剰包装の商品を買わない	38.9	43.8 神戸	32.9 中播磨	10.9	36.3	40.1 阪神南	31.7 西播・丹波	8.4	75.2	78.9 阪神南	71.8 但馬	7.1
チ マイバッグの持参*	53.9	61.6 但馬	33.9 中播磨	27.7	33.4	50.5 中播磨	26.3 但馬	24.2	87.3	92.1 阪神南	82.5 淡路	9.6
ツ 衣服・家具・家電の修理*	50.2	56.7 丹波	44.1 阪神南	12.6	28.8	35.6 阪神南	22.8 北播磨	12.8	79.0	85.0 丹波	76.0 阪神北	9.0
テ 容器の中身を詰め替え*	64.7	68.5 東播磨	60.0 丹波・淡路	8.5	21.0	23.5 阪神南	18.2 但馬	5.3	85.7	87.5 阪神南	80.0 淡路	7.5
ト チラシ・包装紙の再使用*	51.9	59.6 神戸	45.2 阪神南	14.4	27.0	31.9 中播磨	23.0 神戸	8.9	78.9	82.6 神戸	73.8 但馬	8.8
ナ 紙類を分別し業者へ出す*	80.5	86.9 但馬	75.2 北播磨	11.7	11.0	14.9 神戸	5.1 但馬	9.8	91.5	93.2 神戸	87.6 淡路	5.6
ニ 生ごみ処理機の使用*	6.6	25.0 丹波	2.4 阪神南	22.6	56.8	61.2 阪神南	46.5 但馬	14.7	63.4	69.0 西播磨	59.7 阪神北	9.3

◆性別／性・年代別

- 「現在している」では、22項目中、20項目で女性が男性を上回り、「テ ビンやプラスチック容器は、中身だけを詰め替えて使用する」(男 56.2%、女 72.0%)や「チ 買物の際、マイバッグを持参してレジ袋を断る」(男 46.7%、女 60.0%)では、男女の差が10ポイントを超えている。
- 「これからしたい」では19項目で男性が女性を上回るが、男女の差が10ポイントを超えるような項目はない。
- 性・年代別に「現在している」ことで差が大きい項目をみると、男性では、「ツ 衣服や家具、家電製品は、修繕・修理して使用する」が20代(35.7%)での3割台半ばから、年代層が上がるにつれて概ね増加し、80歳以上(69.7%)では約7割と最も多くなっている。また、「サ 水洗トイレの大小コックの切り替えなど、水の節約に取り組む」が60代以上の年代層で6割台、30代～50代でも4割台後半～5割台後半であるのに対して、20代(37.8%)では4割に満たない。
- 一方、女性では、「カ アイドリング・ストップを行なう」が50代(59.2%)で約6割と最も多く、他の年代層でも4～5割台であるが、70代(28.4%)では3割に満たない。
- 「現在している」ことの性・年代間での差に着目すると、年代間の差が10ポイントを下回るのは男女とも2項目だけで、20ポイントを上回る項目が男性で8項目、女性で7項目あるなど、地域別や性別と比べて差が顕著に現れている。
- 「これからしたい」ことで性・年代別の差が大きい項目としては、男性では「カ アイドリング・ストップを行なう」が40代(41.2%)で4割を超え、他の年代でも3割前後が多い中、70代(18.2%)は2割を下回り、80歳以上(3%)では1割にも満たない。また、「キ 低公害車を利用する」でも、60代以下の年代層(53.7%～67.8%)では5割を超えているのに対し、80歳以上(28.8%)が3割弱、70代(45.9%)も4割台半ばと少ない。
- 一方、女性では「コ 太陽エネルギーや太陽熱を利用する」が、30代(74.6%)の7割台半ばをトップに、概ね6割前後となっているが、70代(45.9%)で4割台半ば、80歳以上(35.4%)では3割台半ばと少ない。「ニ 生ごみ処理機を使用する」でも、60代以下の年代層(53.7%～67.8%)では5割を超えているのに対し、80歳以上(30.8%)及び70代(41.2%)では少ない。
- 地域別の場合と同様に、性・年代別においても「現在している」で最大又は最少の年代が「これからしたい」での最少又は最大の年代に入れ替わる傾向が見受けられる。
- 「現在している」と「これからしたい」を足し合わせた形で、性・年代間の差をみると、地域別ほど顕著ではないが、男女の別なく多くの項目で年代間の差が縮小する傾向が見受けられる。ただし、「カ アイドリング・ストップを行なう」(男 44.2ポイント、女41.6ポイント)と「キ 低公害車を利用する」(男 39.5ポイント、女37.5ポイント)では、男女ともかえって年代間の差は大きくなっており、また、女性では、「セ 風呂の残り水は、洗濯や拭き掃除に使用する」(女21.0ポイント)と「チ 買物の際、マイバッグを持参してレジ袋を断る」(女20.3ポイント)の年代間の差が拡大している。このほか、20ポイントを超える年代差を示す項目が少なくない。これらの項目については、男性で30代が最少になっている「ツ 衣服や家具、家電製品は、修繕・修理して使用する」を除き、70代以上で落ち込みがあることが共通している。(48～49ページ性別／性・年代別一覧表を参照)

◎暮らしの中での環境に配慮した工夫や努力【性別／性・年代別】

(%)

	全体 【規正】	ア 家電製品のコンセントを抜く*			イ 冷蔵庫の管理*		
		現在 している	これから したい	不明	現在 している	これから したい	不明
全県	2888	53.8	32.8	13.5	68.1	21.1	10.8
男性	1284	49.1	34.0	16.9	64.6	21.9	13.6
女性	1562	57.2	32.1	10.6	71.4	20.6	8.1
男性-20代	98	42.9	37.8	19.4	62.2	28.6	9.2
男性-30代	162	57.4	27.2	15.4	65.4	25.3	9.9
男性-40代	226	44.2	37.2	18.6	72.6	15.0	12.4
男性-50代	273	45.1	39.2	15.8	60.1	26.0	13.9
男性-60代	272	45.6	36.0	18.4	66.5	17.3	16.2
男性-70代	181	59.7	24.3	16.0	55.2	28.2	17.1
男性-80歳以上	66	59.1	31.8	7.6	74.2	10.6	13.6
女性-20代	144	58.3	36.1	6.3	70.1	23.6	6.3
女性-30代	283	59.7	30.7	9.5	70.7	20.8	8.5
女性-40代	269	53.5	34.2	12.3	71.0	18.2	10.8
女性-50代	304	56.3	34.9	8.9	72.0	23.7	4.6
女性-60代	296	55.7	36.8	7.1	73.6	21.6	4.7
女性-70代	194	59.3	21.6	19.1	69.6	14.9	14.9
女性-80歳以上	65	60.0	21.5	18.5	67.7	21.5	12.3

(%)

	全体 【規正】	ウ テレビをつけっぱなしにしない			エ 冷暖房を適温に*		
		現在 している	これから したい	不明	現在 している	これから したい	不明
全県	2888	65.6	26.2	8.2	66.8	22.6	10.6
男性	1284	64.8	26.2	9.0	64.0	23.6	12.4
女性	1562	67.2	25.5	7.3	69.3	21.9	8.8
男性-20代	98	64.3	25.5	9.2	59.2	26.5	14.3
男性-30代	162	61.1	27.8	11.1	61.1	29.0	9.9
男性-40代	226	60.6	24.8	14.6	54.4	29.6	15.9
男性-50代	273	59.3	30.4	10.3	60.8	25.3	13.9
男性-60代	272	70.2	25.0	4.8	67.6	22.1	10.3
男性-70代	181	69.6	23.8	7.2	76.8	13.3	9.9
男性-80歳以上	66	71.2	25.8	1.5	69.7	16.7	13.6
女性-20代	144	67.4	29.2	3.5	65.3	28.5	6.3
女性-30代	283	73.5	19.4	7.1	70.0	24.4	5.7
女性-40代	269	64.7	27.9	7.4	72.5	18.6	8.9
女性-50代	304	60.9	33.2	6.3	68.4	23.7	7.9
女性-60代	296	68.6	26.7	4.7	69.6	23.3	7.1
女性-70代	194	66.0	18.0	16.0	69.1	14.4	16.0
女性-80歳以上	65	75.4	18.5	7.7	61.5	20.0	18.5

(%)

	全体 【規正】	オ 自家用車の利用を控える*			カ アイドリング・ストップ*		
		現在 している	これから したい	不明	現在 している	これから したい	不明
全県	2888	41.0	37.7	21.3	44.8	25.9	29.3
男性	1284	36.9	40.4	22.7	42.1	29.5	28.4
女性	1562	44.3	35.6	20.1	47.6	23.1	29.3
男性-20代	98	27.6	51.0	21.4	42.9	35.7	20.4
男性-30代	162	31.5	45.7	22.8	37.0	30.9	32.1
男性-40代	226	33.6	42.0	24.3	33.2	41.2	26.1
男性-50代	273	35.5	37.0	27.5	46.2	31.1	22.7
男性-60代	272	39.3	43.0	17.3	50.0	29.0	21.0
男性-70代	181	45.9	34.8	18.8	43.6	18.2	38.1
男性-80歳以上	66	50.0	24.2	25.8	31.8	3.0	65.2
女性-20代	144	45.1	38.9	16.0	43.1	35.4	21.5
女性-30代	283	37.8	43.5	18.7	48.8	31.4	19.8
女性-40代	269	34.6	41.6	23.8	52.4	23.0	24.5
女性-50代	304	44.4	38.2	17.8	59.2	23.7	17.1
女性-60代	296	48.6	34.5	16.9	47.3	18.6	34.1
女性-70代	194	60.8	15.5	23.7	28.4	12.9	58.2
女性-80歳以上	65	44.6	21.5	35.4	40.0	6.2	55.4

(%)

	全体 【規正】	キ 低公害車の利用*			ク 省エネ家電の使用*		
		現在 している	これから したい	不明	現在 している	これから したい	不明
全県	2888	16.9	52.4	30.6	38.1	47.6	14.3
男性	1284	15.2	55.2	29.6	32.9	50.9	16.3
女性	1562	18.5	50.5	31.0	42.2	45.2	12.7
男性-20代	98	9.2	62.2	27.6	42.9	42.9	14.3
男性-30代	162	24.7	51.2	24.1	33.3	54.3	13.0
男性-40代	226	15.9	58.8	25.2	40.3	42.9	16.8
男性-50代	273	15.0	60.4	24.2	32.6	50.5	17.2
男性-60代	272	14.7	59.9	25.7	30.1	55.5	14.3
男性-70代	181	12.7	45.9	41.4	26.5	56.9	16.6
男性-80歳以上	66	7.6	28.8	63.6	24.2	50.0	25.8
女性-20代	144	24.3	48.6	27.1	34.7	52.8	12.5
女性-30代	283	25.8	51.6	22.6	48.1	45.2	6.7
女性-40代	269	27.1	50.6	22.3	44.2	43.1	12.6
女性-50代	304	18.4	58.2	23.7	43.4	47.0	9.9
女性-60代	296	8.4	59.1	32.4	41.2	47.6	11.1
女性-70代	194	6.7	33.5	59.8	34.0	40.7	24.7
女性-80歳以上	65	18.5	26.2	55.4	47.7	29.2	23.1

(%)

	全体 【規正】	ケ 住宅の保温・断熱化*			コ 太陽エネルギーの利用*		
		現在 している	これから したい	不明	現在 している	これから したい	不明
全県	2888	44.2	34.6	21.2	8.2	61.2	30.6
男性	1284	39.5	37.4	23.1	7.9	62.1	30.0
女性	1562	48.0	32.5	19.7	8.4	60.9	30.7
男性-20代	98	30.6	46.9	22.4	13.3	59.2	27.6
男性-30代	162	40.7	31.5	27.8	3.1	66.0	31.5
男性-40代	226	39.4	37.6	22.6	6.6	62.4	30.5
男性-50代	273	39.2	38.5	22.3	7.3	63.0	29.3
男性-60代	272	42.3	37.1	20.6	8.5	62.1	29.4
男性-70代	181	34.8	39.2	26.0	9.9	60.8	29.8
男性-80歳以上	66	53.0	27.3	19.7	13.6	57.6	28.8
女性-20代	144	36.1	38.9	25.0	4.2	67.4	29.2
女性-30代	283	46.3	39.9	13.8	3.5	74.6	21.9
女性-40代	269	50.9	30.5	18.6	10.4	62.1	27.1
女性-50代	304	48.0	32.2	19.7	10.2	60.9	28.9
女性-60代	296	51.7	31.4	16.9	9.1	58.8	31.8
女性-70代	194	48.5	25.8	25.8	9.3	45.9	44.8
女性-80歳以上	65	47.7	23.1	30.8	15.4	35.4	50.8

(%)

	全体 【規正】	サ 水洗トイレの水の節約*			シ 水を流しっぱなしにしない*		
		現在 している	これから したい	不明	現在 している	これから したい	不明
全県	2888	55.0	29.1	15.9	76.3	17.9	5.8
男性	1284	56.3	28.0	15.7	74.6	18.8	6.5
女性	1562	54.5	29.6	15.9	78.0	17.1	5.0
男性-20代	98	37.8	41.8	19.4	73.5	22.4	4.1
男性-30代	162	58.6	19.8	21.6	69.8	21.0	9.3
男性-40代	226	56.6	27.0	16.4	75.2	16.4	8.4
男性-50代	273	47.6	37.0	15.8	71.8	22.3	6.2
男性-60代	272	60.7	25.0	14.7	77.6	15.8	6.6
男性-70代	181	69.6	21.5	9.4	78.5	16.0	5.5
男性-80歳以上	66	62.1	25.8	12.1	72.7	25.8	1.5
女性-20代	144	56.9	29.9	13.2	77.1	20.8	2.1
女性-30代	283	52.7	33.6	13.8	84.1	13.8	2.5
女性-40代	269	42.8	39.0	18.2	82.9	11.9	5.2
女性-50代	304	53.9	29.6	16.4	77.0	19.1	3.9
女性-60代	296	59.1	27.4	13.2	75.0	21.3	3.4
女性-70代	194	62.9	18.6	18.6	69.1	18.0	12.9
女性-80歳以上	65	56.9	16.9	26.2	75.4	15.4	9.2

(%)

	全体 【規正】	ス 節水コマなど水量の調整*			セ 風呂の残り水の使用*		
		現在 している	これから したい	不明	現在 している	これから したい	不明
全県	2888	18.3	52.4	29.3	57.8	26.4	15.8
男性	1284	16.7	52.6	30.8	56.6	25.0	18.4
女性	1562	19.8	52.0	28.2	59.0	27.4	13.7
男性-20代	98	19.4	50.0	30.6	51.0	32.7	16.3
男性-30代	162	9.9	53.1	37.7	66.0	16.7	17.9
男性-40代	226	21.7	48.7	29.6	62.4	21.2	16.4
男性-50代	273	13.2	54.2	32.6	52.4	26.7	20.9
男性-60代	272	16.5	55.1	28.3	55.5	26.1	18.8
男性-70代	181	18.8	54.7	26.0	58.6	24.9	17.1
男性-80歳以上	66	24.2	47.0	28.8	40.9	33.3	24.2
女性-20代	144	9.7	64.6	25.7	51.4	35.4	13.2
女性-30代	283	24.7	53.0	22.3	62.5	29.3	8.1
女性-40代	269	17.5	53.5	29.0	58.7	24.5	16.7
女性-50代	304	13.5	53.6	33.2	64.1	25.3	10.5
女性-60代	296	23.6	50.7	25.3	57.8	30.4	11.8
女性-70代	194	23.7	45.4	31.4	58.2	21.6	20.1
女性-80歳以上	65	29.2	32.3	38.5	46.2	24.6	30.8

(%)

	全体 【規正】	ソ 雨水の使用*			タ 過剰包装の商品を買わない		
		現在 している	これから したい	不明	現在 している	これから したい	不明
全県	2888	9.6	56.0	34.3	38.9	36.3	24.8
男性	1284	7.8	56.6	35.6	33.6	38.8	27.6
女性	1562	11.1	55.8	33.1	43.1	34.4	22.5
男性-20代	98	7.1	64.3	28.6	36.7	34.7	28.6
男性-30代	162	3.1	56.2	41.4	29.6	37.7	33.3
男性-40代	226	7.1	57.5	35.4	31.4	40.7	27.9
男性-50代	273	11.0	52.0	37.0	31.1	42.9	26.0
男性-60代	272	7.7	58.5	33.8	34.6	39.3	26.1
男性-70代	181	8.3	56.9	35.4	41.4	32.6	26.5
男性-80歳以上	66	4.5	59.1	36.4	36.4	39.4	22.7
女性-20代	144	4.2	61.8	34.0	32.6	45.1	22.2
女性-30代	283	4.9	65.0	30.0	42.8	36.7	20.5
女性-40代	269	8.9	54.6	36.4	40.9	37.5	21.6
女性-50代	304	11.5	56.6	31.9	45.4	33.9	20.7
女性-60代	296	16.2	56.4	27.0	50.7	31.4	17.6
女性-70代	194	18.0	41.8	40.2	44.3	23.2	32.5
女性-80歳以上	65	16.9	43.1	40.0	26.2	36.9	36.9

(%)

	全体 【規正】	マイバッグの持参*			衣服・家具・家電の修理*		
		現在 している	これから したい	不明	現在 している	これから したい	不明
全県	2888	53.9	33.4	12.6	50.2	28.8	20.9
男性	1284	46.7	36.2	17.1	50.0	29.0	21.0
女性	1562	60.0	31.2	8.8	50.0	29.0	21.1
男性-20代	98	46.9	38.8	14.3	35.7	45.9	18.4
男性-30代	162	39.5	40.7	19.8	40.7	28.4	31.5
男性-40代	226	42.9	39.4	17.3	47.3	31.4	21.2
男性-50代	273	42.9	39.2	17.9	52.0	27.8	20.5
男性-60代	272	48.5	36.4	15.1	50.4	27.6	22.1
男性-70代	181	55.8	27.1	17.1	59.1	22.7	18.2
男性-80歳以上	66	65.2	22.7	12.1	69.7	22.7	7.6
女性-20代	144	50.7	41.0	9.0	46.5	29.2	24.3
女性-30代	283	57.2	34.3	8.5	47.0	33.2	19.8
女性-40代	269	63.2	29.4	7.1	43.1	33.5	23.4
女性-50代	304	62.5	31.6	6.3	45.7	33.6	20.7
女性-60代	296	62.2	30.1	7.4	58.8	20.9	20.3
女性-70代	194	62.4	25.8	11.9	60.3	21.6	18.0
女性-80歳以上	65	49.2	24.6	26.2	46.2	29.2	26.2

(%)

	全体 【規正】	テ容器の中身を詰め替え*			トチラシ・包装紙の再使用*		
		現在 している	これから したい	不明	現在 している	これから したい	不明
全県	2888	64.7	21.0	14.3	51.9	27.0	21.1
男性	1284	56.2	25.4	18.4	49.5	27.0	23.5
女性	1562	72.0	17.1	10.9	54.1	26.8	19.1
男性-20代	98	57.1	34.7	8.2	57.1	26.5	16.3
男性-30代	162	61.1	22.2	16.7	42.0	29.6	29.0
男性-40代	226	66.4	18.1	15.0	56.2	22.6	21.2
男性-50代	273	54.6	25.3	20.1	44.3	27.1	28.6
男性-60代	272	50.7	29.8	19.5	45.2	28.3	26.8
男性-70代	181	50.8	24.9	23.8	58.6	27.6	13.8
男性-80歳以上	66	50.0	27.3	21.2	48.5	31.8	19.7
女性-20代	144	80.6	15.3	4.2	55.6	30.6	14.6
女性-30代	283	82.7	14.1	3.5	50.9	31.8	17.7
女性-40代	269	78.4	14.1	7.4	52.0	29.4	18.6
女性-50代	304	67.4	21.7	10.9	42.8	33.9	23.4
女性-60代	296	66.6	18.6	14.9	62.2	20.9	16.9
女性-70代	194	59.3	19.1	21.6	67.0	14.4	18.6
女性-80歳以上	65	61.5	13.8	26.2	50.8	16.9	32.3

(%)

	全体 【規正】	ナ 紙類を分別し業者へ出す*			ニ 生ごみ処理機の使用*		
		現在 している	これから したい	不明	現在 している	これから したい	不明
全県	2888	80.5	11.0	8.5	6.6	56.8	36.6
男性	1284	80.0	11.1	8.9	6.5	57.0	36.5
女性	1562	81.5	10.9	7.6	6.9	56.8	36.4
男性-20代	98	66.3	18.4	14.3	5.1	61.2	33.7
男性-30代	162	69.1	16.7	14.8	6.2	56.2	37.7
男性-40代	226	79.6	10.6	9.7	1.3	64.2	34.5
男性-50代	273	76.9	12.8	10.6	5.9	54.9	39.2
男性-60代	272	86.4	7.7	6.3	8.1	55.5	36.4
男性-70代	181	90.6	5.5	3.9	11.6	55.2	33.1
男性-80歳以上	66	86.4	9.1	3.0	9.1	50.0	40.9
女性-20代	144	70.8	18.1	11.8	4.9	63.9	31.3
女性-30代	283	78.4	15.5	6.0	5.3	67.8	27.2
女性-40代	269	77.3	10.8	11.9	2.6	58.7	38.7
女性-50代	304	88.8	6.6	4.9	5.9	59.5	34.5
女性-60代	296	85.8	9.8	4.1	11.5	53.7	34.8
女性-70代	194	82.5	8.2	9.3	8.8	41.2	50.0
女性-80歳以上	65	80.0	9.2	12.3	13.8	30.8	55.4

【参考：性別／性・年代別一覧表】

(%・ポイント差)

設問項目	A 現在している(性・年代別)									B これからしたい(性・年代別)										
	↓男・年代別			↓女・年代別			↓男・年代別			↓女・年代別			↓男・年代別			↓女・年代別				
	全県	男	女	性差	最大	最少	年代差	最大	最少	年代差	全県	男	女	性差	最大	最少	年代差	最大	最少	年代差
ア 家電製品のコンセントを抜く*	53.8	49.1	57.2	8.1	59.7 70代	42.9 20代	16.8	60.0 80以上	53.5 40代	6.5	32.8	34.0	32.1	1.9	39.2 50代	24.3 70代	14.9	36.8 60代	21.5 80以上	15.3
イ 冷蔵庫の管理*	68.1	64.6	71.4	6.8	74.2 80以上	55.2 70代	19.0	73.6 60代	67.7 80以上	5.9	21.1	21.9	20.6	1.3	28.6 20代	10.6 80以上	18.0	23.7 50代	14.9 70代	8.8
ウ テレビをつければなしにしない	65.6	64.8	67.2	2.4	71.2 80以上	59.3 50代	11.9	75.4 80以上	60.9 50代	14.5	26.2	26.2	25.5	0.7	30.4 50代	23.8 70代	6.6	33.2 50代	18.0 70代	15.2
エ 冷暖房を適温に*	66.8	64.0	69.3	5.3	76.8 70代	54.4 40代	22.4	72.5 40代	61.5 80以上	11.0	22.6	23.6	21.9	1.7	29.6 40代	13.3 70代	16.3	28.5 20代	14.4 70代	14.1
オ 自家用車の利用を控える*	41.0	36.9	44.3	7.4	50.0 80以上	27.6 20代	22.4	60.8 70代	34.6 40代	26.2	37.7	40.4	35.6	4.8	51.0 20代	24.2 80以上	26.8	43.5 30代	15.5 70代	28.0
カ アイドリング・ストップ*	44.8	42.1	47.6	5.5	50.0 60代	31.8 80以上	18.2	59.2 50代	28.4 70代	30.8	25.9	29.5	23.1	6.4	41.2 40代	3.0 80以上	38.2	35.4 20代	6.2 80以上	29.2
キ 低公害車の利用*	16.9	15.2	18.5	3.3	24.7 30代	7.6 80以上	17.1	27.1 40代	6.7 70代	20.4	52.4	55.2	50.5	4.7	62.2 20代	28.8 80以上	33.4	59.1 60代	26.2 80以上	32.9
ク 省エネ家電の使用*	38.1	32.9	42.2	9.3	42.9 20代	24.2 80以上	18.7	48.1 30代	34.0 70代	14.1	47.6	50.9	45.2	5.7	56.9 70代	42.9 20・40代	14.0	52.8 20代	29.2 80以上	23.6
ケ 住宅の保温・断熱化*	44.2	39.5	48.0	8.5	53.0 80以上	30.6 20代	22.4	51.7 60代	36.1 20代	15.6	34.6	37.4	32.5	4.9	46.9 20代	27.3 80以上	19.6	39.9 30代	23.1 80以上	16.8
コ 太陽エネルギーの利用*	8.2	7.9	8.4	0.5	13.6 80以上	3.1 30代	10.5	15.4 80代	3.5 30代	11.9	61.2	62.1	60.9	1.2	66.0 30代	57.6 80以上	8.4	74.6 30代	35.4 80以上	39.2
サ 水洗トイレの水の節約*	55.0	56.3	54.5	1.8	69.6 70代	37.8 20代	31.8	62.9 70代	42.8 40代	20.1	29.1	28.0	29.6	1.6	41.8 20代	19.8 30代	22.0	39.0 40代	16.9 80以上	22.1
シ 水を流しっぱなしにしない*	76.3	74.6	78.0	3.4	78.5 70代	69.8 30代	8.7	84.1 30代	69.1 70代	15.0	17.9	18.8	17.1	1.7	25.8 80以上	15.8 60代	10.0	21.3 60代	11.9 40代	9.4
ス 節水コマなど水量の調整*	18.3	16.7	19.8	3.1	24.2 80以上	9.9 30代	14.3	29.2 80以上	9.7 20代	19.5	52.4	52.6	52.0	0.6	55.1 60代	47.0 80以上	8.1	64.6 20代	32.3 80以上	32.3
セ 風呂の残り水の使用*	57.8	56.6	59.0	2.4	66.0 30代	40.9 80以上	25.1	64.1 50代	46.2 80以上	17.9	26.4	25.0	27.4	2.4	33.3 80以上	16.7 30代	16.6	35.4 20代	21.6 70代	13.8
ソ 雨水の使用*	9.6	7.8	11.1	3.3	11.0 50代	3.1 30代	7.9	18.0 70代	4.2 20代	13.8	56.0	56.6	55.8	0.8	64.3 20代	52.0 50代	12.3	65.0 30代	41.8 70代	23.2
タ 過剰包装の商品を買わない	38.9	33.6	43.1	9.5	41.4 70代	29.6 30代	11.8	50.7 60代	26.2 80以上	24.5	36.3	38.8	34.4	4.4	42.9 50代	32.6 70代	10.3	45.1 20代	23.2 70代	21.9
チ マイバッグの持参*	53.9	46.7	60.0	13.3	65.2 80以上	39.5 30代	25.7	63.2 40代	49.2 80以上	14.0	33.4	36.2	31.2	5.0	40.7 40代	22.7 80以上	18.0	41.0 20代	24.6 80以上	16.4
ツ 衣服・家具・家電の修理*	50.2	50.0	50.0	0.0	69.7 80以上	35.7 20代	34.0	60.3 70代	43.1 40代	17.2	28.8	29.0	29.0	0.0	45.9 20代	22.7 70・80以上	23.2	33.6 50代	20.9 60代	12.7
テ 容器の中身を詰め替え*	64.7	56.2	72.0	15.8	66.4 40代	50.0 80以上	16.4	82.7 30代	59.3 70代	23.4	21.0	25.4	17.1	8.3	34.7 20代	18.1 40代	16.6	21.7 50代	13.8 80以上	7.9
ト チラシ・包装紙の再使用*	51.9	49.5	54.1	4.6	58.6 70代	42.0 30代	16.6	67.0 70代	42.8 50代	24.2	27.0	27.0	26.8	0.2	31.8 80以上	22.6 40代	9.2	33.9 50代	14.4 70代	19.5
ナ 紙類を分別し業者へ出す*	80.5	80.0	81.5	1.5	90.6 70代	66.3 20代	24.3	88.8 50代	70.8 20代	18.0	11.0	11.1	10.9	0.2	18.4 20代	5.5 70代	12.9	18.1 20代	6.6 50代	11.5
ニ 生ごみ処理機の使用*	6.6	6.5	6.9	0.4	11.6 70代	1.3 40代	10.3	13.8 80以上	2.6 40代	11.2	56.8	57.0	56.8	0.2	64.2 40代	50.0 80以上	14.2	67.8 30代	30.8 80以上	37.0

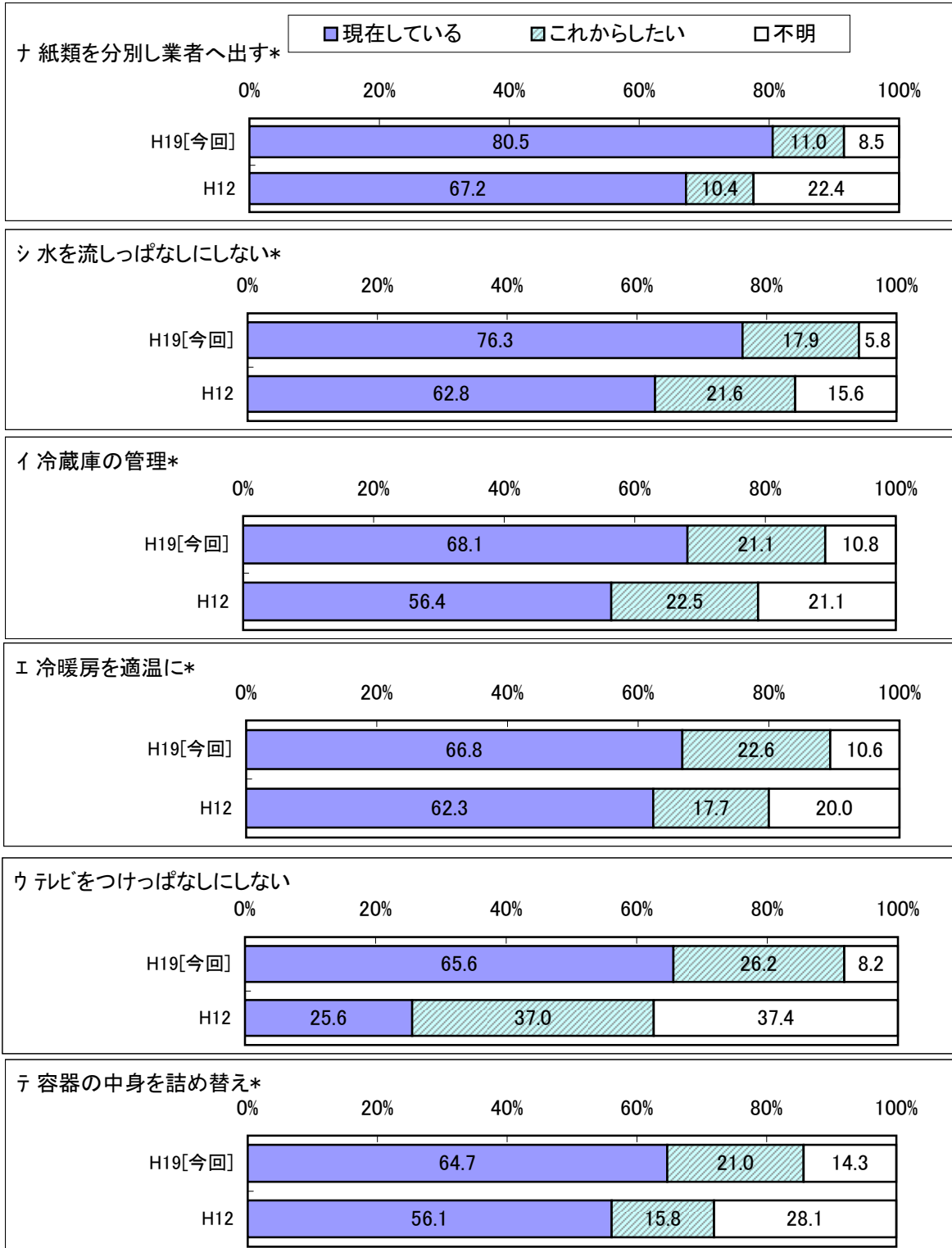
(％・ポイント差)

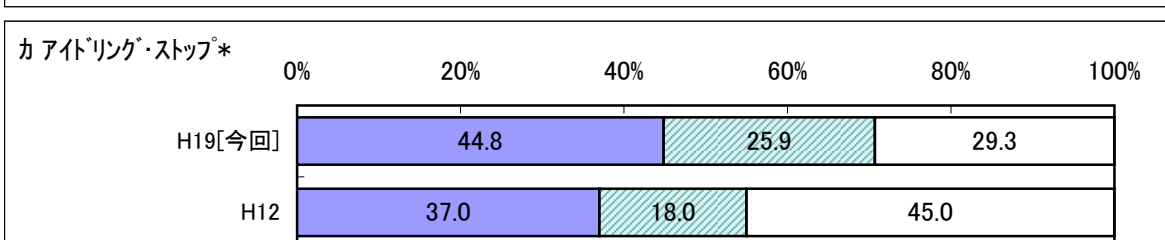
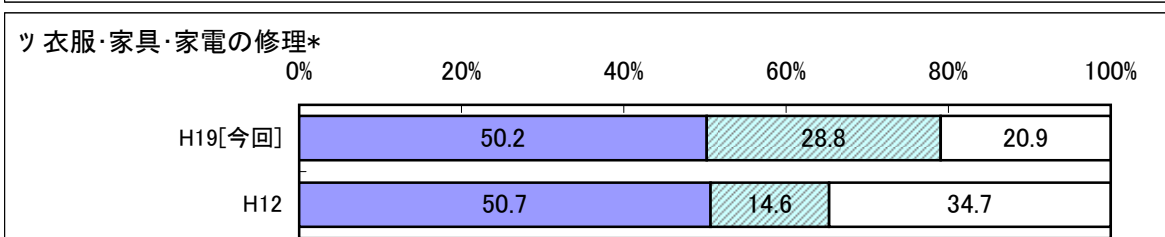
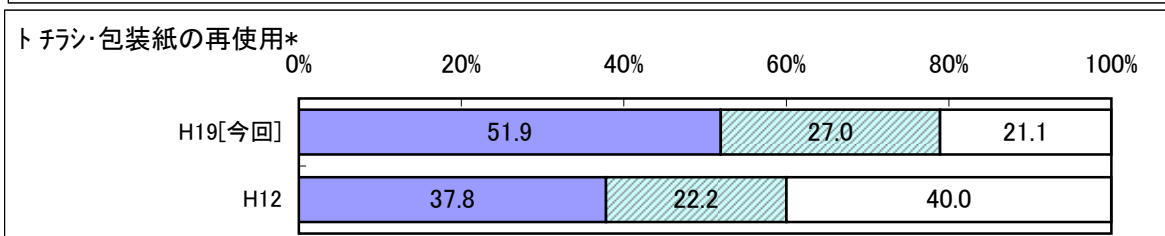
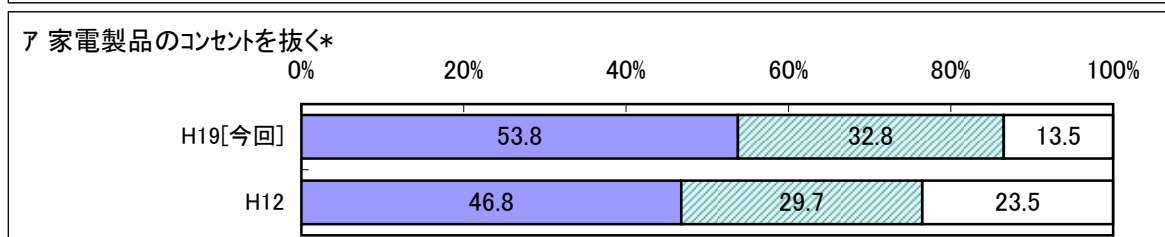
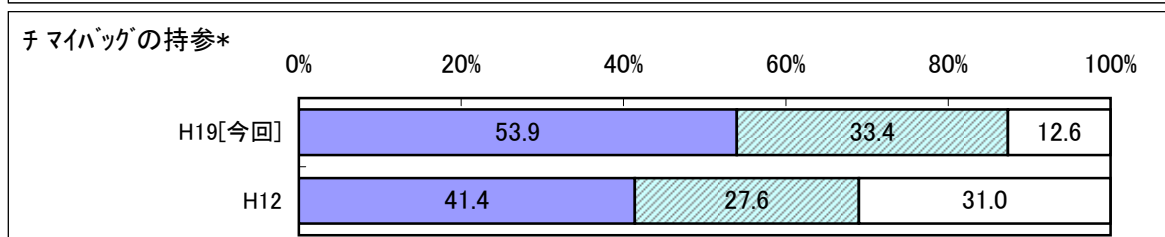
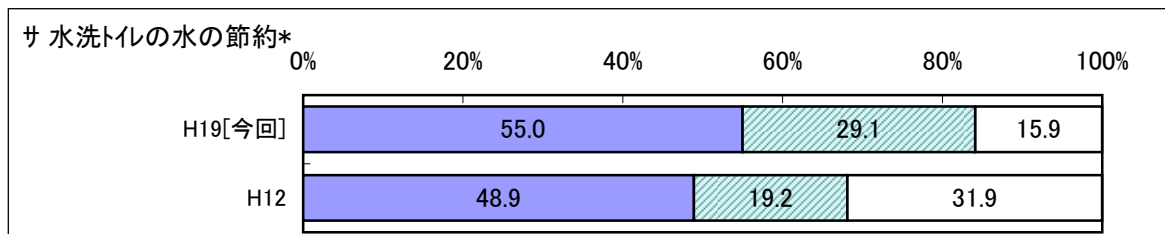
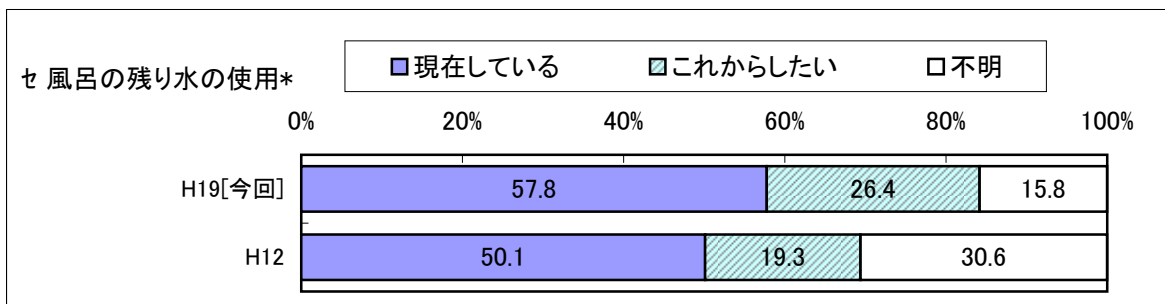
設問項目	A+B している+したい(性・年代別)				↓男・年代別			↓女・年代別		
	全県	男	女	性差	最大	最少	年代差	最大	最少	年代差
ア 家電製品のコン セントを抜く*	86.6	83.1	89.3	6.2	90.9 80以上	80.7 20代	10.2	94.4 20代	80.9 70代	13.5
イ 冷蔵庫の管理 *	89.2	86.5	92.0	5.5	90.8 20代	83.4 70代	7.4	95.7 50代	84.5 70代	11.2
ウ テレビをつけつ ぱなしにしない	91.8	91.0	92.7	1.7	97.0 80以上	85.4 40代	11.6	96.6 20代	84.0 70代	12.6
エ 冷暖房を適温 に*	89.4	87.6	91.2	3.6	90.1 30-70代	84.0 40代	6.1	94.4 30代	81.5 80以上	12.9
オ 自家用車の利 用を控える*	78.7	77.3	79.9	2.6	82.3 60代	72.5 50代	9.8	84.0 20代	66.1 80以上	17.9
カ アイドリング・ストップ *	70.7	71.6	70.7	0.9	79.0 60代	34.8 80以上	44.2	82.9 50代	41.3 70代	41.6
キ 低公害車の利 用*	69.3	70.4	69.0	1.4	75.9 30代	36.4 80以上	39.5	77.7 40代	40.2 70代	37.5
ク 省エネ家電の使 用*	85.7	83.8	87.4	3.6	87.6 30代	74.2 80以上	13.4	93.3 30代	74.7 70代	18.6
ケ 住宅の保温・断 熱化*	78.8	76.9	80.5	3.6	80.3 80以上	72.2 30代	8.1	86.2 30代	70.8 80以上	15.4
コ 太陽エネルギーの 利用*	69.4	70.0	69.3	0.7	72.5 20代	69.0 40代	3.5	78.1 30代	50.8 80以上	27.3
サ 水洗トイレの水 の節約*	84.1	84.3	84.1	0.2	91.1 70代	78.4 30代	12.7	86.8 20代	73.8 80以上	13.0
シ 水を流しっぱなし にしない*	94.2	93.4	95.1	1.7	98.5 80以上	90.8 30代	7.7	97.9 20-30代	87.1 70代	10.8
ス 節水コマなど水 量の調整*	70.7	69.3	71.8	2.5	73.5 70代	63.0 30代	10.5	77.7 30代	61.5 80以上	16.2
セ 風呂の残り水 の使用*	84.2	81.6	86.4	4.8	83.7 20代	74.2 80以上	9.5	91.8 30代	70.8 80以上	21.0
ソ 雨水の使用*	65.6	64.4	66.9	2.5	71.4 20代	59.3 30代	12.1	72.6 60代	59.8 70代	12.8
タ 過剰包装の商 品を買わない	75.2	72.4	77.5	5.1	75.8 80以上	67.3 30代	8.5	82.1 60代	63.1 80以上	19.0
チ マイバッグの持参 *	87.3	82.9	91.2	8.3	87.9 80以上	80.2 30代	7.7	94.1 50代	73.8 80以上	20.3
ツ 衣服・家具・家 電の修理*	79.0	79.0	79.0	0.0	92.4 80以上	69.1 30代	23.3	81.9 70代	75.4 80以上	6.5
テ 容器の中身を 詰め替え*	85.7	81.6	89.1	7.5	91.8 20代	75.7 70代	16.1	96.8 30代	75.3 80以上	21.5
ト チラシ・包装紙の 再使用*	78.9	76.5	80.9	4.4	86.2 70代	71.4 50代	14.8	86.2 20代	67.7 80以上	18.5
ナ 紙類を分別し 業者へ出す*	91.5	91.1	92.4	1.3	96.1 70代	84.7 20代	11.4	95.6 60代	88.1 40代	7.5
ニ 生ごみ処理機 の使用*	63.4	63.5	63.7	0.2	66.8 70代	59.1 80以上	7.7	73.1 30代	44.6 80以上	28.5

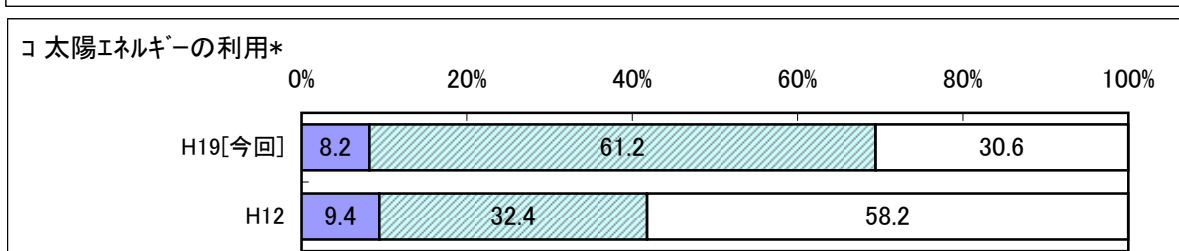
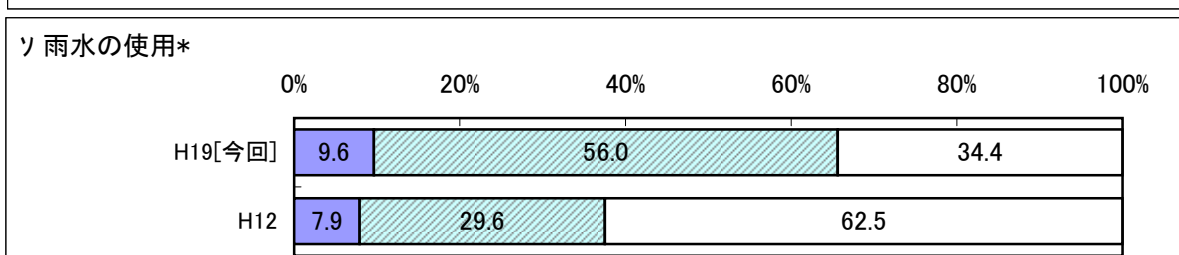
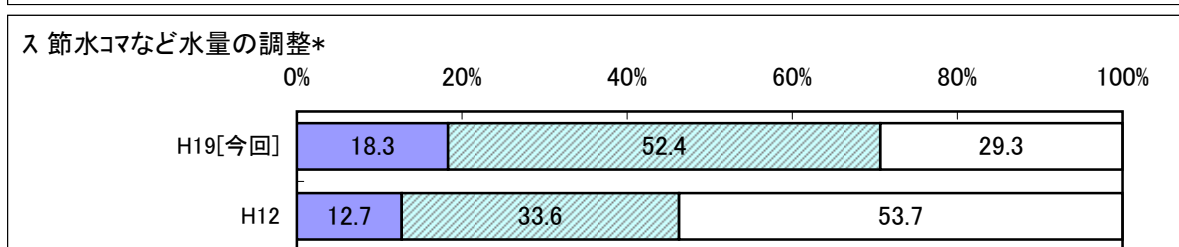
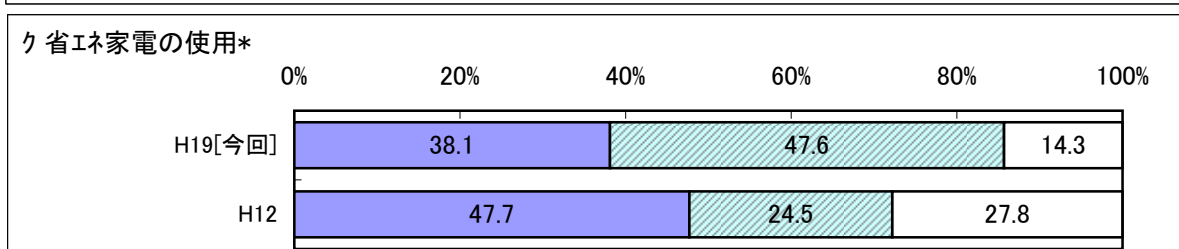
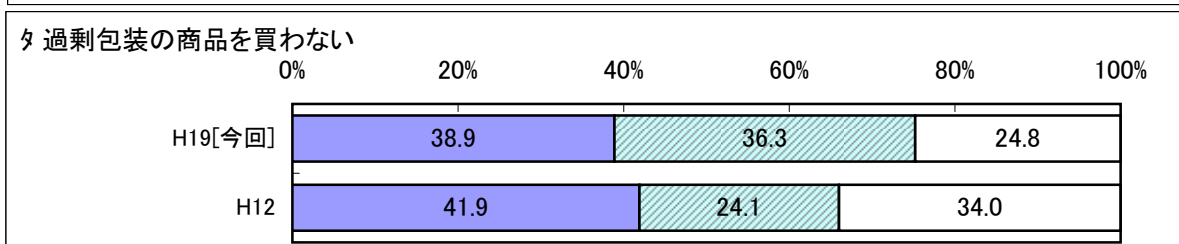
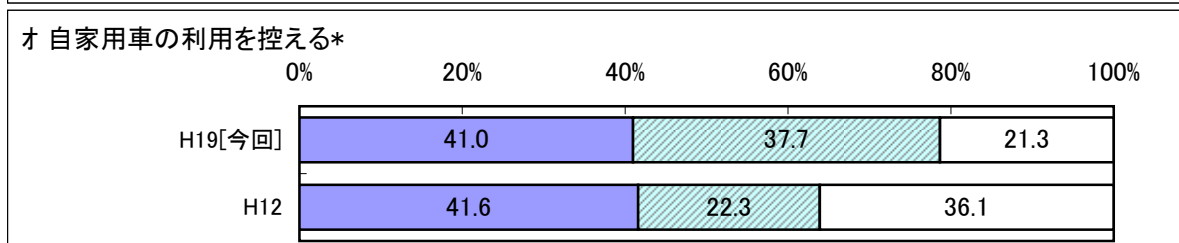
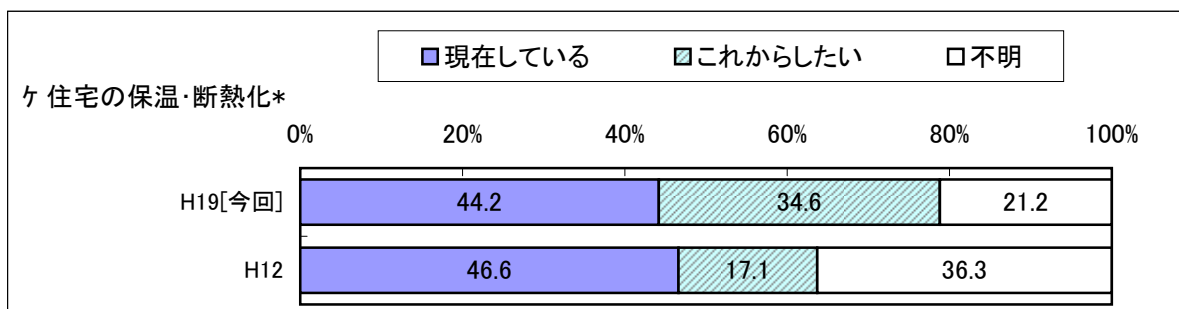
【参考：平成12年実施の類似調査との比較】

- 今回調査と選択肢の内容や数が異なる部分があるが、参考までに選択肢の内容が同一又は類似するものについて、平成12年に本県が別途、実施した環境に関する意識調査での結果と比較した。
 ※今回調査結果で「現在している」の比率が多い項目順に表示。なお、今回の調査項目「キ 低公害車を利用する」と「ニ 生ごみ処理機を使用する」は、前回調査での比較できる項目がないため表示していない。

◆ 経年比較







4.地域での取組状況について

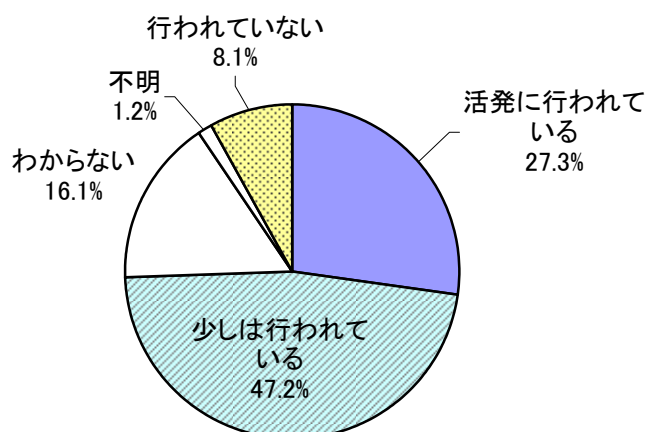
(1)居住地域における地域活動の状況

問6 あなたがお住まいの地域では、自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動が活発に行われていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 活発に行われている
- 2 少しは行われている
- 3 行われていない
- 4 わからない

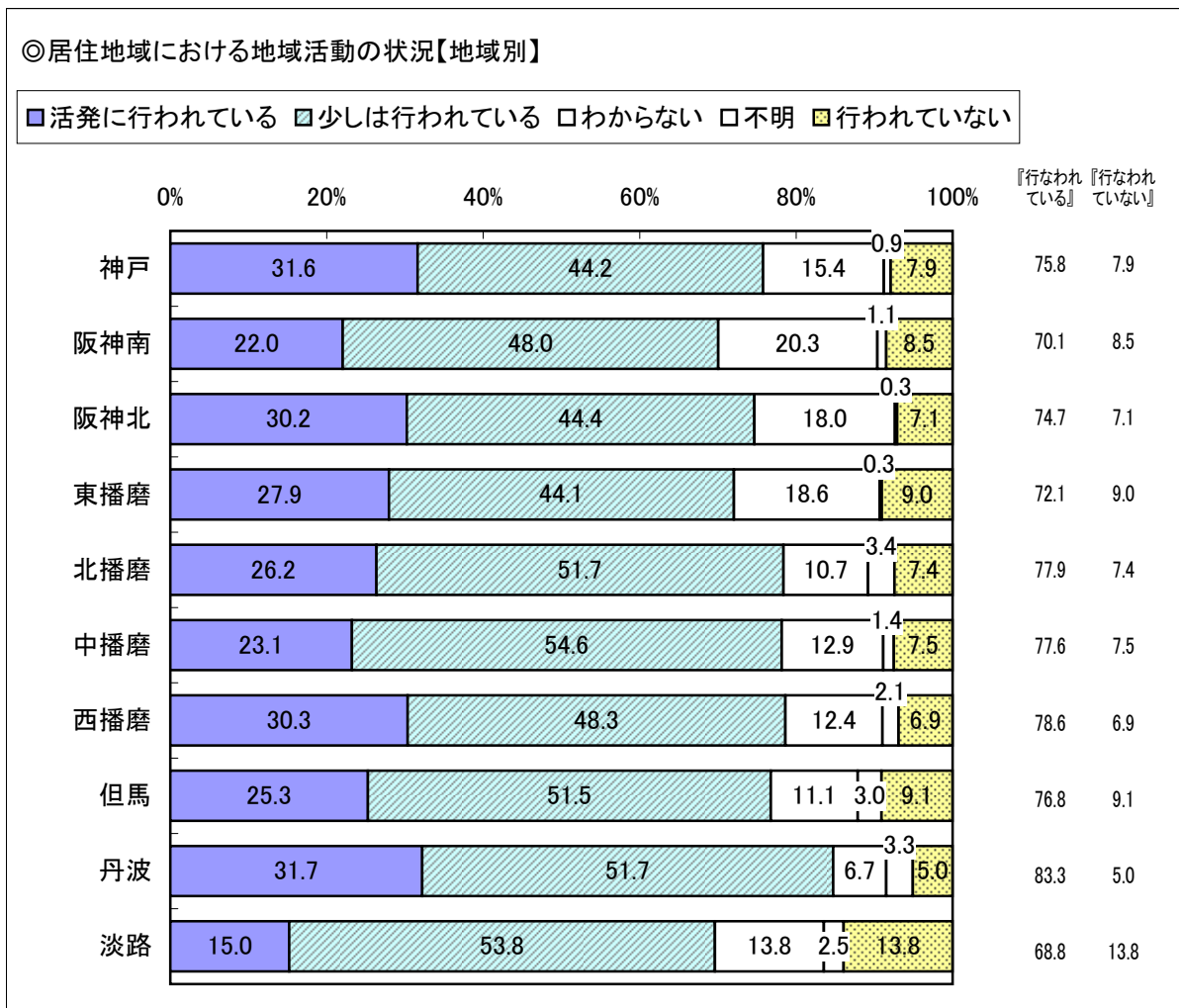
○ 住んでいる地域の地域活動の状況では、「活発に行なわれている」(27.3%)が3割弱、「少しは行なわれている」(47.2%)が5割弱となっており、両者を合わせた『行われている』(74.5%)は約4分の3になる。一方、「行われていない」(8.1%)は1割に満たないが、「わからない」(16.1%)が1割を超えている。

◎居住地域における地域活動の状況



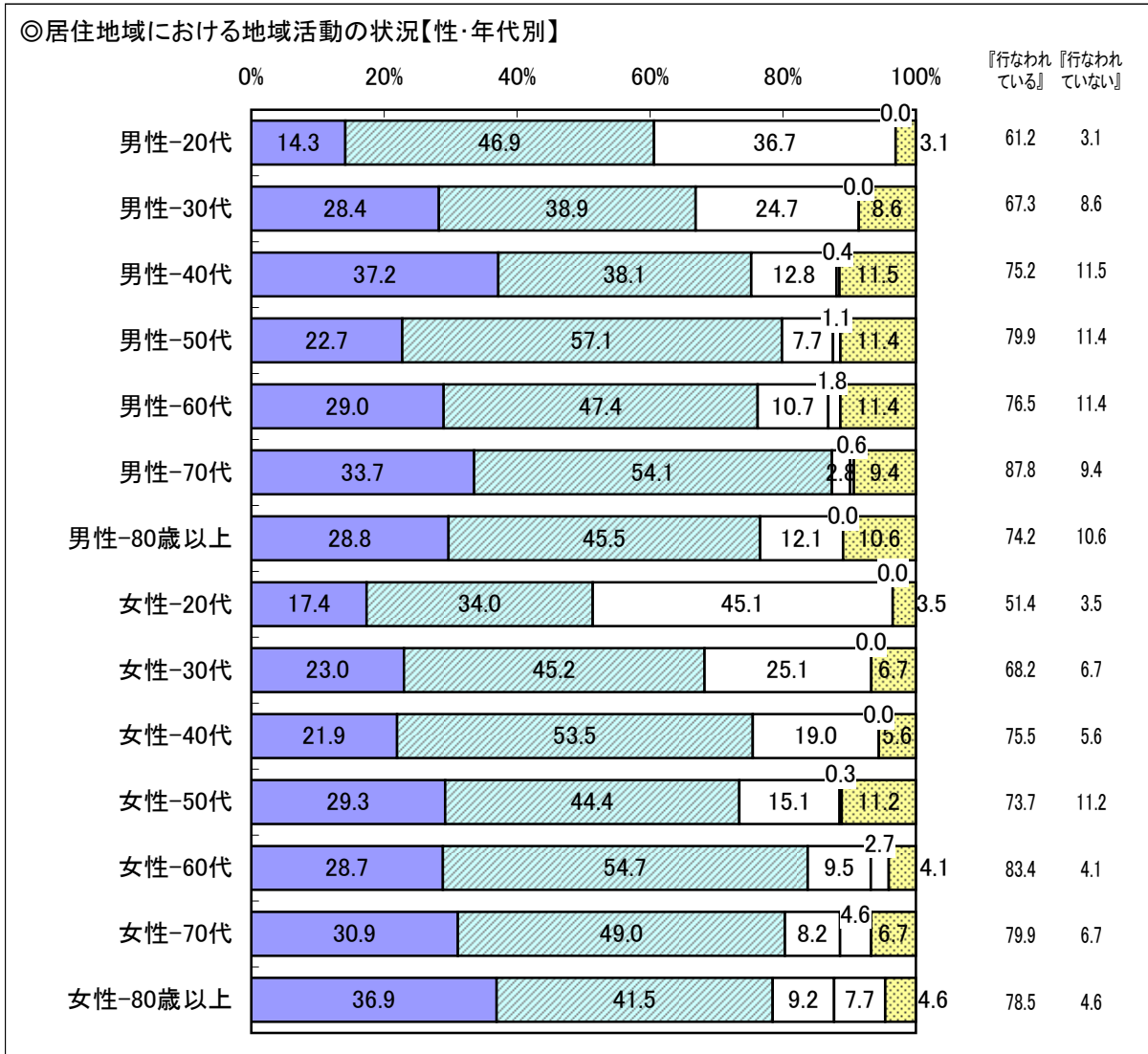
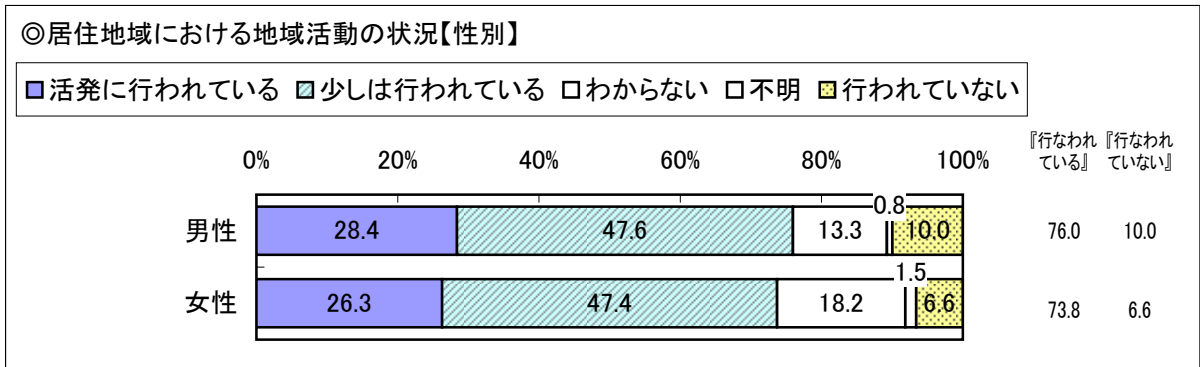
◆地域別

- 「活発に行なわれている」は、丹波(31.7%)、神戸(31.6%)、西播磨(30.3%)、阪神北(30.2%)の4地域で3割を超え、他の6地域では、淡路(15.0%)除き2割台である。
- 「少しは行われている」は、中播磨(54.6%)で最も多く、東播磨(44.1%)で最も少ない。
- 両者を足し合わせた『行われている』は、丹波(83.3%)では8割を超え、他の地域では淡路(68.8%)を除き7割台である。
- このほか、「行われていない」は、淡路(13.8%)で他の地域(1割未満)よりやや多い。また、「わからない」は、最も多い阪神南(20.3%)をはじめ他の地域では1～2割であるが、丹波(6.7%)では1割を下回っている。



◆性別／性・年代別

- 性別では、あまり差がみられず、女性で「わからない」(男 13.3%、女 18.2%)がやや多い程度である。
- 性・年代別で見ると、男女とも年代層が上がるにつれて『行なわれている』が多くなる傾向があり、男性では70代(87.8%)、女性では60代(83.4%)が最も多くなっている。
- 男女とも若い年代層で「わからない」が多くなる傾向があり、男女とも40代以上は1割台に収まっているが、30代(男 24.7%、女 25.1%)で2割台半ばとなり、男性の20代(36.7%)では3割台半ば、女性の20代(45.1%)では4割台半ばまで増加している。



(2) 環境をよくする活動への参加状況

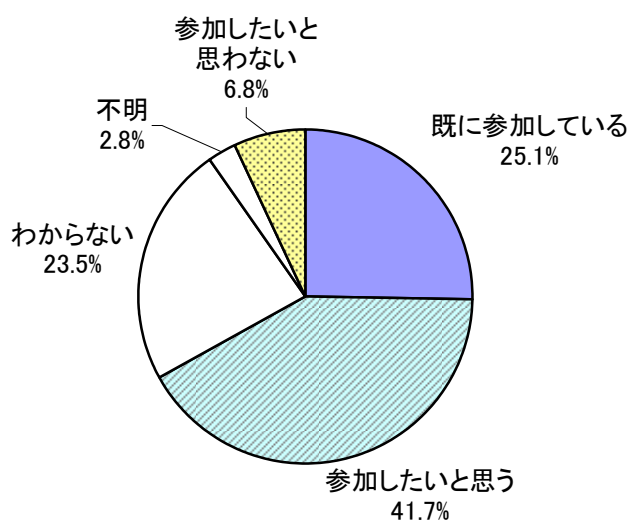
問7 リサイクルや河川の清掃、緑化、自然保護など、環境をよりよくするための活動について、あなたはどのようにされていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 既に参加している
- 2 参加したいと思う
- 3 参加したいと思わない
- 4 わからない

○ 環境をよりよくする活動への参加状況では、4人に1人が「既に参加している」(25.1%)としており、これに「参加したいと思う」(41.7%)を合わせると3分の2になる。

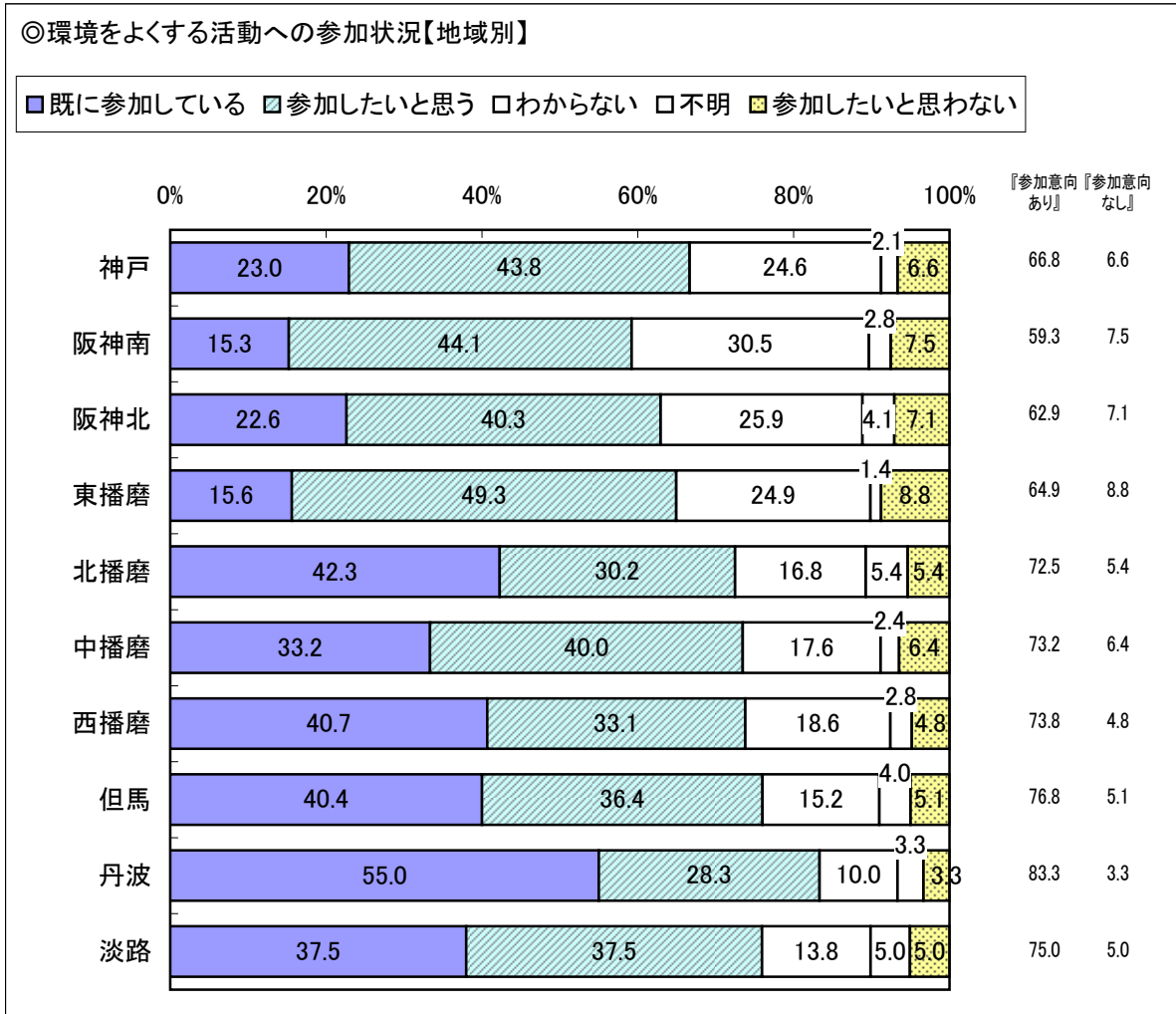
○ 一方、「参加したいと思わない」(6.8%)は1割に満たないが、「わからない」(23.5%)とする人は4分の1近くいる。

◎環境をよくする活動への参加状況



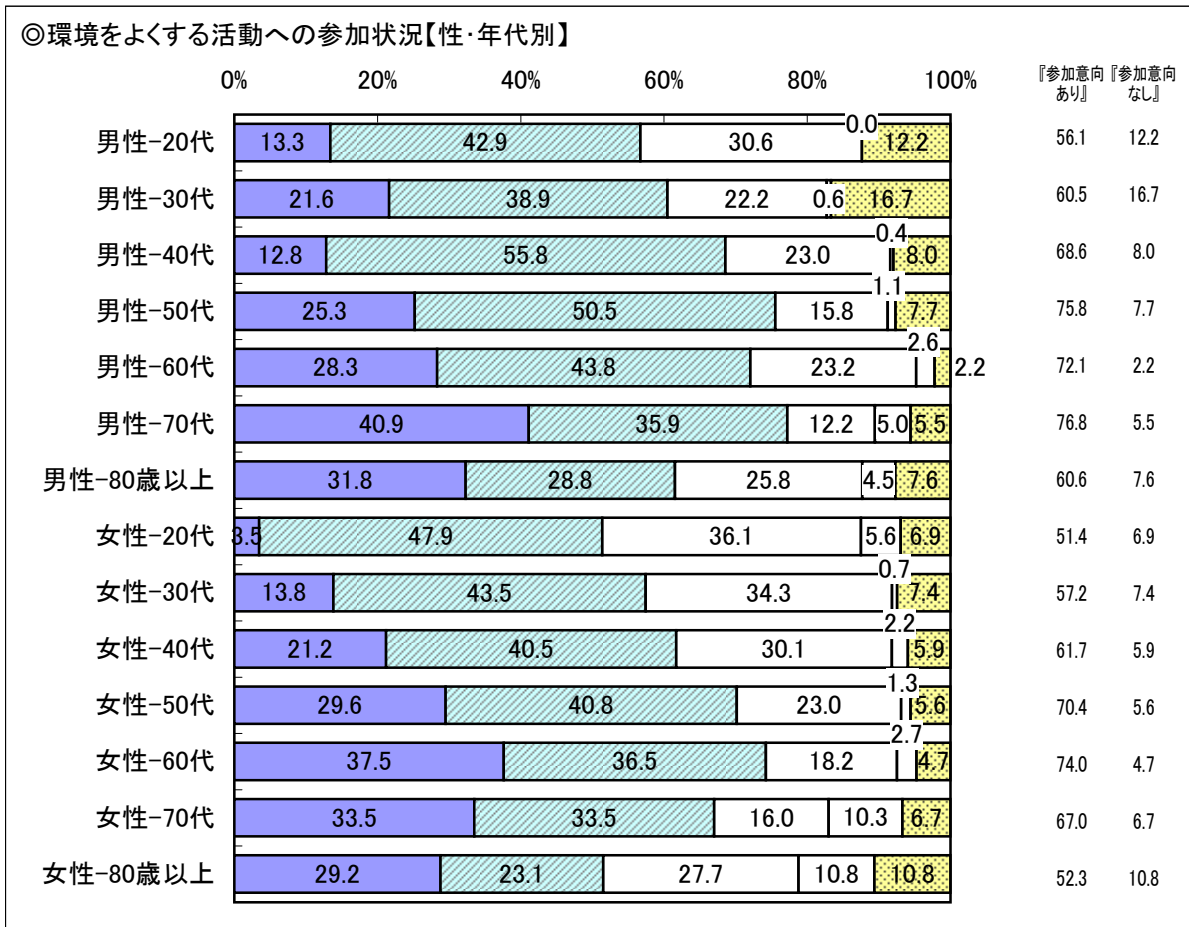
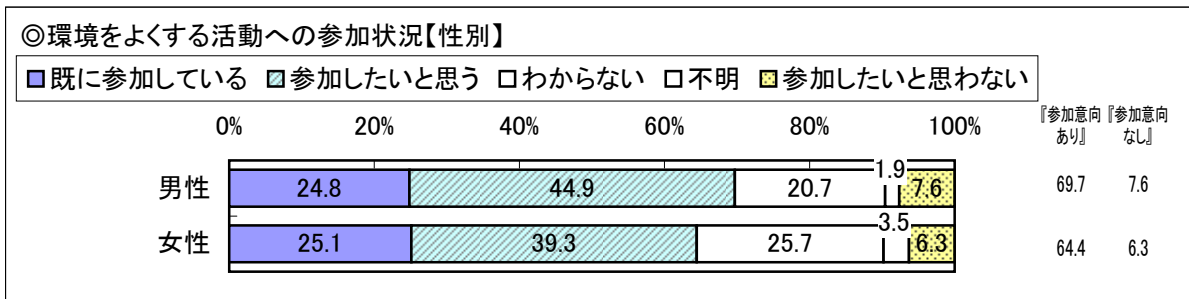
◆地域別

- 「既に参加している」は、丹波(55.0%)で5割台半ばと最も多く、北播磨(42.3%)、西播磨(40.7%)、但馬(40.4%)が4割台であるが、神戸(23.0%)、阪神北(22.6%)では2割台前半に、東播磨(15.6%)、阪神南(15.3%)では1割台半ばまで減少しており、都市部で少なくなる傾向にある。
- 「参加したいと思う」は、東播磨(49.3%)で最も多く、丹波(28.3%)で最も少ない。
- 両者を足し合わせると、丹波(83.3%)では8割を超え、但馬(76.8%)、淡路(75.0%)など5地域が7割台で続き、阪神南(59.3%)を含め阪神間から東播磨にかけての4地域が概ね6割台となっている。この4地域では「わからない」(24.6%~30.5%)との回答が他地域(10.0%~18.6%)に比べてやや多い。



◆性別／性・年代別

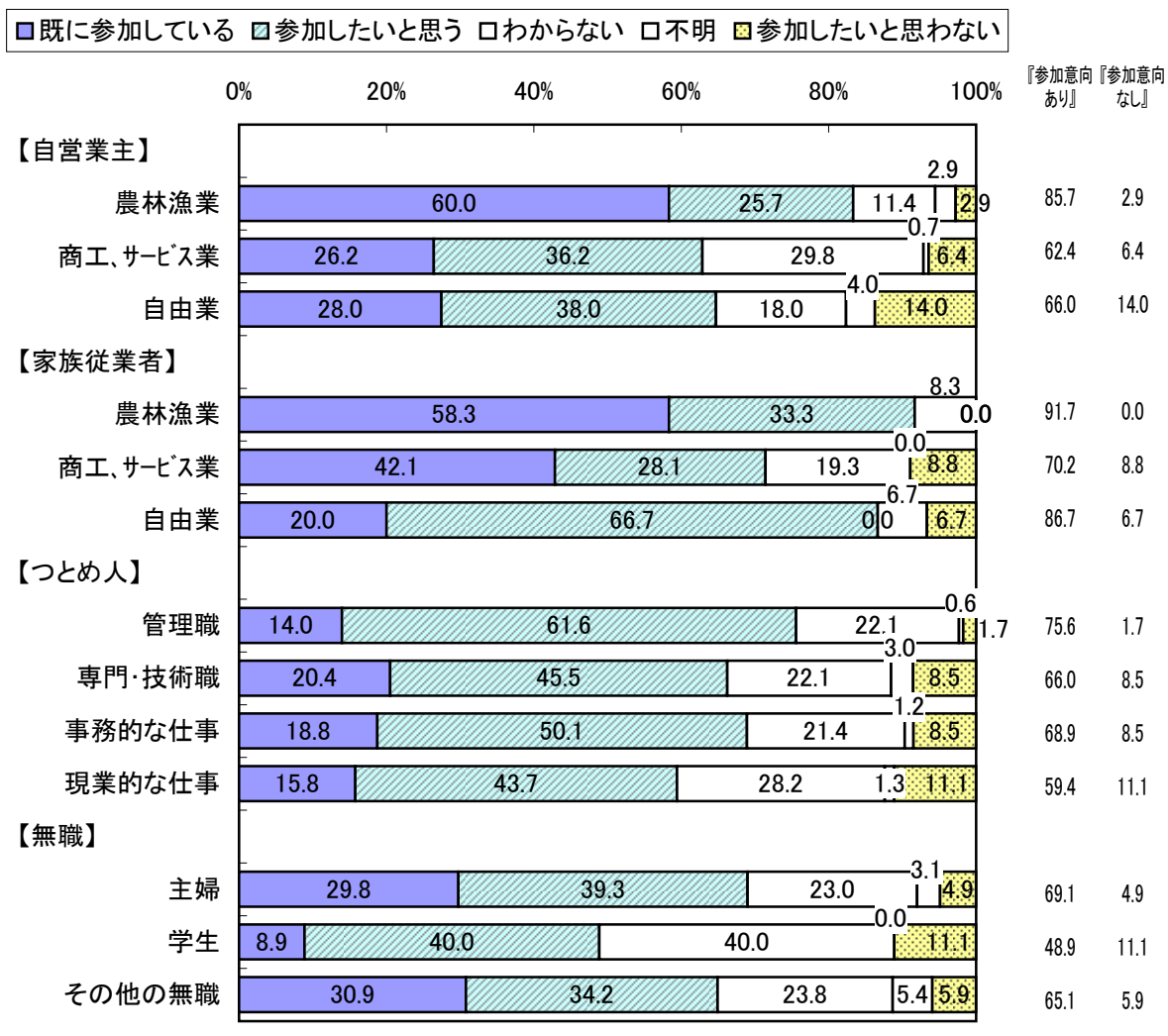
- 性別では、あまり差がみられず、男性で「参加したいと思う」(男 44.9%、女 39.3%)がやや多い程度である。
- 性・年代別でみると、「既に参加している」は、男性では70代(40.9%)をピークに、女性では60代(37.5%)をピークに、概ね年代層が上がるにつれて多くなる傾向を示しているが、男性では40代(12.8%)及び20代(13.3%)で、女性では20代(3.5%)及び30代(13.8%)で1割台もしくはこれを下回っている。
- 「既に参加している」と「参加したいと思う」を足し合わせてみると、概ね男女とも年代が上がるにつれて多くなる傾向にあり、男女とも20代(男 56.1%、女 51.4%)で最も少なく、男性では70代(76.8%)、女性では60代(74.0%)でともに7割台半ばと最も多くなっている。ただし、男女とも80歳以上(男 60.6%、女 52.3%)では少なくなっている。
- 「参加したいと思わない」は、男性の20代(12.2%)と30代(16.7%)、女性の80歳以上(10.8%)では1割を超えている。また、「わからない」は、概ねどの年代も1～2割台であるが、男性の20代及び女性の20代～40代で3割を超えている。



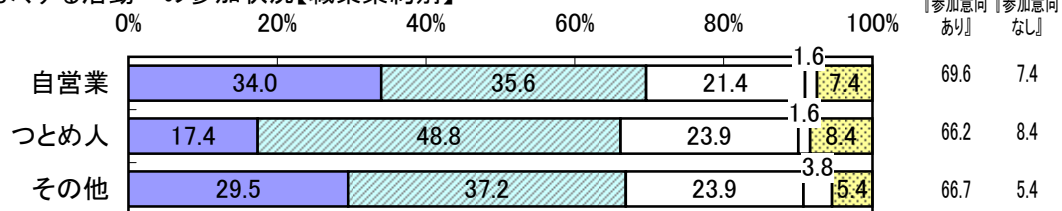
◆職業別

- 職業別でみると、「既に参加している」は、「農林漁業」従事者(【自営業主】60.0%、【家族従業者】58.3%)で約6割と多く、「商工・サービス業【家族従業者】」(42.1%)が4割台で続いている。
- 「既に参加している」と「参加したいと思う」を足し合わせると、【家族従業者】の「農林漁業」(91.7%)で最も多く、【家族従業者】の「自由業」(86.7%)、【自営業主】の「農林漁業」(85.7%)の順で続いている。一方、最も少ないのは【その他】の「学生」(48.9%)で、次いで【つとめ人】の「現業的な仕事」(59.4%)となっている。
- 職業別を『自営業(自営業主と家族従業者)』、『つとめ人』、『その他(主婦、学生、その他の無職)』の3タイプに集約すると、「既に参加している」は『自営業』(34.0%)と『その他』(29.5%)で3割前後となるが、『つとめ人』(17.4%)では2割に満たない。しかし、「参加したいと思う」を足し合わせると、いずれも6割台後半(66.2~69.6%)となり、さほど差は生じていない。

◎環境をよくする活動への参加状況【職業別】



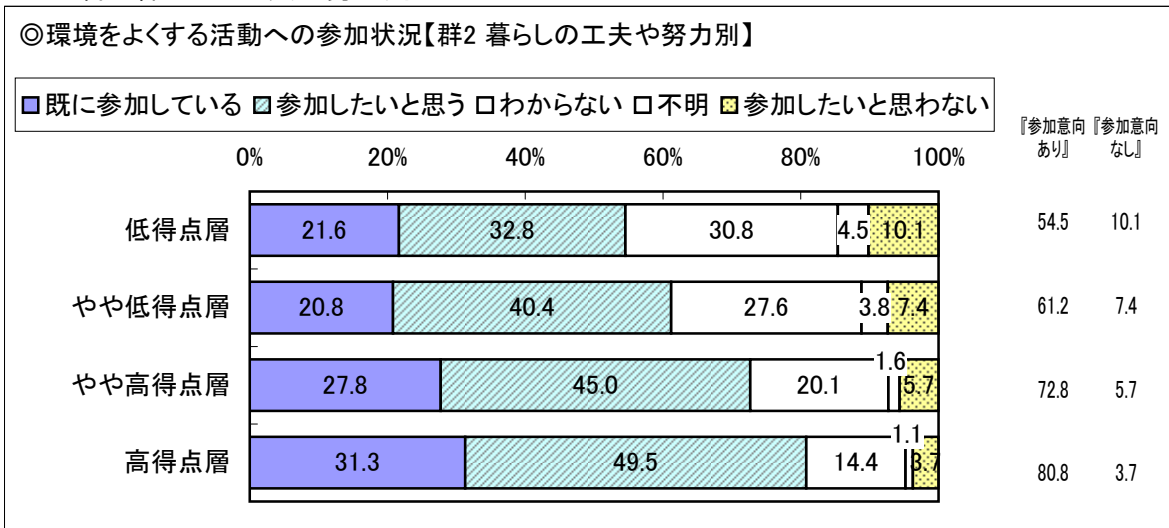
◎環境をよくする活動への参加状況【職業集約別】



【参考：暮らしの中での環境に配慮した工夫や努力の実施状況別での比較】

- 問5〈暮らしの中での環境に配慮した工夫や努力〉の実施状況別に、問7〈環境をよくする活動への参加状況〉を比較するため、問5のア～ニの22項目それぞれについて、「現在している」2点、「これからしたい」1点、「該当なし」0点と便宜的に得点化し、合計得点が0点～23点を『低得点層』、24点～30点を『やや低得点層』、31点～34点を『やや高得点層』、35点～44点を『高得点層』と、全体の分布が4等分になるよう区分し、問7での参加状況を比較した。
- 得点の高い層ほど「既に参加している」や「参加したいと思う」がともに多くなり、両者を足し合わせた『参加意向あり』は、『低得点層』(54.5%)では5割台半ばであるが、『高得点層』(80.8%)では8割を超え、26.3ポイントの差が生じている。

◆群2 暮らしの工夫や努力別



【参考：平成7年及び12年実施の類似調査との比較】

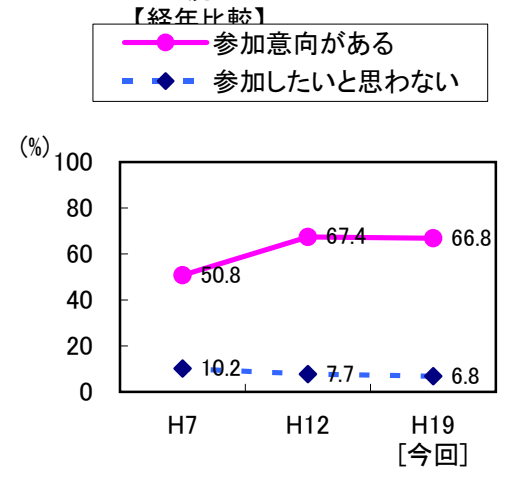
- 今回調査と設問文の内容が異なる部分があるが、参考までに平成7年及び平成12年に本県が別途、実施した環境に関する意識調査での結果と比較した。

◆経年比較

◎環境をよくする活動への参加状況【経年比較】 (%)

	H7	H12	H19 [今回]
参加意向がある	50.8	67.4	66.8
既に参加している	10.0	29.5	25.1
参加したいと思う	40.8	37.9	41.7
参加したいと思わない	10.2	7.7	6.8
わからない	34.3	22.2	23.5
不明	4.8	2.7	2.8

◎環境をよくする活動への参加状況【経年比較】

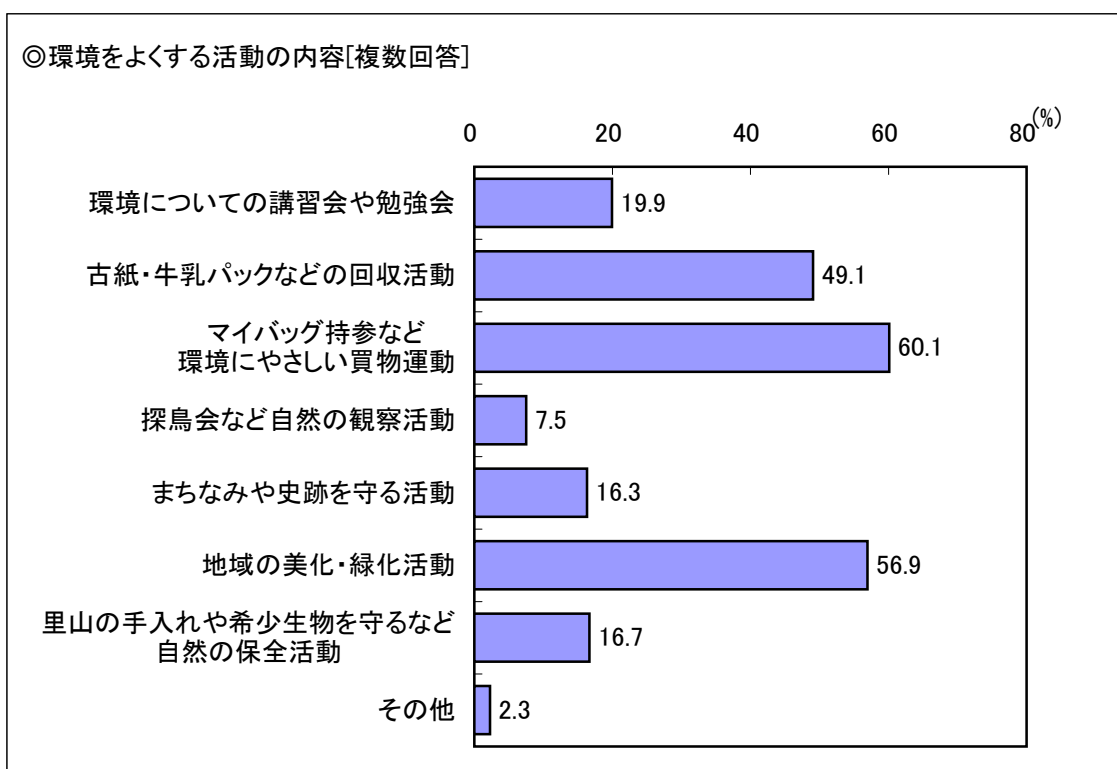


(3)環境をよくする活動の内容

問7-2【問7で1又は2を選択された方にお聞きします】
 参加している、または参加したい活動はどのようなものですか。いくつでも選んで番号に○をつけてください。

- 1 環境についての講習会や勉強会
- 2 古紙・牛乳パックなどの回収活動
- 3 マイバッグ持参など環境にやさしい買物運動
- 4 探鳥会など自然の観察活動
- 5 まちなみや史跡を守る活動
- 6 地域の美化・緑化活動
- 7 里山の手入れや希少生物を守るなど自然の保全活動
- 8 その他

○「既に参加している」又は「参加したいと思う」活動の内容では、「マイバッグ持参など環境にやさしい買物運動」(60.1%)、「地域の美化・緑化活動」(56.9%)、「古紙・牛乳パックなどの回収活動」(49.1%)の3項目が上位で、他の4項目(7.5%~19.9%)は2割を下回っている。



◆地域別

- 「マイバッグ持参など環境にやさしい買物運動」は、最も多い阪神南(68.5%)など4地域で6割台、他の地域も概ね5割台であるが、中播磨(46.3%)では4割台となっており、地域間で22.2ポイントの差が生じている。また、「地域の美化・緑化活動」は、丹波(71.4%)で7割台、東播磨(61.4%)で6割台に及ぶ一方、淡路(47.5%)では4割台と少なく、地域間で23.9ポイントの差が生じている。このほか、「古紙・牛乳パックなどの回収活動」(西播磨 56.1%、阪神南 40.8%)や「まちなみや史跡を守る運動」(東播磨 22.5%、西播磨 8.4%)でも地域間で10ポイントを超える差が生じている。

◎環境をよくする活動の内容[複数回答][地域別]

(%)

	全体 【規正】	環境について の講習会や 勉強会	古紙・牛 乳パック などの回 収活動	マイバッ グ持参 など環 境にやさ しい買 物運動	探鳥会 など自 然の観 察活動	まちなみ や史跡 を守る 活動	地域の 美化・緑 化活動	里山の 手入れ や希少 生物を 守るなど 自然の 保全 活動	その他	不明
全県	1930	19.9	49.1	60.1	7.5	16.3	56.9	16.7	2.3	1.4
神戸	531	18.8	52.5	63.8	8.1	15.1	53.1	15.6	2.4	1.3
阪神南	314	22.3	40.8	68.5	7.3	18.2	57.6	18.2	1.9	0.0
阪神北	231	22.1	45.9	61.9	9.5	19.5	57.6	17.3	1.7	0.9
東播磨	236	20.8	55.5	56.8	9.3	22.5	61.4	17.8	1.3	1.3
北播磨	108	22.2	51.9	57.4	5.6	13.9	56.5	15.7	2.8	2.8
中播磨	216	16.7	41.7	46.3	7.4	15.3	58.8	15.7	3.2	2.8
西播磨	107	15.0	56.1	53.3	4.7	8.4	58.9	18.7	1.9	1.9
但馬	76	23.7	50.0	61.8	3.9	14.5	56.6	18.4	2.6	2.6
丹波	49	20.4	55.1	59.2	4.1	12.2	71.4	18.4	2.0	2.0
淡路	61	18.0	54.1	57.4	3.3	9.8	47.5	9.8	3.3	1.6

◆性別／性・年代別

- 性別では、7項目中5項目で男性が女性を上回るが、このうち男女の差が大きい「地域の美化・緑化活動」(男 62.3%、女 52.9%)でも10ポイント程度の差である。一方、女性は2項目で男性を上回り、「マイバッグ持参など環境にやさしい買物運動」(男 47.5%、女 71.6%)では24.1ポイント、「古紙・牛乳パックなどの回収活動」(男 41.8%、女 55.7%)では13.9ポイントの差が生じている。
- 性・年代別で見ると、男性では、「古紙・牛乳パックなどの回収活動」が3～4割台の年代が多いなか、80歳以上(70.7%)で7割を超える一方、30代(27.8%)では3割に及ばず、年代間で40ポイント以上の差が生じている。また、「マイバッグ持参など環境にやさしい買物運動」が、80歳以上(65.9%)で6割台半ばであるが、20代(35.7%)では3割台半ばにとどまり、年代間で30ポイント以上の差が生じている。
- 一方、女性では、いずれの項目も80歳以上で少なくなる傾向があり、「地域の美化・緑化活動」は80歳以上(33.3%)のみ3割台にとどまり、最も多い60代(62.7%)とは30ポイント近い差がある。また、「マイバッグ持参など環境にやさしい買物運動」でも80歳以上(54.5%)のみ5割台で、最も多い40代(75.3%)とは20.8ポイントの差が生じている。

◎環境をよくする活動の内容[複数回答]【性別／性・年代別】 (%)

	全体 【規正】	環境に ついて の講習 会や 勉強会	古紙・牛 乳パック などの回 収活動	マイバッ グ持参 など環 境にやさ しい買 物運動	探鳥会 など自 然の観 察活動	まちなみ や史跡 を守る 活動	地域の 美化・緑 化活動	里山の 手入れ や希少 生物を 守るなど 自然の 保全活 動	その他	不明
全県	1930	19.9	49.1	60.1	7.5	16.3	56.9	16.7	2.3	1.4
男性	895	20.6	41.8	47.5	8.4	20.0	62.3	21.2	3.6	1.3
女性	1006	19.8	55.7	71.6	6.8	12.9	52.9	12.5	1.1	1.4
男性-20代	56	17.9	37.5	35.7	8.9	23.2	62.5	23.2	5.4	0.0
男性-30代	97	15.5	27.8	40.2	7.2	22.7	67.0	24.7	7.2	0.0
男性-40代	156	23.7	40.4	47.4	7.7	25.6	62.8	17.9	5.8	1.3
男性-50代	207	20.8	43.0	50.2	15.5	23.7	61.4	27.5	2.9	1.0
男性-60代	196	18.4	34.7	42.3	5.6	13.8	63.8	27.6	1.5	1.0
男性-70代	139	26.6	54.0	54.7	3.6	15.1	59.0	10.1	2.9	3.6
男性-80歳以上	41	9.8	70.7	65.9	9.8	17.1	53.7	2.4	0.0	0.0
女性-20代	74	13.5	54.1	71.6	12.2	25.7	52.7	21.6	1.4	0.0
女性-30代	162	20.4	47.5	74.1	6.2	14.2	52.5	16.7	1.2	0.6
女性-40代	166	19.3	59.6	75.3	3.0	4.8	42.2	10.8	0.6	0.6
女性-50代	214	16.8	57.9	73.8	6.1	10.7	51.4	12.6	0.5	0.5
女性-60代	220	24.1	52.3	67.7	6.8	15.5	62.7	10.9	0.9	0.9
女性-70代	131	24.4	64.9	69.5	11.5	16.8	57.3	7.6	3.1	2.3
女性-80歳以上	33	9.1	51.5	54.5	6.1	3.0	33.3	9.1	0.0	15.2

【参考：環境をよくする活動への参加状況別での比較】

- 問7での環境をよくする活動に「既に参加している」又は「参加したいと思う」の別に、問7-2（環境をよくする活動の内容）を比較した。
- 「既に参加している」人では、「古紙・牛乳パックなどの回収活動」(62.1%)が6割強で挙げられているが、「参加したいと思う」人では4割強(41.2%)にとどまり、20ポイント以上の差が生じている。
- 逆に、「参加したいと思う」人では、「まちなみや史跡を守る運動」(21.8%)や「里山の手入れや希少生物を守るなど自然の保全活動」(20.7%)が2割強で挙げられており、「既に参加している」人(前者7.3%、後者10.1%)を10ポイント以上上回っている。

◎環境をよくする活動の内容[複数回答]【環境をよくする活動への参加状況別】 (%)

	全体 【規正】	環境に ついて の講習 会や 勉強会	古紙・牛 乳パック などの回 収活動	マイバッ グ持参 など環 境にやさ しい買 物運動	探鳥会 など自 然の観 察活動	まちなみ や史跡 を守る 活動	地域の 美化・緑 化活動	里山の 手入れ や希少 生物を 守るなど 自然の 保全 活動	その他	不明
全県	1930	19.9	49.1	60.1	7.5	16.3	56.9	16.7	2.3	1.4
既に参加している	726	16.4	62.1	60.1	3.2	7.3	57.7	10.1	3.2	2.1
参加したいと思う	1204	22.1	41.2	60.0	10.0	21.8	56.5	20.7	1.7	1.0

(4)環境をよくする活動への参加のきっかけ

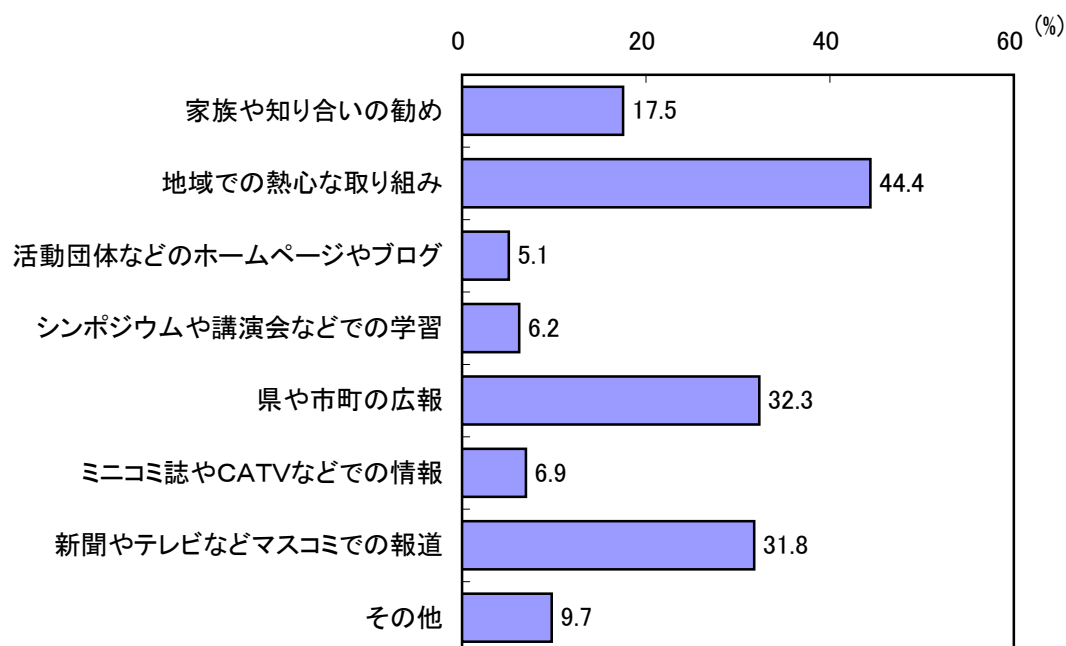
問7-3【問7で1又は2を選択された方にお聞きします】

環境をよりよくする活動にあなたが参加する(した)きっかけはどのようなことでしょうか。いくつでも選んで番号に○をつけてください。

- 1 家族や知り合いの勧め
- 2 地域での熱心な取り組み
- 3 活動団体などのホームページやブログ
- 4 シンポジウムや講演会などでの学習
- 5 県や市町の広報
- 6 ミニコミ誌やCATVなどでの情報
- 7 新聞やテレビなどマスコミでの報道
- 8 その他

- 環境をよりよくする活動への参加のきっかけでは、「地域での熱心な取り組み」(44.4%)が最も多く、「県や市町の広報」(32.3%)、「新聞やテレビなどマスコミでの報道」(31.8%)が3割台で続く。一方、「活動団体などのホームページやブログ」(5.1%)、「シンポジウムや講演会などでの学習」(6.2%)、「ミニコミ誌やCATVなどでの情報」(6.9%)は1割に満たない。

◎環境をよくする活動への参加のきっかけ[複数回答]



◆地域別

- 「地域での熱心な取り組み」は、丹波(69.4%)で約7割と最も多く、次いで但馬(59.2%)、西播磨(57.0%)が6割近い。他の地域は4～5割前半であるが、阪神南(37.3%)と阪神北(37.2%)では3割台となっており、地域間で30ポイント以上の差が生じている。
 また、「新聞やテレビなどマスコミでの報道」は、東播磨(40.3%)で4割、神戸(36.9%)、阪神北(32.9%)、阪神南(30.6%)で3割を超えるが、他の地域(20.4%～26.3%)では2割台にとどまり、地域間で約20ポイントの差が生じている。

◎環境をよくする活動への参加のきっかけ[複数回答]【地域別】 (%)

	全体 【規正】	家族や 知り合 いの 勧め	地域で の熱心 な取 組み	活動団 体など のホーム ページ やブログ	シンポジ ウムや講 演会な どでの 学習	県や市 町の 広報	ミニコミ誌 や CATV などで の情報	新聞や テレビな どマスコミ での 報道	その他	不明
全県	1930	17.5	44.4	5.1	6.2	32.3	6.9	31.8	9.7	9.2
神戸	531	17.5	41.8	7.0	5.6	26.9	8.1	36.9	15.1	7.0
阪神南	314	19.7	37.3	4.1	6.1	31.2	6.7	30.6	10.8	12.1
阪神北	231	16.0	37.2	4.8	8.2	39.4	8.7	32.9	10.8	9.1
東播磨	236	15.7	43.2	5.9	5.9	39.8	7.2	40.3	2.5	9.3
北播磨	108	17.6	52.8	1.9	4.6	35.2	4.6	23.1	9.3	8.3
中播磨	216	17.1	49.5	5.1	6.0	27.3	5.6	24.5	7.4	10.2
西播磨	107	16.8	57.0	3.7	7.5	31.8	5.6	25.2	5.6	9.3
但馬	76	23.7	59.2	5.3	6.6	35.5	6.6	26.3	6.6	6.6
丹波	49	18.4	69.4	2.0	6.1	34.7	2.0	20.4	6.1	8.2
淡路	61	13.1	42.6	3.3	4.9	39.3	6.6	24.6	4.9	13.1

◆性別／性・年代別

○ 性別では、特に差はみられない。

○ 性・年齢別でみると、全県集計で最も多かった「地域の熱心な取り組み」は、男性の70代(52.5%)と女性の50代以上(50.9%~60.6%)で半数を超えており、女性では年代間の差が30ポイント(20代 27.0%、80歳以上 60.6%)を超えている。

他に年代間の差が大きいものとしては、「新聞やテレビなどマスコミでの報道」が男性では80歳以上で、女性では20代で5割を超えて最も多く、他の年代層では男女とも概ね2~3割台となるなか、男性では70代(18.7%)で2割を、女性では80歳以上(6.1%)で1割をそれぞれ下回っており、年代間の差は、男性で35.0ポイント、女性で48.0ポイント生じている。また、「県や市町の広報」は、男性の30代(13.4%)、女性の20代(14.9%)では1割台にとどまるが、男女とも概ね年代層が上がるにつれて多くなり、男性の80歳以上(51.2%)では5割を超え、女性では70代(46.6%)で4割台半ばに及び、年代間の差は、男性で37.8ポイント、女性で31.7ポイント生じている。

◎環境をよくする活動への参加のきっかけ[複数回答]【性別／性・年代別】 (%)

	全体 【規正】	家族や 知り合 いの 勧め	地域で の熱心 な取 組み	活動団 体など のホーム ページ やブログ	シンポジ ウムや講 演会な どでの 学習	県や市 町の 広報	ミニ誌 や CATV など での 情報	新聞や テレビな どマス コミ での 報道	その他	不明
全県	1930	17.5	44.4	5.1	6.2	32.3	6.9	31.8	9.7	9.2
男性	895	19.7	43.1	6.4	6.1	32.4	6.4	30.8	12.5	8.2
女性	1006	15.3	45.8	3.8	6.5	32.8	7.6	33.0	7.2	10.0
男性-20代	56	28.6	33.9	3.6	3.6	23.2	7.1	39.3	14.3	12.5
男性-30代	97	25.8	34.0	7.2	4.1	13.4	4.1	36.1	17.5	4.1
男性-40代	156	14.1	37.8	7.7	3.2	22.4	7.1	36.5	15.4	9.6
男性-50代	207	23.2	43.0	9.2	8.7	36.7	9.2	27.1	9.7	7.2
男性-60代	196	15.3	47.4	4.1	9.7	38.8	3.1	29.6	12.2	5.6
男性-70代	139	17.3	52.5	5.8	5.0	40.3	2.9	18.7	8.6	12.9
男性-80歳以上	41	26.8	43.9	2.4	0.0	51.2	22.0	53.7	17.1	7.3
女性-20代	74	25.7	27.0	13.5	6.8	14.9	9.5	54.1	4.1	9.5
女性-30代	162	14.2	35.2	3.1	3.1	31.5	8.6	40.1	14.8	3.7
女性-40代	166	21.1	42.2	3.0	2.4	26.5	7.2	38.6	8.4	9.0
女性-50代	214	10.3	50.9	2.3	6.5	33.6	7.0	36.4	4.7	9.8
女性-60代	220	14.5	51.4	0.9	10.0	35.5	10.5	22.3	4.5	14.1
女性-70代	131	15.3	50.4	8.4	10.7	46.6	3.8	25.2	8.4	8.4
女性-80歳以上	33	6.1	60.6	0.0	0.0	33.3	0.0	6.1	0.0	33.3

5.環境学習への関心について

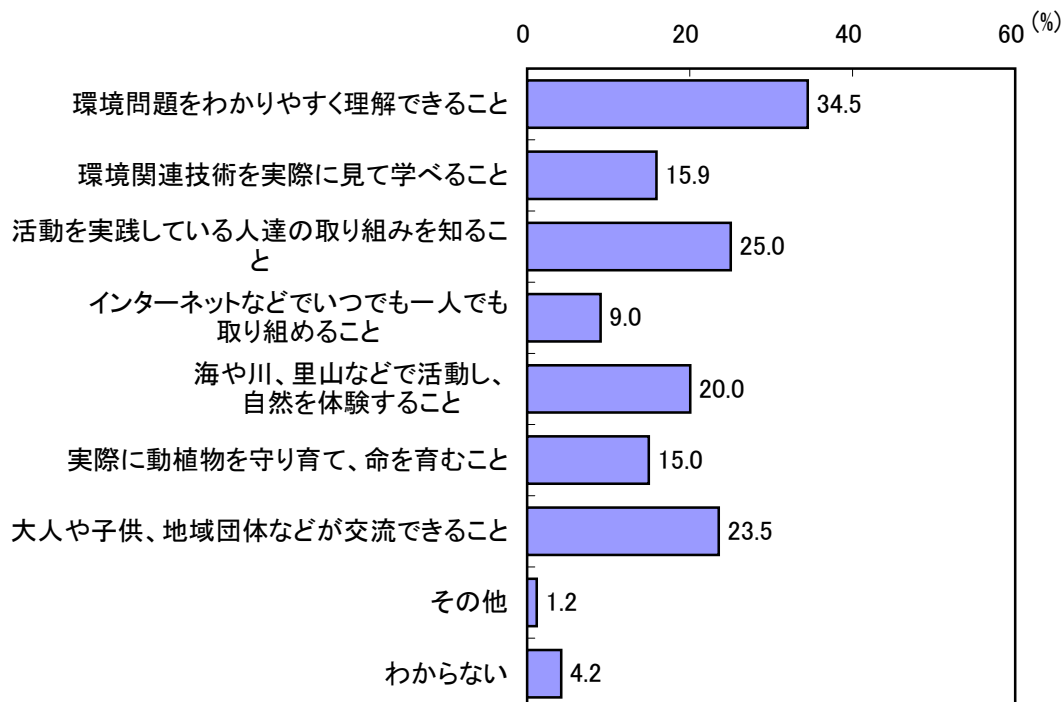
(1)環境学習で重視すること

問8 あなたが環境について学習するとすれば、どのようなことを重視しますか。次の中から2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 環境問題をわかりやすく理解できること
- 2 環境関連技術を実際に見て学べること
- 3 活動を実践している人達の取り組みを知ること
- 4 インターネットなどでいつでも一人でも取り組めること
- 5 海や川、里山などで活動し、自然を体験すること
- 6 実際に動植物を守り育て、命を育むこと
- 7 大人や子供、地域団体などが交流できること
- 8 その他
- 9 わからない

- 環境学習で重視することでは、「環境問題をわかりやすく理解できること」(34.5%)が3割を超えており、「活動を実践している人達の取り組みを知ること」(25.0%)、「大人や子ども、地域団体などが交流できること」(23.5%)、「海や川、里山などで活動し、自然を体験すること」(20.0%)の3項目が2割台で続いている。

◎環境学習で重視すること[複数回答]



◆地域別

- 「大人や子供、地域団体などが交流できること」は、丹波(31.7%)と淡路(31.3%)で3割を超え、他の地域では概ね2割台後半であるが、阪神北(18.0%)、神戸(19.9%)では2割を下回る。また、「環境問題をわかりやすく理解できること」は、いずれの地域も3割台であるが、北播磨(26.8%)は2割台半ばにとどまる。
このほか、「インターネットなどでいつでも一人でも取り組めること」が、神戸(11.7%)、阪神南(10.4%)、東播磨(9.9%)、阪神北(9.3%)では1割前後あるが、北播磨(2.7%)、丹波(3.3%)など他の地域では僅かである。

◎環境学習で重視すること【複数回答】【地域別】

(%)

	全体 【規正】	環境問題をわかりやすく理解できること	環境関連技術を実際に見て学べること	活動を実践している人達の取り組みを知ること	インターネットなどでいつでも一人でも取り組めること	海や川、里山などで活動し、自然を体験すること	実際に動植物を守り育て、命を育むこと	大人や子供、地域団体などが交流できること	その他	わからない	不明
全県	2888	34.5	15.9	25.0	9.0	20.0	15.0	23.5	1.2	4.2	15.8
神戸	797	34.5	14.9	27.1	11.7	19.2	15.4	19.9	1.3	3.4	15.4
阪神南	531	37.3	16.8	22.0	10.4	21.3	15.3	24.1	1.1	5.6	12.4
阪神北	367	37.6	15.5	25.9	9.3	18.5	13.4	18.0	0.3	4.4	18.3
東播磨	365	33.7	15.9	25.5	9.9	22.5	17.3	26.3	0.8	5.8	12.1
北播磨	149	26.8	14.8	22.1	2.7	19.5	16.1	27.5	2.7	2.7	22.1
中播磨	295	31.5	18.6	22.4	6.8	19.3	14.6	25.1	1.0	3.4	20.0
西播磨	145	31.0	15.2	26.9	5.5	22.1	13.8	29.7	2.1	4.8	15.2
但馬	99	39.4	17.2	27.3	5.1	17.2	15.2	28.3	1.0	2.0	15.2
丹波	60	30.0	13.3	26.7	3.3	20.0	11.7	31.7	1.7	3.3	21.7
淡路	80	32.5	13.8	26.3	5.0	21.3	10.0	31.3	1.3	2.5	17.5

◆性別／性・年代別

- 性別では、男女の差が最も大きい「海や川、里山などで活動し、自然を体験すること」(男 23.8%、女 17.1%)でも6.7ポイントにとどまる。
- 性・年代別で見ると、「インターネットなどでいつでも一人でも取り組めること」が男女とも若い年代層で多く、男性の30代(21.0%)で2割を超え、男性の50代以下及び女性の40代以下では1割を超えるが、男性の60代以上、女性の50代以上では1割にも満たない。さらに、女性の70代以上は、「環境関連技術を実際に見て学べること」「活動を実践している人達の取り組みを知ること」「海や川、里山などで活動し、自然を体験すること」の3項目でも他の年代層よりも少ない傾向にある。

◎環境学習で重視すること[複数回答]【性別／性・年代別】 (%)

	全体 【規正】	環境問題 をわかりや すく理解で きること	環境関 連技術を実 際に見て学 べること	活動を 実践し ている 人達の 取り組 みを知 ること	イン ター ネッ トな どで いつ でも 一人 でも 取り組 める こと	海や 川、 里山 など で活 動し 、自 然を 体 験す ること	実際 に動 植物 を守 り育 て、 命を 育む こと	大人 や子 供、 地域 団体 など が交 流で きる こと	その 他	わか らな い	不明
全県	2888	34.5	15.9	25.0	9.0	20.0	15.0	23.5	1.2	4.2	15.8
男性	1284	31.9	17.7	23.2	10.7	23.8	13.8	23.1	0.9	3.7	16.5
女性	1562	37.4	14.7	26.2	7.7	17.1	15.6	23.6	1.5	4.4	15.2
男性-20代	98	35.7	12.2	15.3	18.4	19.4	13.3	17.3	3.1	7.1	17.3
男性-30代	162	32.1	20.4	17.3	21.0	29.0	12.3	20.4	1.2	5.6	13.6
男性-40代	226	38.5	17.3	20.4	13.7	24.3	10.2	28.3	0.0	2.2	15.9
男性-50代	273	26.4	15.8	21.2	13.2	23.4	15.4	23.1	1.5	2.6	19.8
男性-60代	272	32.7	16.9	27.9	4.0	28.3	17.6	21.3	0.4	2.2	15.1
男性-70代	181	28.7	20.4	28.2	2.8	18.2	12.2	27.6	0.6	6.1	14.9
男性-80歳以上	66	34.8	18.2	25.8	1.5	16.7	13.6	16.7	1.5	6.1	21.2
女性-20代	144	44.4	18.1	28.5	13.9	26.4	18.1	22.9	2.8	2.8	3.5
女性-30代	283	37.5	15.9	25.1	12.7	24.4	13.4	25.1	1.4	2.5	12.0
女性-40代	269	42.8	17.1	26.8	11.2	15.2	15.2	16.0	1.1	3.3	14.5
女性-50代	304	30.9	15.8	26.6	6.6	14.5	15.1	19.1	0.0	3.6	24.3
女性-60代	296	34.8	14.9	30.4	3.0	17.2	16.6	28.4	0.3	3.7	16.2
女性-70代	194	35.6	10.3	22.7	2.6	9.3	16.5	32.5	4.6	8.2	14.9
女性-80歳以上	65	44.6	3.1	15.4	0.0	9.2	18.5	21.5	3.1	16.9	10.8

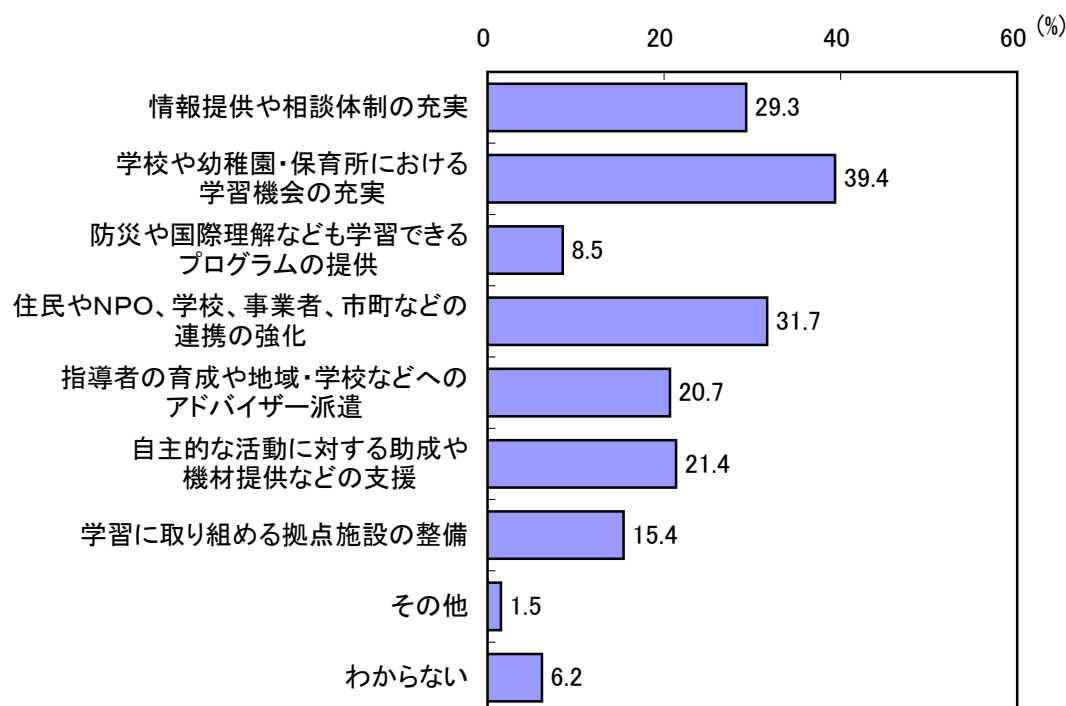
(2)環境学習の推進で重要なこと

問9 環境学習を推進する上で、特に重要と思われることはどのようなことですか。2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 情報提供や相談体制の充実
- 2 学校や幼稚園・保育所における学習機会の充実
- 3 防災や国際理解なども学習できるプログラムの提供
- 4 住民やNPO、学校、事業者、市町などの連携の強化
- 5 指導者の育成や地域・学校などへのアドバイザー派遣
- 6 自主的な活動に対する助成や機材提供などの支援
- 7 学習に取り組める拠点施設の整備
- 8 その他
- 9 わからない

○ 環境学習の推進で重要なことでは、「学校や幼稚園・保育所における学習機会の充実」(39.4%)が最も多く約4割、次いで「住民やNPO、学校、事業者、市町などの連携の強化」(31.7%)と「情報提供や相談体制の充実」(29.3%)が3割前後である。

◎環境学習の推進で重要なこと[複数回答]



◆地域別

- 「学校や幼稚園・保育所における学習機会の充実」は、阪神南(44.1%)、阪神北(43.1%)で4割を超え、最も少ない丹波(31.7%)とは10ポイント以上の差が生じている。逆に、「自主的な活動に対する助成や機材提供などの支援」は、丹波(26.7%)をはじめ各地域とも2割台で並ぶなか、阪神南(15.6%)では1割台にとどまる。

◎環境学習の推進で重要なこと[複数回答]【地域別】

(%)

	全体 【規正】	情報提供や相談体制の充実	学校や幼稚園・保育所における学習機会の充実	防災や国際理解なども学習できるプログラムの提供	住民やNPO、学校、事業者、市町などの連携の強化	指導者の育成や地域・学校などへのアドバイザー派遣	自主的な活動に対する助成や機材提供などの支援	学習に取り組める拠点施設の整備	その他	わからない	不明
全県	2888	29.3	39.4	8.5	31.7	20.7	21.4	15.4	1.5	6.2	3.0
神戸	797	31.6	39.5	7.9	31.6	18.7	21.7	12.9	1.3	6.3	2.1
阪神南	531	29.2	44.1	9.6	29.2	22.4	15.6	15.3	2.1	6.4	3.6
阪神北	367	26.7	43.1	7.9	31.6	20.7	21.8	18.5	1.4	6.0	2.5
東播磨	365	32.9	37.0	9.0	33.4	22.5	24.7	16.2	1.1	4.7	1.1
北播磨	149	24.2	35.6	7.4	29.5	22.1	26.2	16.8	1.3	4.0	6.0
中播磨	295	27.1	36.6	11.9	32.9	20.3	21.0	17.6	1.7	6.8	3.4
西播磨	145	26.9	33.8	6.2	33.8	23.4	22.8	14.5	2.1	8.3	3.4
但馬	99	27.3	35.4	7.1	34.3	18.2	22.2	15.2	2.0	8.1	5.1
丹波	60	28.3	31.7	6.7	33.3	20.0	26.7	15.0	1.7	5.0	5.0
淡路	80	26.3	37.5	6.3	31.3	18.8	23.8	15.0	1.3	7.5	6.3

◆性別／性・年代別

- 性別では、男女の差は「自主的な活動に対する助成や機材提供などの支援」で男性(24.5%)が女性(18.8%)を5.7ポイント上回る程度で、特に差はみられない。
- 性・年代別では、「学校や幼稚園・保育所における学習機会の充実」は、男性では30代(56.8%)と40代(51.3%)で、女性では20代(57.6%)と30代(54.4%)で5割を超えているが、概ね年代層が上がるにつれて減少し、男女とも80歳以上(男 16.7%、女 24.6%)では2割もしくはこれを下回り、年代間の差は、男性で40ポイント、女性で30ポイントを超えている。
また、「指導者の育成や地域・学校などへのアドバイザー派遣」は、男性では40代(33.2%)で3割、50代(23.8%)、60代(24.3%)で2割を超えるが、最も少ない80歳以上(10.6%)では1割であり、女性でも30代から60代(20.6%～23.7%)では2割台であるが、最も少ない80歳以上(1.5%)ではわずかで、男女とも年代間で20ポイント以上の差が生じている。
このほか、「情報提供や相談体制の充実」は、男性の40代以下(20.4%～26.5%)では2割台であるが、60代(35.7%)、70代(38.7%)では3割台後半、80歳以上(48.5%)では5割近くとなっている。一方、女性では80歳以上(20.0%)が最も少なく、60代(34.1%)と20代(31.9%)で3割を超えている。

◎環境学習の推進で重要なこと[複数回答]【性別／性・年代別】 (%)

	全体 【規正】	情報提供や相談体制の充実	学校や幼稚園・保育所における学習機会の充実	防災や国際理解なども学習できるプログラムの提供	住民やNPO、学校、事業者、市町などの連携の強化	指導者の育成や地域・学校などへのアドバイザー派遣	自主的な活動に対する助成や機材提供などの支援	学習に取り組める拠点施設の整備	その他	わからない	不明
全県	2888	29.3	39.4	8.5	31.7	20.7	21.4	15.4	1.5	6.2	3.0
男性	1284	30.5	38.5	7.9	30.7	21.9	24.5	17.9	1.9	4.5	1.9
女性	1562	28.6	39.9	9.2	32.8	19.6	18.8	13.6	1.3	7.5	3.5
男性-20代	98	26.5	43.9	5.1	29.6	16.3	28.6	13.3	4.1	5.1	0.0
男性-30代	162	21.6	56.8	9.3	33.3	14.8	27.8	12.3	0.6	4.9	0.6
男性-40代	226	20.4	51.3	8.4	29.2	33.2	23.5	18.6	2.2	1.3	0.4
男性-50代	273	30.4	35.9	5.9	32.6	23.8	25.3	20.1	0.4	2.9	1.8
男性-60代	272	35.7	26.8	9.6	31.3	24.3	25.4	19.5	2.9	4.8	1.8
男性-70代	181	38.7	31.5	7.2	31.5	14.9	18.2	17.7	2.2	6.1	5.0
男性-80歳以上	66	48.5	16.7	7.6	21.2	10.6	28.8	16.7	0.0	13.6	6.1
女性-20代	144	31.9	57.6	6.3	36.8	16.7	20.1	9.7	1.4	2.1	0.7
女性-30代	283	25.1	54.4	12.4	35.0	23.7	17.3	9.5	1.4	5.3	0.4
女性-40代	269	24.2	45.4	10.4	30.1	23.4	20.1	11.2	1.5	5.6	1.1
女性-50代	304	29.9	36.5	8.6	34.5	21.1	21.4	17.4	1.3	5.9	1.3
女性-60代	296	34.1	28.7	8.8	35.8	20.6	17.9	18.9	0.7	7.4	4.1
女性-70代	194	27.8	26.8	7.7	24.7	12.9	18.0	11.9	1.0	14.4	12.9
女性-80歳以上	65	20.0	24.6	6.2	29.2	1.5	6.2	12.3	3.1	24.6	13.8

6. 事業者に望む取り組みについて

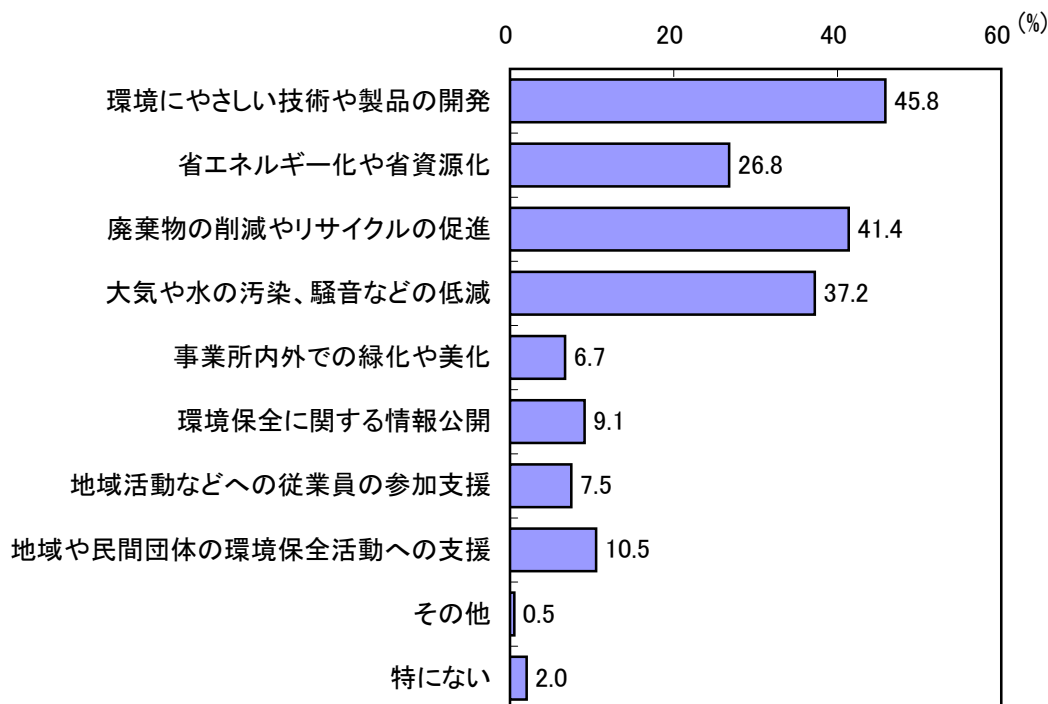
(1) 事業者に求める環境保全活動

問10 あなたは、環境を保全し、よりよい環境を創造するために、企業などの事業者に対してどのような取り組みを特に望みますか。2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 環境にやさしい技術や製品の開発
- 2 省エネルギー化や省資源化
- 3 廃棄物の削減やリサイクルの促進
- 4 大気や水の汚染、騒音などの低減
- 5 事業所内外での緑化や美化
- 6 環境保全に関する情報公開
- 7 地域活動などへの従業員の参加支援
- 8 地域や民間団体の環境保全活動への支援
- 9 その他
- 10 特にない

- 環境保全のために事業者にも望むことでは、「環境にやさしい技術や製品の開発」(45.8%)が最も多く、「廃棄物の削減やリサイクルの促進」(41.4%)、「大気や水の汚染、騒音などの低減」(37.2%)、「省エネルギー化や省資源化」(26.8%)の順で続いている。
- 一方、「事業所内外での緑化や美化」(6.7%)、「地域活動などへの従業員の参加支援」(7.5%)、「環境保全に関する情報公開」(9.1%)、「地域や民間団体の環境保全活動への支援」(10.5%)は概ね1割までにとどまる。

◎事業者に求める環境保全活動[複数回答]



◆地域別

- 「廃棄物の削減やリサイクルの促進」は、丹波(51.7%)で5割を超え、他の地域では概ね4割台(48.5%~41.4%)であるが、阪神南(34.1%)と阪神北(36.5%)で3割台半ばであり、地域間で10ポイント以上の差が生じている。
- また、「大気や水の汚染、騒音などの低減」は、阪神南(43.3%)、東播磨(42.7%)、中播磨(41.7%)で4割を超えるが、但馬(25.3%)、丹波(28.3%)、淡路(28.8%)、北播磨(28.9%)では2割台と少ない。
- このほか、「環境にやさしい技術や製品の開発」は、5割近い阪神北(49.6%)をはじめ各地域とも4割台で並ぶなか、淡路(37.5%)では3割台にとどまり、地域間で10ポイント以上の差が生じている。

◎事業者に求める環境保全活動【複数回答】【地域別】

(%)

	全体【規正】	環境にやさしい技術や製品の開発	省エネルギー化や省資源化	廃棄物の削減やリサイクルの促進	大気や水の汚染、騒音などの低減	事業所内外での緑化や美化	環境保全に関する情報公開	地域活動などへの従業員の参加支援	地域や民間団体の環境保全活動への支援	その他	特にな	不明
全県	2888	45.8	26.8	41.4	37.2	6.7	9.1	7.5	10.5	0.5	2.0	2.0
神戸	797	45.4	27.5	43.8	34.5	6.6	9.5	9.5	9.2	0.4	2.1	0.9
阪神南	531	46.9	28.8	34.1	43.3	6.4	8.9	6.8	9.6	0.8	2.4	2.1
阪神北	367	49.6	29.2	36.5	35.7	4.6	9.8	7.4	11.2	0.3	1.9	2.5
東播磨	365	48.8	23.8	44.4	42.7	6.0	11.0	5.8	10.1	0.0	1.4	0.8
北播磨	149	43.6	20.1	47.0	28.9	8.1	6.0	8.7	13.4	1.3	2.0	6.0
中播磨	295	44.1	28.8	41.4	41.7	8.1	8.1	4.1	11.2	0.7	1.7	1.7
西播磨	145	42.1	22.8	44.8	35.9	9.7	7.6	6.2	11.7	0.7	2.8	3.4
但馬	99	44.4	25.3	48.5	25.3	7.1	8.1	9.1	13.1	1.0	2.0	4.0
丹波	60	40.0	20.0	51.7	28.3	8.3	8.3	8.3	13.3	0.0	1.7	3.3
淡路	80	37.5	26.3	42.5	28.8	6.3	10.0	8.8	13.8	1.3	2.5	6.3

◆性別／性・年代別

- 性別では、8項目中、男性が上回るのが4項目、女性が上回るのが4項目となっているが、男女の差は、「地域活動などへの従業員の参加支援」(男 11.4%、女 4.2%)や「大気や水の汚染、騒音などの低減」(男 33.6%、女 40.5%)での約7ポイントが最大である。
- 性・年代別でみると、「環境にやさしい技術や製品の開発」は、男性では、全ての年代層で4割台と年代間の差は小さいが、女性では、20代(52.8%)と40代(51.7%)で5割を超える一方、80歳以上(36.9%)では3割台と少なく、年代間で15.9ポイントの差が生じている。
また、「省エネルギー化や省資源化」は、男女ともに40代(男 36.3%、女 35.3%)で最も多く、80歳以上(男 12.1%、女 10.8%)で最も少なくなっており、年代間で20ポイント以上の差が生じている。
さらに、「大気や水の汚染、騒音などの低減」は、女性の50代以下では概ね4割以上(39.6%～45.7%)であるが、70代(27.3%)と80歳以上(26.2%)では2割台にとどまり、年代間で20ポイント近くの差が生じている。男性でも、30代(40.1%)で4割あるが、20代(27.6%)、70代(28.7%)、80歳以上(28.8%)では2割台にとどまり、年代間で10ポイント以上の差が生じている。

◎事業者に求める環境保全活動【複数回答】【性別／性・年代別】 (%)

	全体【規正】	環境にやさしい技術や製品の開発	省エネルギー化や省資源化	廃棄物の削減やリサイクルの促進	大気や水の汚染、騒音などの低減	事業所内外での緑化や美化	環境保全に関する情報公開	地域活動などへの従業員の参加支援	地域や民間団体の環境保全活動への支援	その他	特にな	不明
全県	2888	45.8	26.8	41.4	37.2	6.7	9.1	7.5	10.5	0.5	2.0	2.0
男性	1284	44.9	26.3	39.3	33.6	8.3	9.7	11.4	13.4	0.6	2.0	1.3
女性	1562	47.1	27.5	42.5	40.5	5.6	8.8	4.2	8.1	0.4	1.9	2.5
男性-20代	98	43.9	28.6	34.7	27.6	16.3	8.2	11.2	10.2	3.1	1.0	0.0
男性-30代	162	44.4	24.7	39.5	40.1	7.4	6.8	13.6	14.8	1.2	1.9	0.0
男性-40代	226	46.0	36.3	42.5	32.7	9.3	8.8	8.8	6.2	0.9	0.9	0.4
男性-50代	273	47.3	23.4	39.9	32.6	9.5	9.9	14.7	14.3	0.0	0.7	1.5
男性-60代	272	44.9	24.3	38.6	37.9	7.0	9.6	11.4	15.8	0.4	1.1	1.8
男性-70代	181	43.1	24.3	42.0	28.7	5.0	9.9	8.8	17.1	0.6	3.3	2.2
男性-80歳以上	66	42.4	12.1	30.3	28.8	6.1	22.7	10.6	12.1	0.0	12.1	3.0
女性-20代	144	52.8	31.9	46.5	39.6	6.9	6.9	6.3	3.5	0.0	0.7	0.7
女性-30代	283	48.8	32.2	48.8	41.7	6.7	8.1	2.8	4.2	0.4	1.4	0.4
女性-40代	269	51.7	35.3	36.4	42.8	5.6	8.6	3.3	6.3	1.5	0.0	1.1
女性-50代	304	43.1	29.9	37.8	45.7	4.6	9.9	4.9	10.9	0.0	0.7	1.0
女性-60代	296	43.2	23.0	47.3	43.6	6.8	11.8	3.7	7.8	0.0	1.0	2.0
女性-70代	194	49.5	16.5	40.2	27.3	4.1	6.7	5.2	13.4	1.0	6.2	8.8
女性-80歳以上	65	36.9	10.8	41.5	26.2	1.5	4.6	3.1	10.8	0.0	10.8	13.8

7. 経済的負担や生活のあり方について

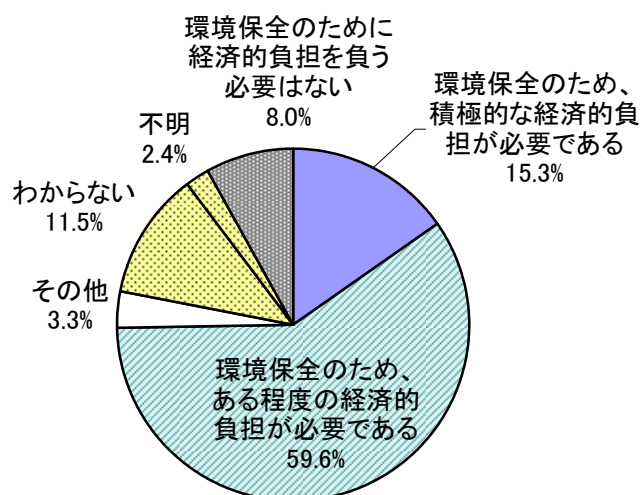
(1) 環境保全のための経済的負担のあり方

問11 環境を保全し、よりよい環境を創造していくために、あなたは、環境に関する経済的負担のあり方はどうあるべきだと思いますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 環境保全のため、積極的な経済的負担が必要である
- 2 環境保全のため、ある程度の経済的負担が必要である
- 3 環境保全のために経済的負担を負う必要はない
- 4 その他
- 5 わからない

○ 環境保全のための経済負担のあり方では、「ある程度の負担が必要」(59.6%)が最も多く、「積極的な負担が必要」(15.3%)と合わせた『経済的負担が必要』(74.9%)は、7割台半ばとなっている。

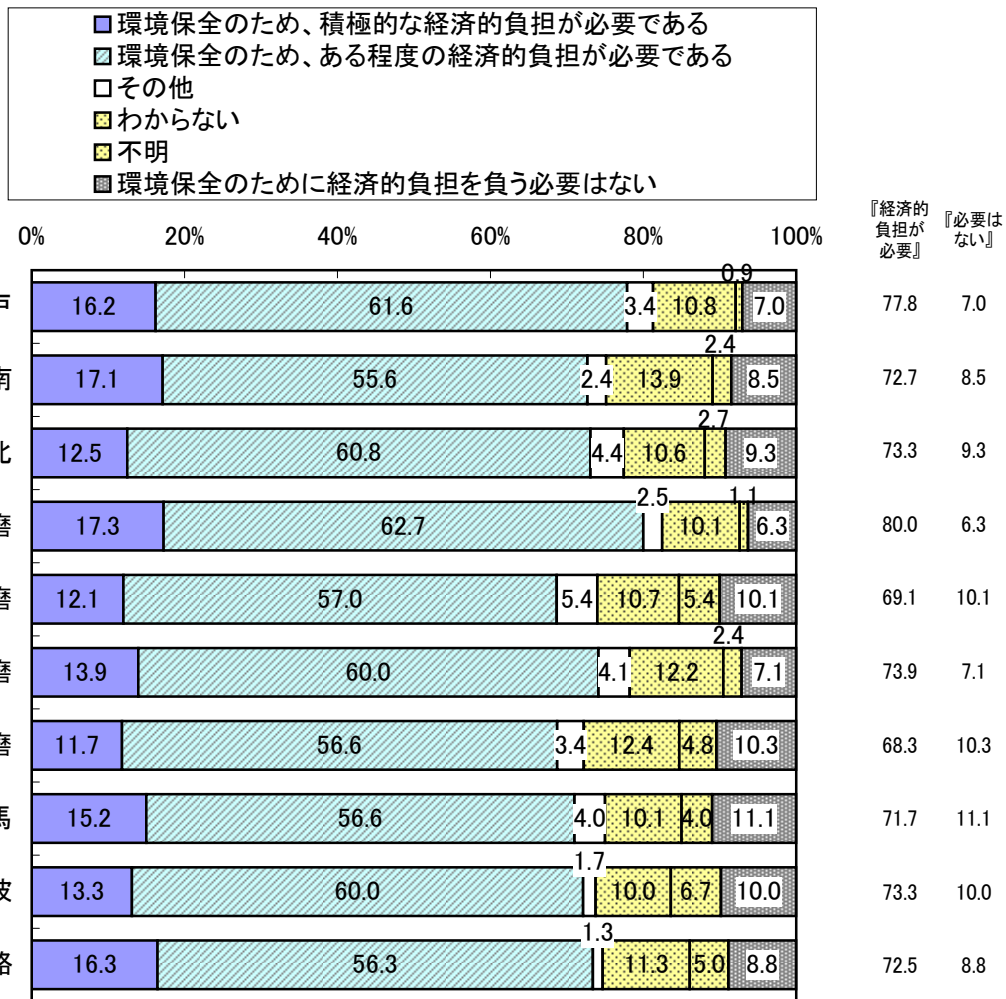
◎環境保全のための経済負担のあり方



◆地域別

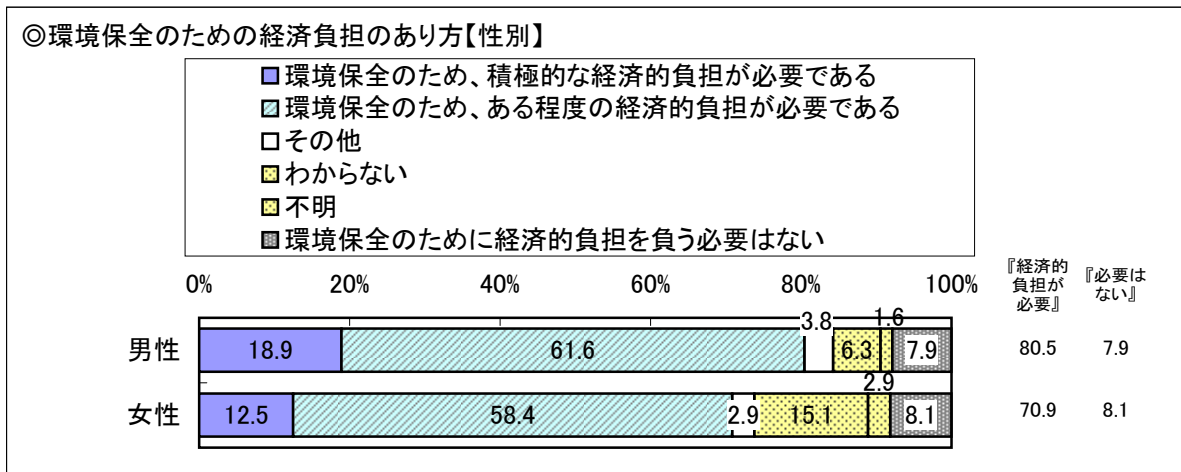
○ 地域別では、「積極的な負担が必要」、「ある程度の負担が必要」、「経済的負担を負う必要はない」の3項目個別では、特に差はみられないが、足し合わせた『経済的負担が必要』では、最も多い東播磨(80.0%)では8割に及ぶ一方、西播磨(68.3%)、北播磨(69.1%)では7割を下回り、地域間で10ポイント以上の差が生じている。

◎環境保全のための経済負担のあり方【地域別】

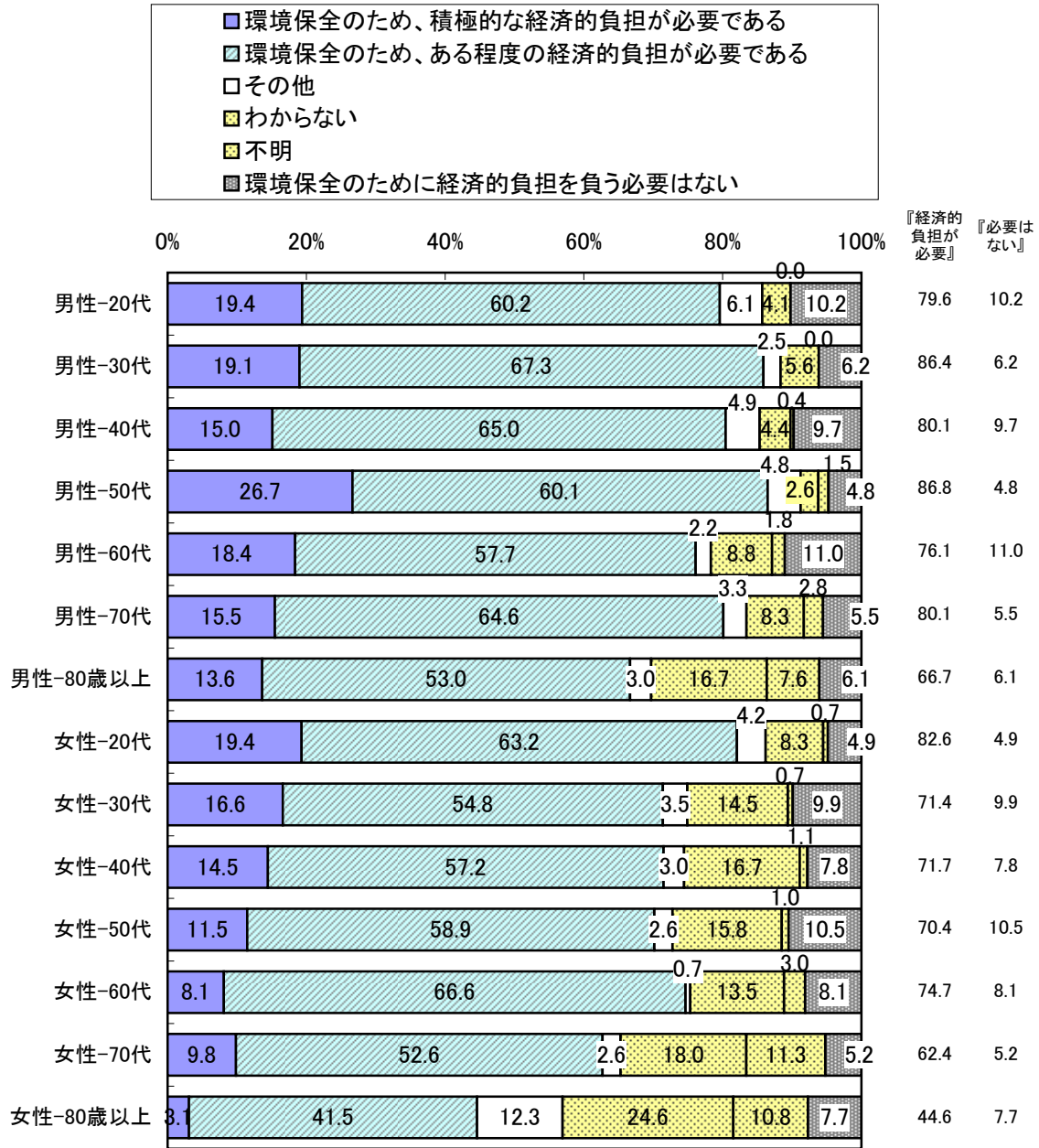


◆性別／性・年代別

- 性別では、「積極的な負担が必要」、「ある程度の負担が必要」ともに男性が女性を上回っており、両者を足し合わせた『経済的負担が必要』では、男性(80.5%)が女性(70.9%)を約10ポイント上回る。女性では、「わからない」(15.1%)との回答が男性(6.3%)より多い。
- 性・年代別で見ると、「積極的な負担が必要」は、男性では、最も多い50代(26.7%)で2割台半ばあるが、他の年代層は1割台である。一方、女性では、最も多い20代(19.4%)で約2割であるが、概ね年代層が上がるにつれて少なくなり、80歳以上(3.1%)ではわずかである。
- 「ある程度の負担が必要」は、男性では、50代以下及び70代で6割台(60.1%～67.3%)であるが、60代(57.7%)と80歳以上(53.0%)では5割台になっている。一方、女性では、20代(63.2%)と60代(66.6%)で6割台であるが、他の年代層は概ね5割台(52.6%～58.9%)で、80歳以上(41.5%)では4割台にまで減少している。
- 両者を足し合わせた『経済的負担が必要』は、男性では、50代(86.8%)と30代(86.4%)で8割台半ばとなり、他の年代層でも8割前後(76.1%～80.1%)が多いなか、80歳以上(66.7%)では6割台にとどまる。一方、女性では20代(82.6%)で8割を超えており、30代から60代までは7割台(70.4%～74.7%)であるが、70代(62.4%)で6割台に、80歳以上(44.6%)では5割に満たない。

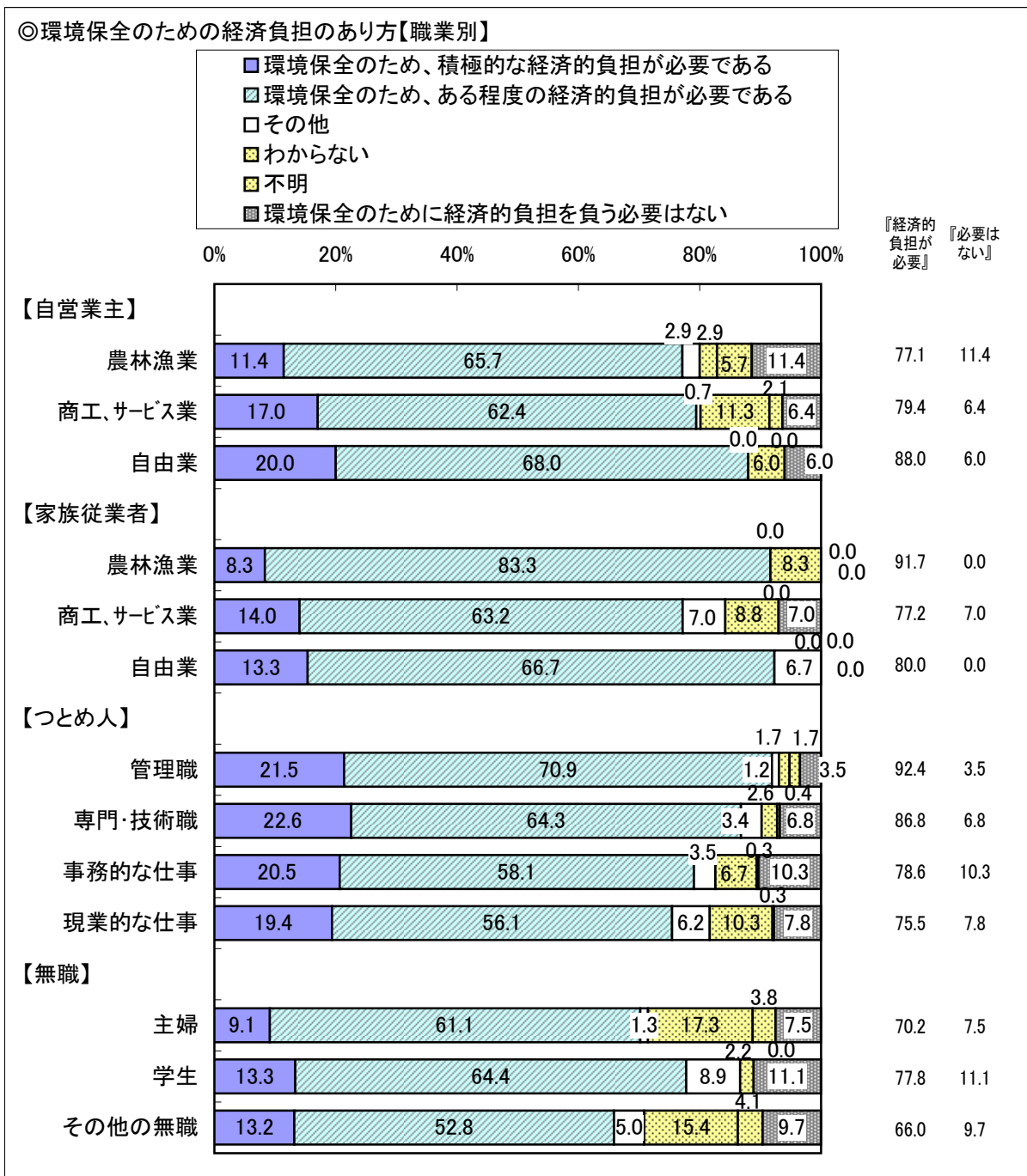


◎環境保全のための経済負担のあり方【性・年代別】

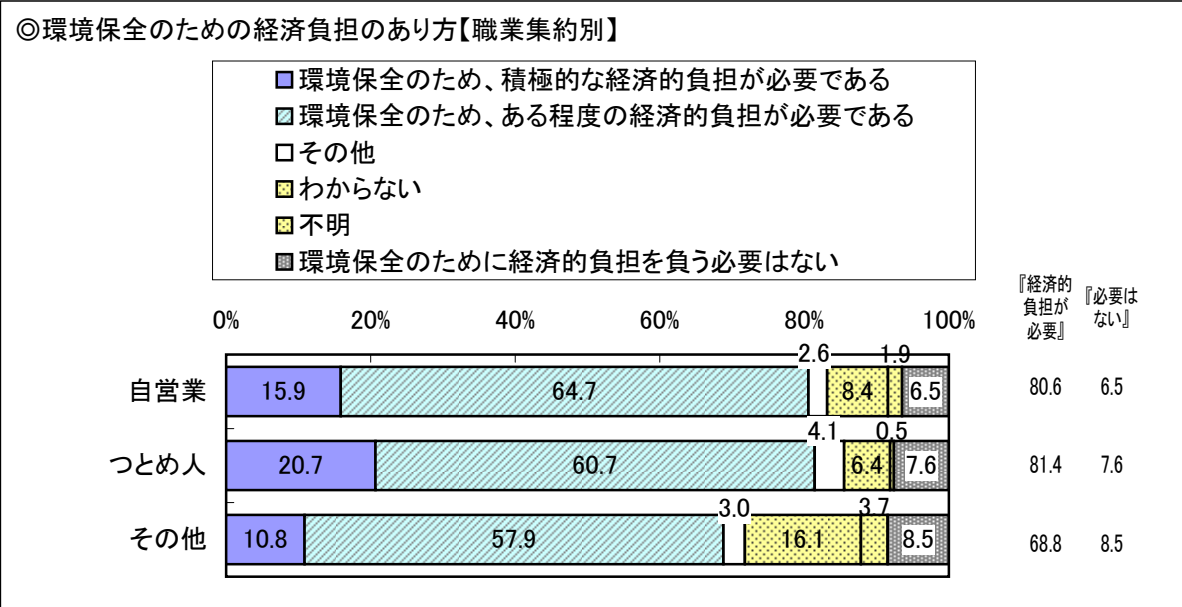


◆職業別

- 職業別でみると、「積極的な負担が必要」は、「専門・技術職」(22.6%)や「管理職」(21.5%)、「事務的な仕事」(20.5%)、「自由業(自営業主)」(20.0%)で2割以上あるが、「農林漁業(家族従事者)」(8.3%)や「主婦」(9.1%)では1割に満たない。
- 「ある程度の負担が必要」は、「農林漁業(家族従事者)」(83.3%)で8割を超え、「管理職」(70.9%)で7割を超えている一方で、「その他無職」(52.8%)や「現業的な仕事」(56.1%)、「事務的な仕事」(58.1%)では5割台にとどまる。
- 両者を加えた『経済的負担が必要』は、「管理職」(92.4%)や「農林漁業(家族従事者)」(91.6%)で9割を超える一方、「その他無職」(66.0%)や「主婦」(70.2%)では7割前後となっている。



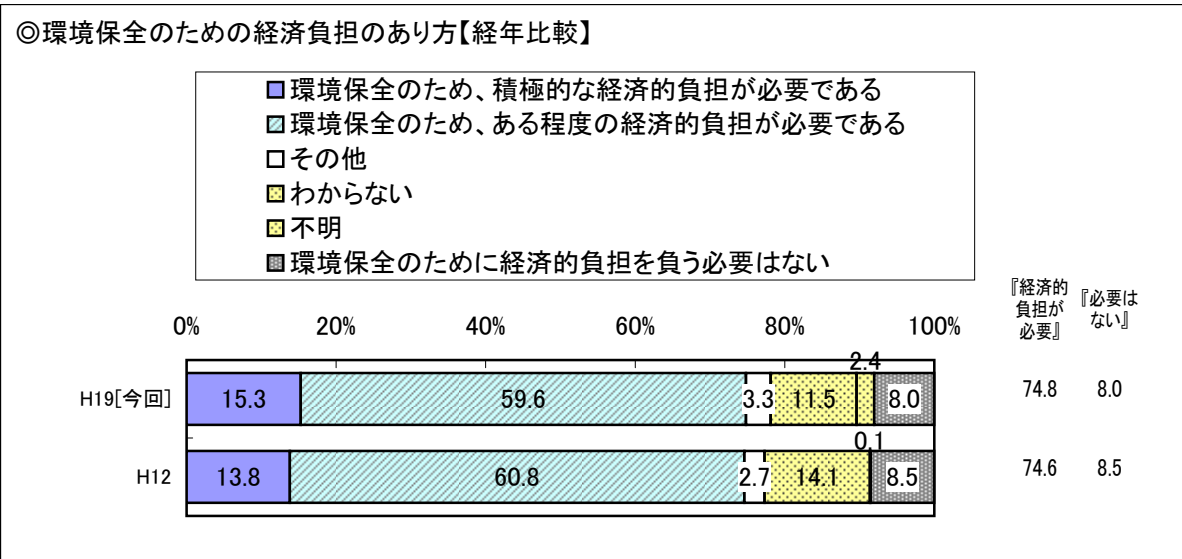
- 職業別を『自営業(自営業主と家族従業者)』、『つとめ人』、『その他(主婦、学生、その他の無職)』の3タイプに集約すると、「積極的な負担が必要」は、『つとめ人』(20.7%)では2割と、『自営業』(15.9%)や『その他』(10.8%)を上回っている。
しかし、「ある程度の負担が必要」と足し合わせた『経済的負担が必要』でみると、『つとめ人』(81.4%)と『自営業』(80.6%)は8割強で拮抗している。
『その他』では、「わからない」(16.1%)との回答が『自営業』(8.4%)や『つとめ人』(6.4%)よりも多く、『経済的負担が必要』(68.7%)は7割を下回り、10ポイント以上の差が生じている。



【参考：平成12年実施の類似調査との比較】

- 参考として、平成12年に本県が別途、実施した環境に関する意識調査(今回の設問と設問文や選択肢の内容は同一)との結果と比較した。

◆経年比較



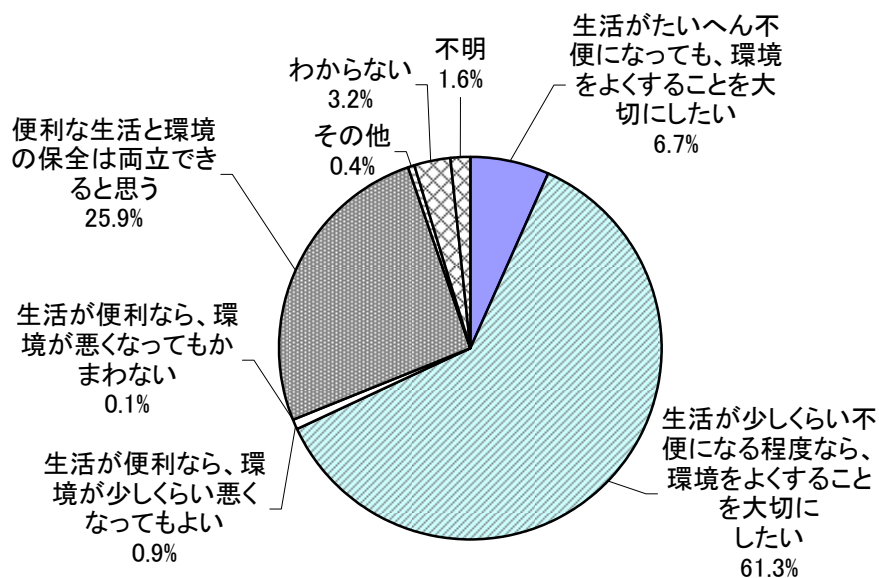
(2) 将来により環境を残すための生活のあり方

問12 私たちは、将来の世代によりよい環境を継承する必要がありますが、あなたは、どのように生活すべきだと考えますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 生活がたいへん不便になっても、環境をよくすることを大切にしたい
- 2 生活が少しくらい不便になる程度なら、環境をよくすることを大切にしたい
- 3 生活が便利なら、環境が少しくらい悪くなくてもよい
- 4 生活が便利なら、環境が悪くなくてもかまわない
- 5 便利な生活と環境の保全は両立できると思う
- 6 その他
- 7 わからない

- 将来により環境を残すための生活のあり方では、「生活が少しくらい不便になる程度なら環境をよくすることを大切にしたい」(61.3%)が6割強と最も多く、「生活がたいへん不便になっても、環境をよくすることを大切にしたい」(6.7%)と合わせた『生活が不便になっても環境をよくすることを大切にしたい』(68.0%)は7割近い。
- 他方、「便利な生活と環境の保全は両立できると思う」(25.9%)は4分の1を超えるが、「生活が便利なら、環境が少しくらい悪くなくてもよい」(0.9%)や「生活が便利なら、環境が悪くなくてもかまわない」(0.1%)はどちらもごくわずかである。

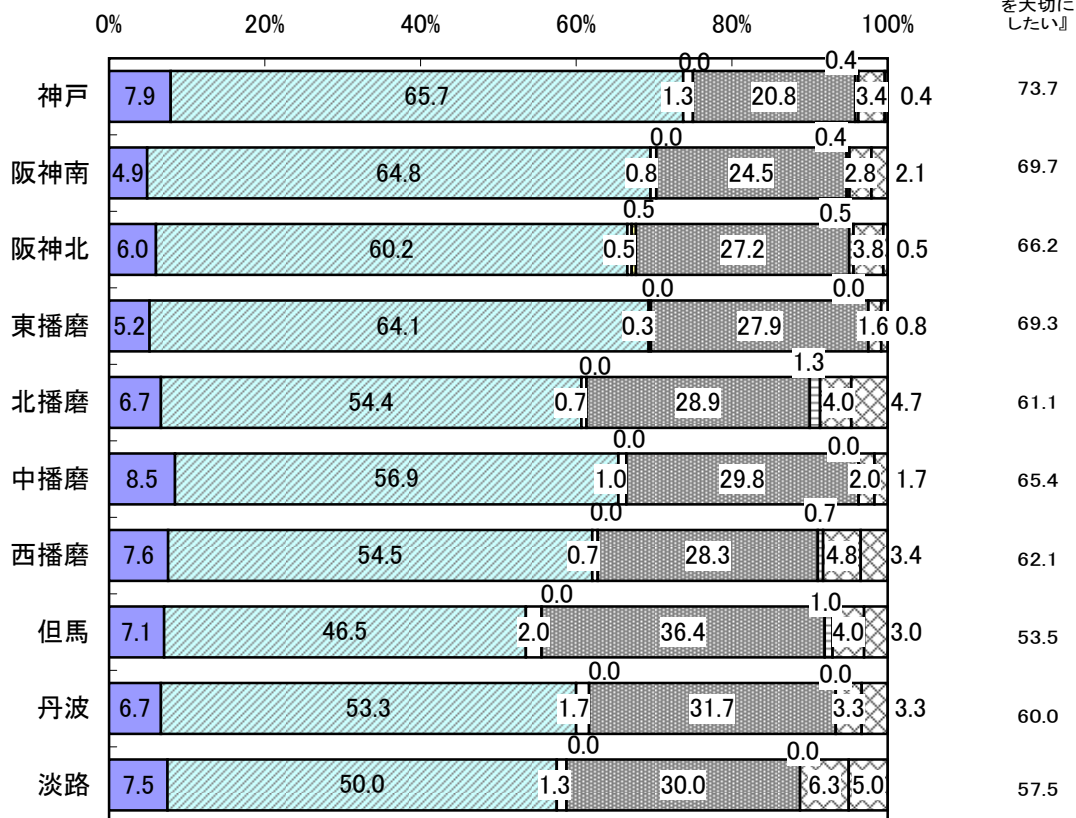
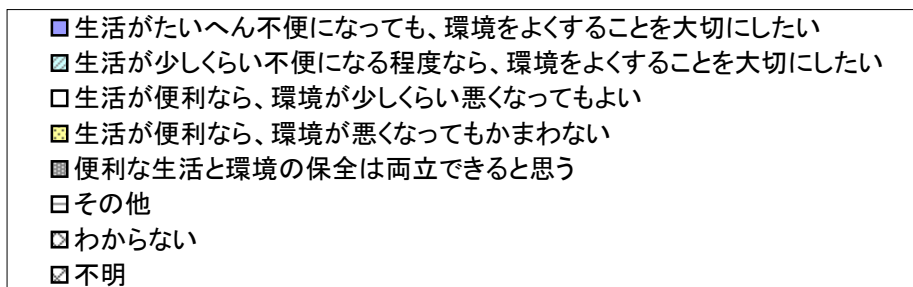
◎ 将来により環境を残すための生活のあり方



◆地域別

- 「生活がたいへん不便になっても、環境をよくすることを大切にしたい」は地域間であまり差がないが、「生活が少しくらい不便になる程度なら環境をよくすることを大切にしたい」は、最も多い神戸(65.7%)など4地域で6割を超える一方で、最も少ない但馬(46.5%)では5割を下回る。
- 両者を足し合わせた『生活が不便になっても環境をよくすることを大切にしたい』は、神戸(73.7%)で7割を超え、他の地域では概ね6割台であるが、但馬(53.5%)、淡路(57.5%)で5割台となっている。
- 一方、「便利な生活と環境の保全是両立できると思う」は、但馬(36.4%)や丹波(31.7%)、淡路(30.0%)で多く、神戸(20.8%)や阪神南(24.5%)では少なく、地域間で15.6ポイントの差がある。

◎将来により環境を残すための生活のあり方【地域別】

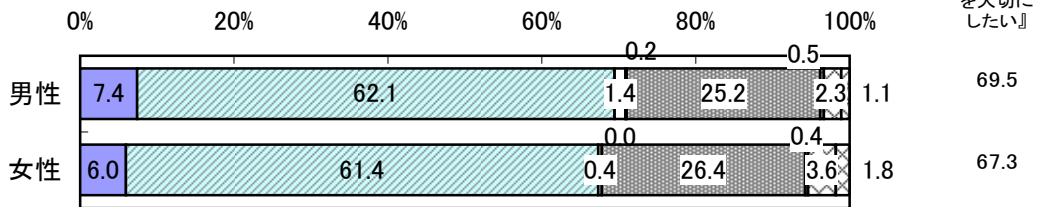


◆性別／性・年代別

- 性別では、特に差はみられない。
- 性・年代別でみると、「生活がたいへん不便になっても、環境をよくすることを大切にしたい」は、女性の20代(12.5%)で1割を超えているのを除き、いずれの年代層も1割未満である。
- 「生活が少しくらい不便になる程度なら環境をよくすることを大切にしたい」は、男性(59.3%～65.9%)では年代間の差は7ポイント程度であるが、女性では、最も多い30代(69.6%)で7割近く、最も少ない70代(55.2%)では5割台半ばと、15ポイント程度の差が生じている。
- 両者を足し合わせた『生活が不便になっても環境をよくすることを大切にしたい』は、男女ともいずれの年代層も概ね6割台にあるが、男性の50代(73.6%)、女性の30代(76.3%)と20代(70.8%)では7割を超えている。
- 他方、「便利な生活と環境の保全是両立できると思う」は、男性ではいずれの年代層でも2割台であるが、女性では40代(34.6%)で3割台半ば、他の年代層では概ね2割台であるが、30代(19.1%)では1割台にとどまり、15.5ポイントの差が生じている。

◎将来により環境を残すための生活のあり方【性別】

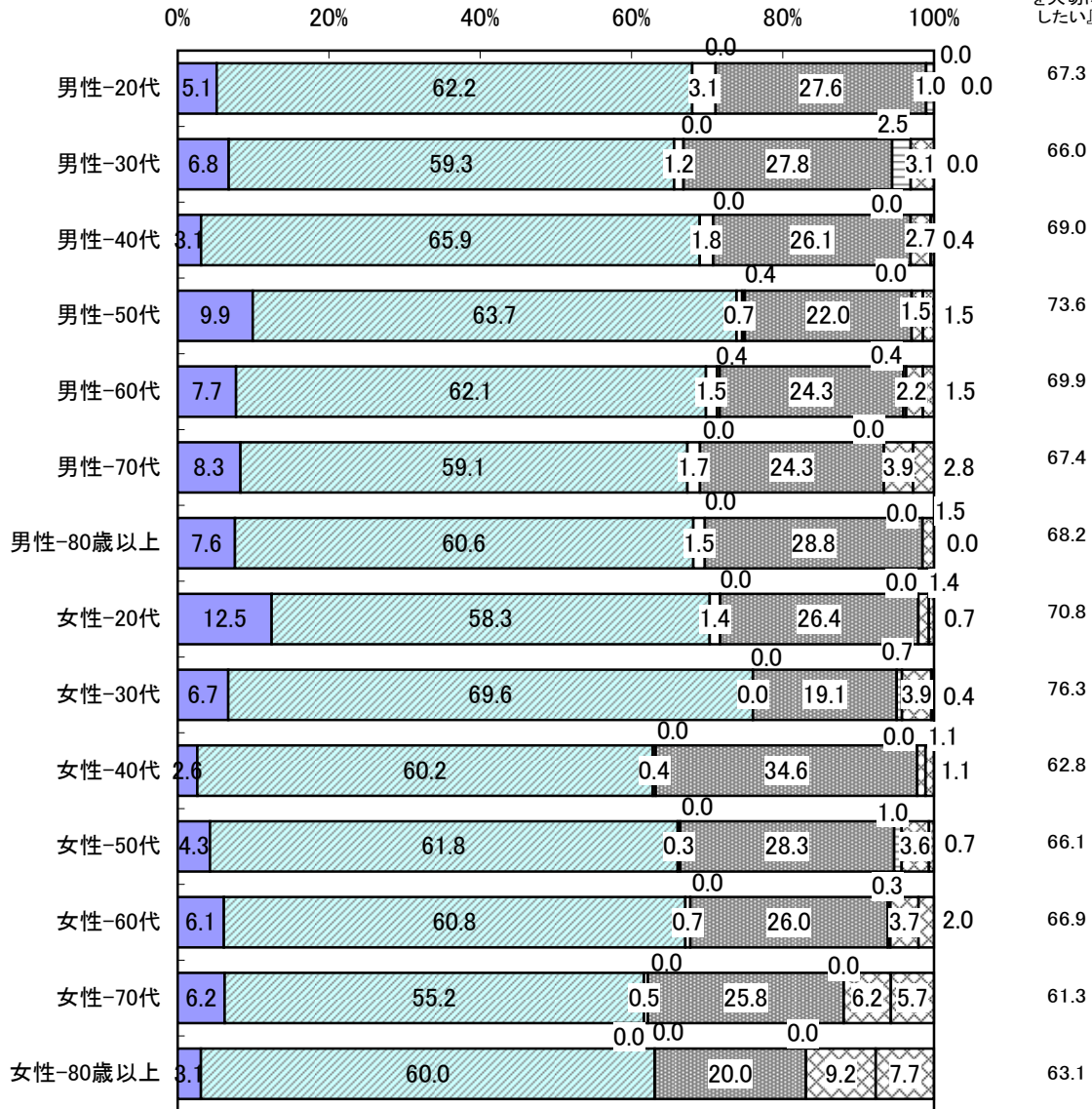
- 生活がたいへん不便になっても、環境をよくすることを大切にしたい
- ▨生活が少しくらい不便になる程度なら、環境をよくすることを大切にしたい
- 生活が便利なら、環境が少しくらい悪くてもよい
- 生活が便利なら、環境が悪くてもかまわない
- 便利な生活と環境の保全是両立できると思う
- その他
- わからない
- 不明



◎将来により環境を残すための生活のあり方【性・年代別】

- 生活がたいへん不便になっても、環境をよくすることを大切にしたい
- ▨生活が少しくらい不便になる程度なら、環境をよくすることを大切にしたい
- 生活が便利なら、環境が少しくらい悪くなくてもよい
- 生活が便利なら、環境が悪くてもかまわない
- 便利な生活と環境の保全是両立できると思う
- その他
- わからない
- 不明

『生活が不便になっても環境をよくすることを大切にしたい』



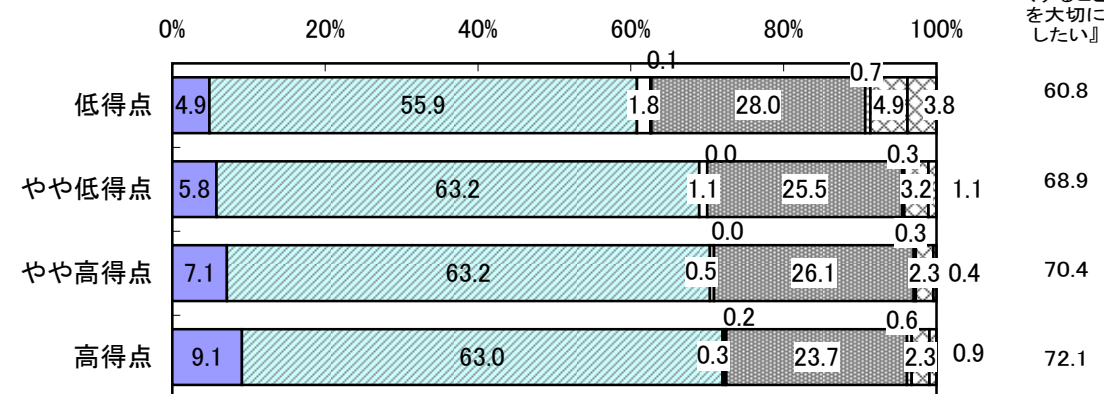
【参考：暮らしの中での環境に配慮した工夫や努力の実施状況別での比較】

- 問5(暮らしの中での環境に配慮した工夫や努力)の実施状況別に、問12(将来により環境を残すための生活のあり方)に関する意識を比較するため、問5のア～ニの22項目それぞれについて、「現在している」2点、「これからしたい」1点、「該当なし」0点と便宜的に得点化し、合計得点が0点～23点を『低得点層』、24点～30点を『やや低得点層』、31点～34点を『やや高得点層』、35点～44点を『高得点層』と、全体の分布が4等分になるよう区分し、問12での意識を比較した。
- 得点の高い層ほど「生活がたいへん不便になっても、環境をよくすることを大切にしたい」や「生活が少しくらい不便になる程度なら環境をよくすることを大切にしたい」が増加する傾向におり、これらを足し合わせた『生活が不便になっても環境を大切にしたい』は、『低得点層』(60.8%)では6割強、『高得点層』(72.1%)では7割強と、11.3ポイントの差が生じている。

◆群2 暮らしの工夫や努力別

◎将来により環境を残すための生活のあり方【群2 暮らしの工夫や努力別】

- 生活がたいへん不便になっても、環境をよくすることを大切にしたい
- 生活が少しくらい不便になる程度なら、環境をよくすることを大切にしたい
- 生活が便利なら、環境が少しくらい悪くなくてもよい
- 生活が便利なら、環境が悪くなくてもかまわない
- 便利な生活と環境の保全は両立できると思う
- その他
- わからない
- 不明



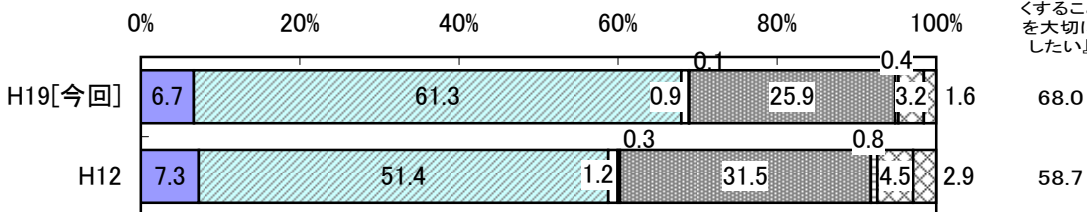
【参考：平成12年実施の類似調査との比較】

- 今回調査と設問文の内容が異なる部分があるが(選択肢は同一)、参考までに平成12年に本県が別途、実施した環境に関する意識調査での結果と比較した。

◆経年比較

◎将来により環境を残すための生活のあり方【経年比較】

- 生活がたいへん不便になっても、環境をよくすることを大切にしたい
- 生活が少しくらい不便になる程度なら、環境をよくすることを大切にしたい
- 生活が便利なら、環境が少しくらい悪くてもよい
- 生活が便利なら、環境が悪くてもかまわない
- 便利な生活と環境の保全是両立できると思う
- その他
- わからない
- 不明



『生活が不便になっても環境をよくすることを大切にしたい』